

平成 30 年

高齢期における社会保障に関する意識調査報告書

厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室

目 次

調 査 の 概 要	1
調 査 結 果 の 概 要	3
1 老後感	3
2 老後とは何歳ぐらいからか	5
3 老後の不安	6
4 就労希望年齢	7
5 老後の働き方	8
6 老後の収入源	9
7 老後の生きがい	12
8 老後生活における子どもとの同・別居について	14
9 年をとって生活したいと思う場所	16
10 自宅で介護される場合の希望	19
11 今後増えて欲しいと思う介護関係の事業所・施設	20
12 老後生活と社会保障（年金、医療、福祉など）の関係について	22
13 役立っていると考える社会保障の分野について	24
14 税や社会保険料の負担について	30
15 社会保障の給付と負担の関係について	33
16 少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準について	35
統 計 表	38
調 査 票	52

調 査 の 概 要

1 調査の目的

高齢化の進展に伴い、我が国の社会保障給付費は毎年増加を続けており、そのうち約7割が年金、高齢者医療、介護をはじめとする高齢者に対する給付となっている。

そこで、本調査においては、老後の生活感や社会保障に係る負担のあり方などについての意識を調査することで、社会保障制度改革を始めとした今後の厚生労働行政施策の企画・立案のための基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象

平成30年国民生活基礎調査（所得票）の対象単位区から無作為に抽出した360単位区内のすべての世帯の20歳以上の世帯員を調査対象とした。

3 調査の実施日

平成30年7月12日（木）

4 調査の事項

（1）性・出生年月

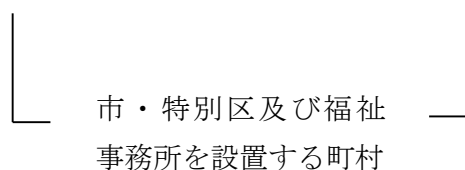
（2）老後生活のイメージ、老後の不安、老後の生計の手段、老後の生きがい、老後生活と社会保障の関係、今後の社会保障の給付と負担の関係等

5 調査の方法

あらかじめ調査員が配布した調査票に、調査対象となった世帯員が自ら記入し、後日調査員が回収する方式（留置自計方式）により実施した。

6 調査の系統

厚生労働省 — 都道府県 — 福祉事務所 — 調査員 — 世帯員



7 回収客体数及び集計客体数

調査客体数(A)	回収客体数	集計客体数(B)	(B/A)
12,410人	9,733人	9,275人	74.7%

8 集計客体の性・年齢階級別客体数

上段：世帯員数
下段：構成割合(%)

	総数	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(再掲) 65歳以上
総数	9,275 100.0	655 7.1	979 10.6	1,527 16.5	1,428 15.4	2,003 21.6	2,683 28.9	3,846 41.5
男性	4,290 100.0	316 7.4	435 10.1	727 16.9	689 16.1	941 21.9	1,182 27.6	1,738 40.5
女性	4,985 100.0	339 6.8	544 10.9	800 16.0	739 14.8	1,062 21.3	1,501 30.1	2,108 42.3

9 利用上の注意

調査結果の概要の図において、一部表章を省略した数値については、巻末統計表に掲載している。

調査結果の概要

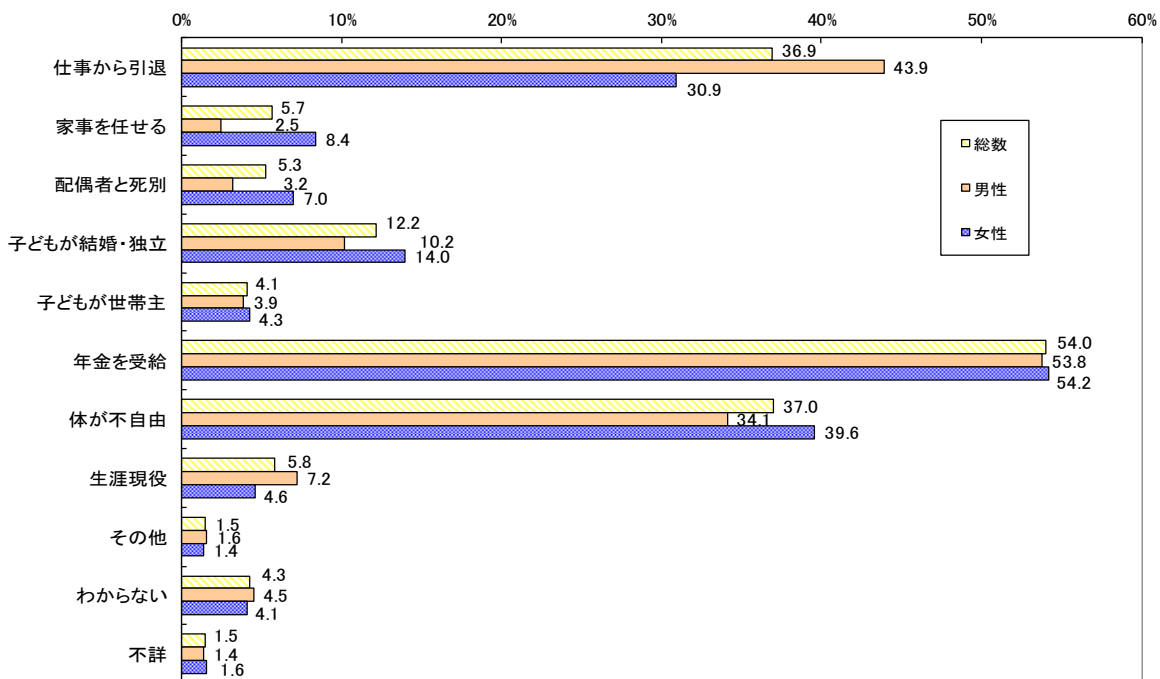
1 老後感

・「老後生活」のイメージは5割以上が年金受給生活

老後の生活といった場合、どのような生活を思い浮かべるかについては、「年金を受給するようになった生活」が最も多く 54.0%、次いで「老化に伴い体の自由がきかなくなった生活」が 37.0%、「仕事から引退したり、仕事を人に任せるようになった生活」が 36.9%、「子どもが結婚したり、独立した後の生活」が 12.2%となっている。

性別にみると、男性女性ともに「年金を受給するようになった生活」の割合が最も多くなっているが、次に多いのは、男性では「仕事から引退したり、仕事を人に任せるようになった生活」で 43.9%となっているのに対し、女性では「老化に伴い体の自由がきかなくなった生活」が 39.6%となっている。

図1 「老後の生活」で思い浮かべる生活（複数回答）



年齢階級別にみると、すべての年齢階級において「年金を受給するようになった生活」が最も多くなっている。

「仕事から引退したり、仕事を人に任せるようになった生活」や「子どもが結婚したり、独立した後の生活」については、若い世代で多くなっている。

また、「老化に伴い体の自由がきかなくなった生活」「配偶者と死別した生活」「生涯現役と考えているので、現役と特に変わるところはない」「家事を人に任せるようになった生活」については、高年齢層で多くなっている。

表1 年齢階級別にみた「老後の生活」で思い浮かべる生活（複数回答）

(単位:%)

	総数	仕事から引退	家事を任せる	配偶者と死別	子どもが結婚・独立	子どもが世帯主	年金を受給	体が不自由	生涯現役	その他	わからない	不詳
総数	100.0	36.9	5.7	5.3	12.2	4.1	54.0	37.0	5.8	1.5	4.3	1.5
29歳以下	100.0	47.8	3.5	1.7	18.8	3.4	58.0	22.0	3.5	1.1	7.0	0.9
30～39歳	100.0	44.7	2.6	1.8	22.9	2.7	57.8	25.6	3.2	1.3	5.4	1.0
40～49歳	100.0	45.7	3.5	2.3	17.4	2.7	57.7	26.9	3.9	1.0	4.3	1.4
50～59歳	100.0	42.8	3.2	2.7	11.3	3.9	60.1	31.9	4.9	1.3	4.1	1.6
60～69歳	100.0	36.9	6.2	4.9	7.9	5.1	50.7	43.7	7.3	1.4	3.6	1.3
70歳以上	100.0	23.2	9.4	10.7	7.6	5.1	48.9	48.4	7.7	2.1	3.8	2.0
(再)65歳以上	100.0	26.4	8.5	9.2	7.5	5.1	49.0	47.4	8.1	1.9	3.7	2.0
男性	100.0	43.9	2.5	3.2	10.2	3.9	53.8	34.1	7.2	1.6	4.5	1.4
29歳以下	100.0	49.7	3.2	1.3	16.5	1.9	55.7	20.3	3.2	1.3	7.6	1.3
30～39歳	100.0	48.3	1.4	0.7	19.3	3.4	52.4	25.5	4.1	1.6	6.9	1.1
40～49歳	100.0	51.2	1.9	1.9	12.8	2.9	57.5	23.4	5.6	1.1	5.5	0.7
50～59歳	100.0	51.1	1.7	2.0	8.7	3.6	57.3	28.3	5.5	1.3	4.5	1.6
60～69歳	100.0	43.7	1.7	3.1	6.5	4.9	52.4	39.6	9.1	1.5	3.9	1.0
70歳以上	100.0	32.4	4.1	6.3	7.4	4.7	50.8	46.6	9.8	2.3	2.5	2.2
(再)65歳以上	100.0	35.1	3.4	5.4	6.7	4.5	50.5	44.9	10.5	2.0	3.0	2.0
女性	100.0	30.9	8.4	7.0	14.0	4.3	54.2	39.6	4.6	1.4	4.1	1.6
29歳以下	100.0	46.0	3.8	2.1	20.9	4.7	60.2	23.6	3.8	0.9	6.5	0.6
30～39歳	100.0	41.9	3.5	2.8	25.7	2.0	62.1	25.7	2.4	1.1	4.2	0.9
40～49歳	100.0	40.8	5.0	2.6	21.5	2.5	57.9	30.0	2.3	1.0	3.1	2.0
50～59歳	100.0	35.0	4.6	3.4	13.7	4.2	62.7	35.3	4.3	1.2	3.8	1.6
60～69歳	100.0	31.0	10.3	6.5	9.2	5.4	49.2	47.4	5.6	1.4	3.4	1.6
70歳以上	100.0	16.0	13.6	14.2	7.8	5.4	47.4	49.8	6.1	1.9	4.8	1.9
(再)65歳以上	100.0	19.3	12.8	12.3	8.3	5.6	47.8	49.4	6.2	1.8	4.3	1.9

2 老後とは何歳ぐらいからか

- ・老後は「65歳から」と「70歳から」に分かれる

何歳ぐらいから老後と考えるかについては、「70歳から」が34.5%、「65歳から」が26.0%となっている。

年齢階級別にみると、若い世代では「60歳から」の割合が多くなっているのに対し、高年齢層では「75歳から」「80歳以上」の割合が多くなっている。

図2 何歳ぐらいから老後と考えるか

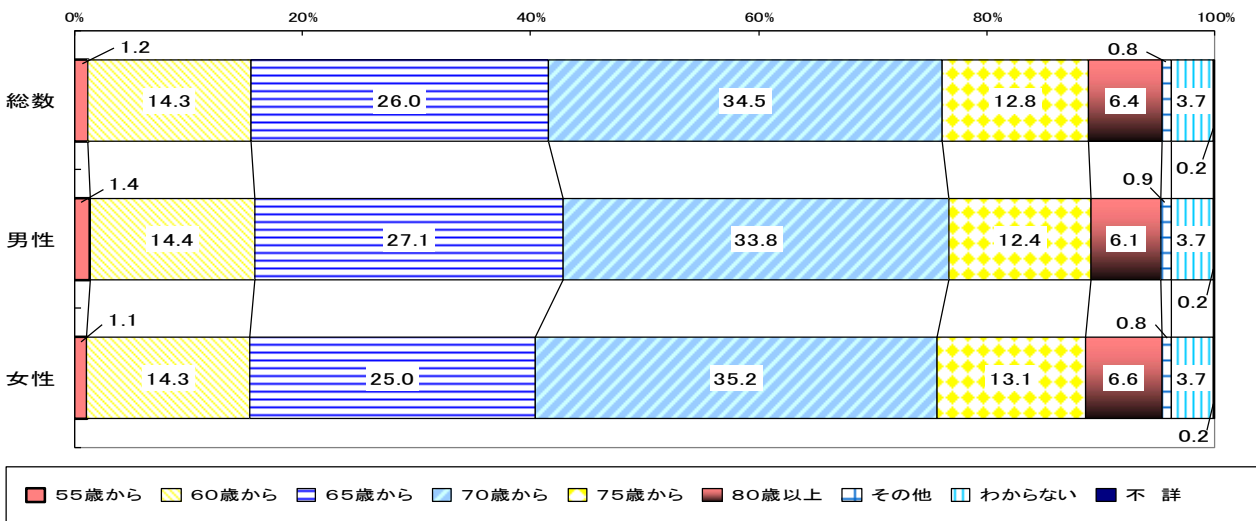
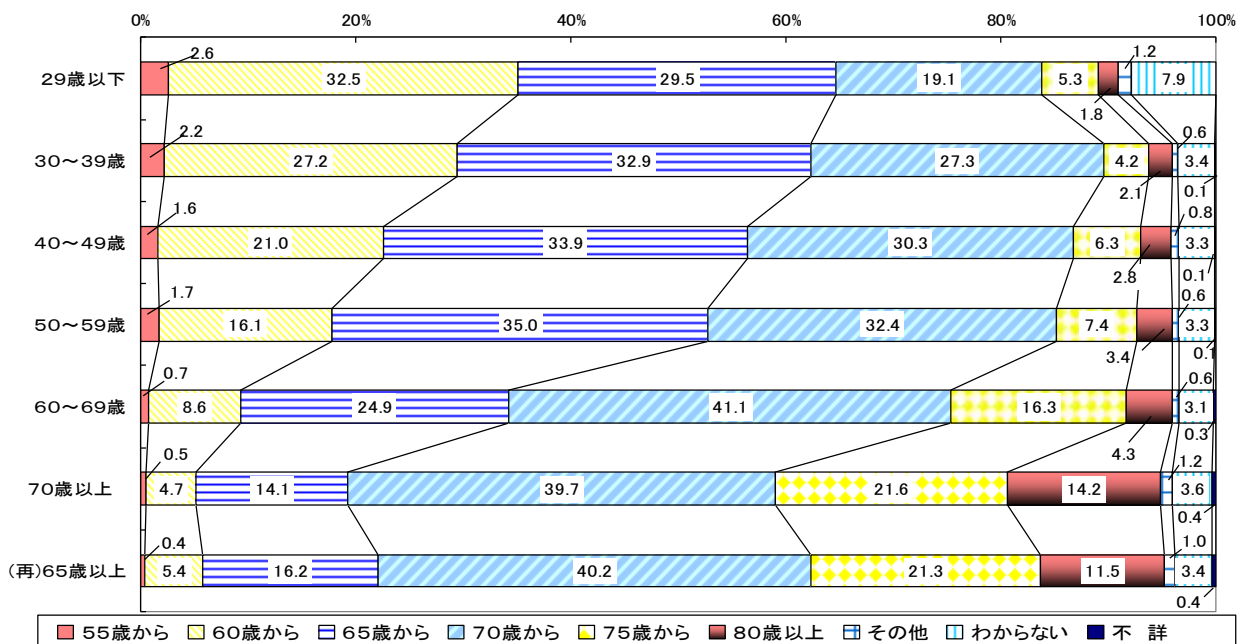


図3 年齢階級別にみた何歳ぐらいから老後と考えるか



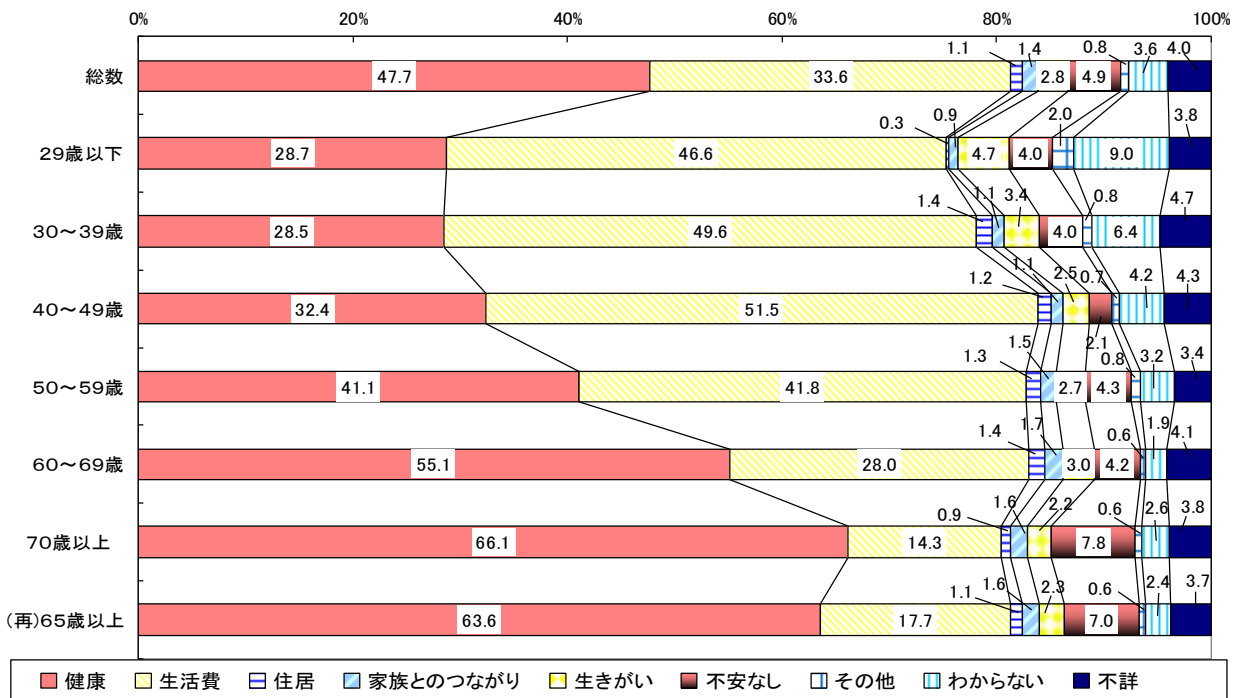
3 老後の不安

・最も不安なのは健康

老後に最も不安を感じるものは、「健康の問題」が最も多く 47.7%、次いで「生活費の問題」が 33.6%となっている。

年齢階級別にみると、若い世代では「生活費の問題」の割合が多くなっているのに対し、高年齢層では「健康の問題」の割合が多くなっている。

図4 年齢階級別にみた老後に最も不安を感じるもの



4 就労希望年齢

・生涯働きたいとする者が約8%

何歳まで働きたい（収入を伴う仕事をしたい）かについては、「65歳まで」が24.9%、「70歳まで」が19.4%、「60歳まで」が16.6%となっている。

また、「生涯働きたい」は7.8%となっている。

年齢階級別にみると、年齢階級が上がるにつれて働きたいとする年齢が高くなっている。

図5 就労希望年齢

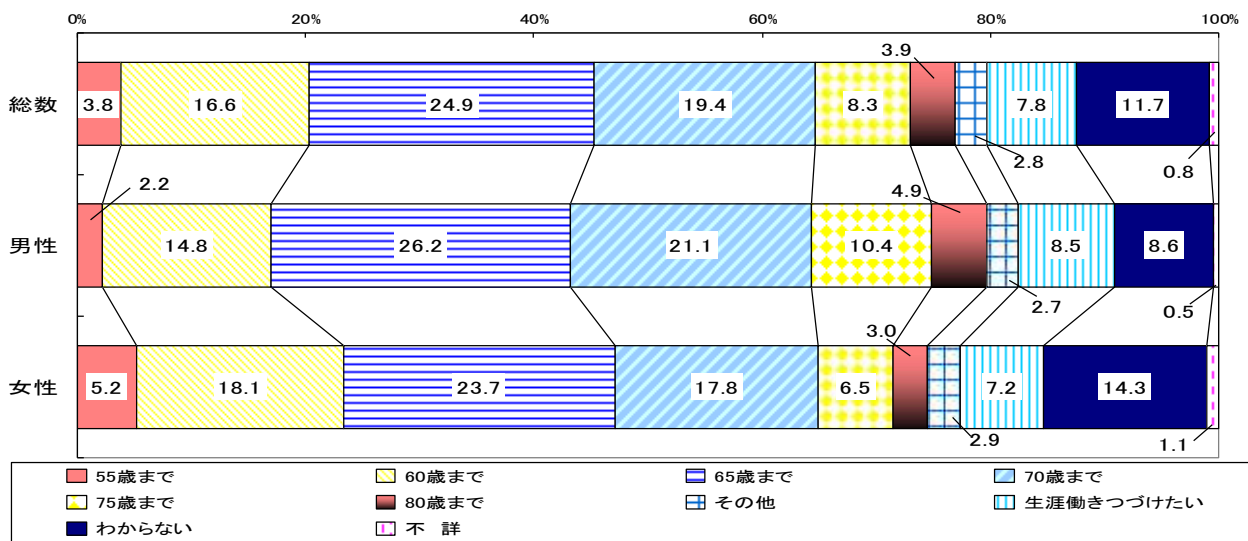


表2 年齢階級別にみた就労希望年齢

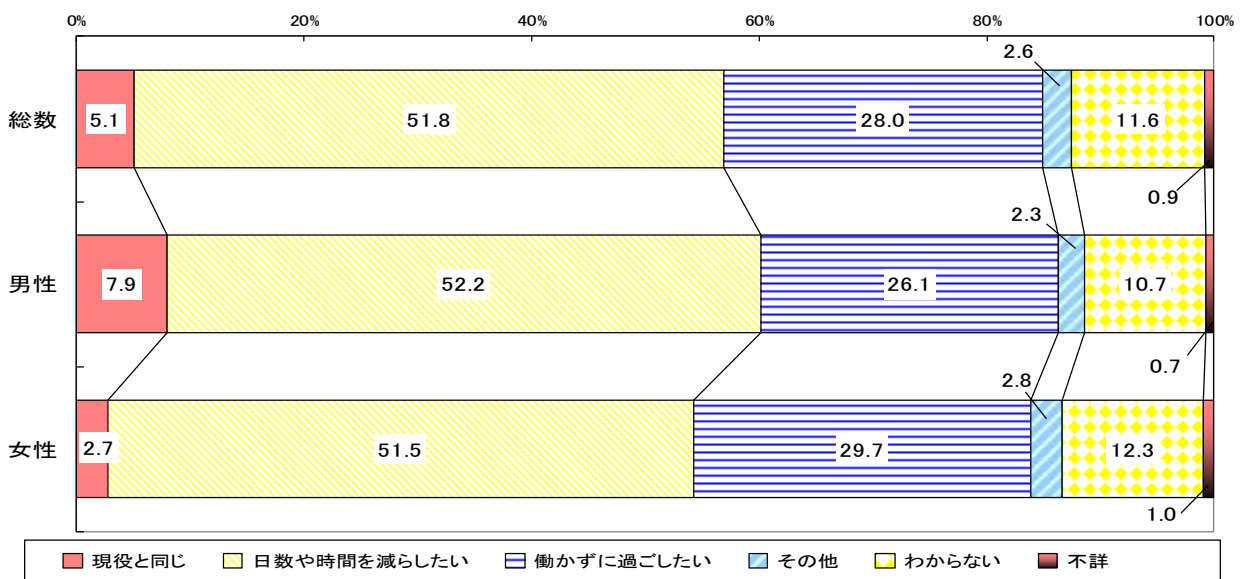
		(単位:%)										
	総数	55歳まで	60歳まで	65歳まで	70歳まで	75歳まで	80歳まで	その他	生涯働きたい	わからない	不詳	
総数	100.0	3.8	16.6	24.9	19.4	8.3	3.9	2.8	7.8	11.7	0.8	
29歳以下	100.0	7.5	25.6	26.7	9.8	1.8	0.9	2.4	6.9	18.0	0.3	
30~39歳	100.0	6.2	20.0	26.6	15.1	2.9	0.8	1.4	9.2	17.5	0.3	
40~49歳	100.0	3.9	20.4	29.1	17.5	4.3	1.6	0.7	9.9	12.3	0.3	
50~59歳	100.0	3.0	17.1	33.1	20.5	5.9	1.6	1.3	7.8	9.5	0.1	
60~69歳	100.0	2.7	11.9	23.0	27.1	12.1	3.8	4.1	6.7	7.9	0.6	
70歳以上	100.0	3.2	14.1	18.4	17.9	12.6	8.5	4.4	7.1	11.7	2.0	
(再)65歳以上	100.0	3.1	13.6	18.6	20.3	13.7	7.4	4.5	7.1	10.2	1.6	
男性	100.0	2.2	14.8	26.2	21.1	10.4	4.9	2.7	8.5	8.6	0.5	
29歳以下	100.0	4.7	26.3	32.3	8.9	1.6	1.3	1.6	7.3	15.5	0.6	
30~39歳	100.0	4.6	20.9	26.2	17.9	3.4	0.2	1.4	9.7	15.2	0.5	
40~49歳	100.0	3.2	17.3	30.1	20.4	5.4	2.6	0.3	9.8	10.7	0.3	
50~59歳	100.0	2.3	15.4	33.2	22.6	7.3	1.6	0.6	9.1	7.8	0.0	
60~69歳	100.0	0.5	9.8	24.2	28.3	16.4	4.6	4.1	7.0	4.7	0.4	
70歳以上	100.0	1.4	11.7	19.8	19.5	15.4	11.3	5.0	8.3	6.8	0.9	
(再)65歳以上	100.0	1.2	11.0	19.7	21.4	17.3	9.7	4.8	8.2	6.0	0.8	
女性	100.0	5.2	18.1	23.7	17.8	6.5	3.0	2.9	7.2	14.3	1.1	
29歳以下	100.0	10.0	25.1	21.5	10.6	2.1	0.6	3.2	6.5	20.4	0.0	
30~39歳	100.0	7.5	19.3	26.8	12.9	2.4	1.3	1.5	8.8	19.3	0.2	
40~49歳	100.0	4.6	23.1	28.1	14.9	3.4	0.6	1.1	10.0	13.8	0.4	
50~59歳	100.0	3.7	18.7	33.0	18.5	4.6	1.6	1.9	6.6	11.1	0.3	
60~69歳	100.0	4.7	13.8	21.9	26.0	8.3	3.1	4.1	6.4	10.7	0.8	
70歳以上	100.0	4.7	16.1	17.4	16.7	10.5	6.2	4.0	6.2	15.5	2.8	
(再)65歳以上	100.0	4.7	15.7	17.6	19.4	10.7	5.6	4.2	6.2	13.8	2.2	

5 老後の働き方

・日数や時間を減らしたいとする者が約5割

老後に働く場合、どのような働き方を希望するかについては、「働く日数を減らしたり、時間を短くして働きたい」が51.8%、「老後は働かずに過ごしたい」が28.0%、「現役世代と同じようにフルタイムで働きたい」が5.1%となっている。

図6 希望する老後の働き方



6 老後の収入源

・最も頼りにするのは公的年金

老後の生計を支える手段として最も頼りにする（1番目に頼りにする）収入源については、「公的年金（国民年金や厚生年金など）」が最も多く58.2%、次いで「自分の就労による収入」が18.7%となっている。

年齢階級別にみると、65歳以上では「公的年金（国民年金や厚生年金など）」が75.0%を占めているが、若い世代では「自分の就労による収入」「貯蓄または退職金の取り崩し」「配偶者の就労による収入」など、「公的年金（国民年金や厚生年金など）」以外の割合も多くなっている。

図7 老後の生計を支える手段として最も頼りにするもの

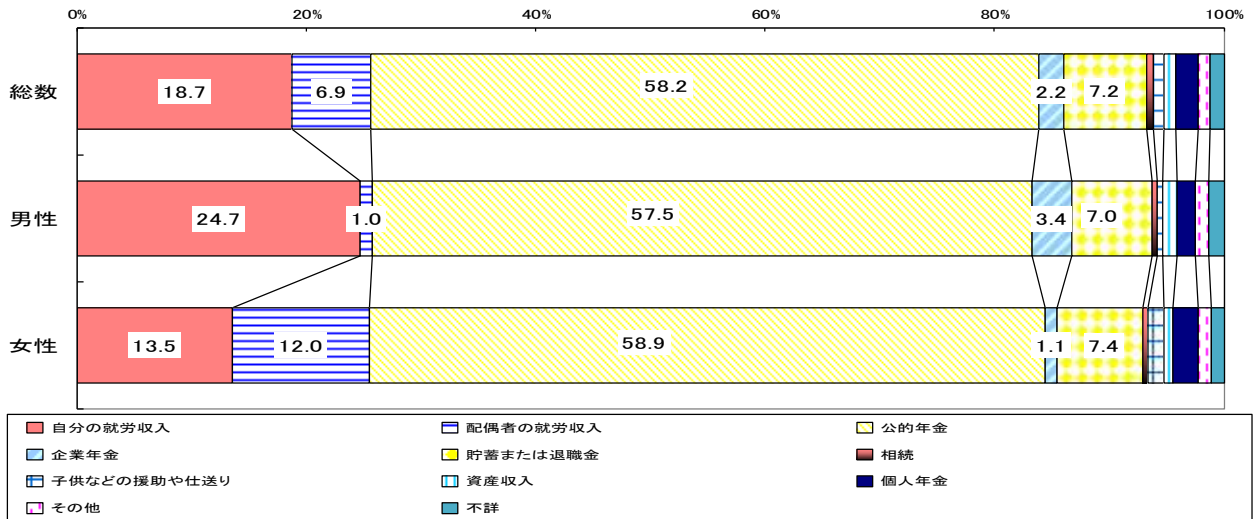
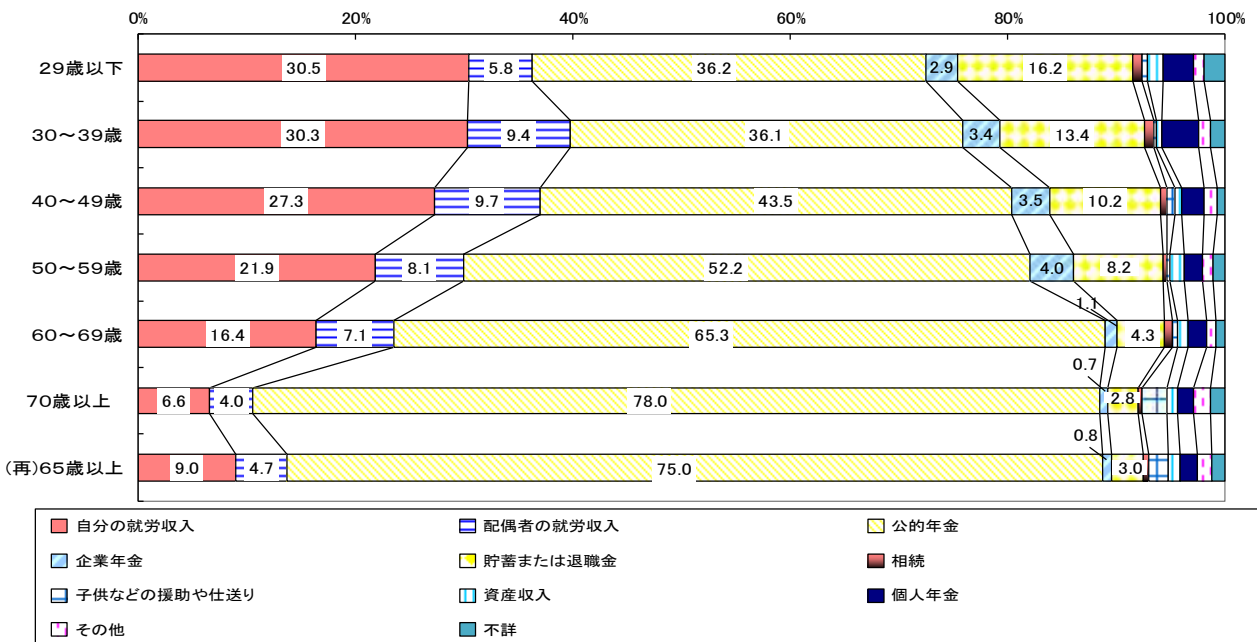
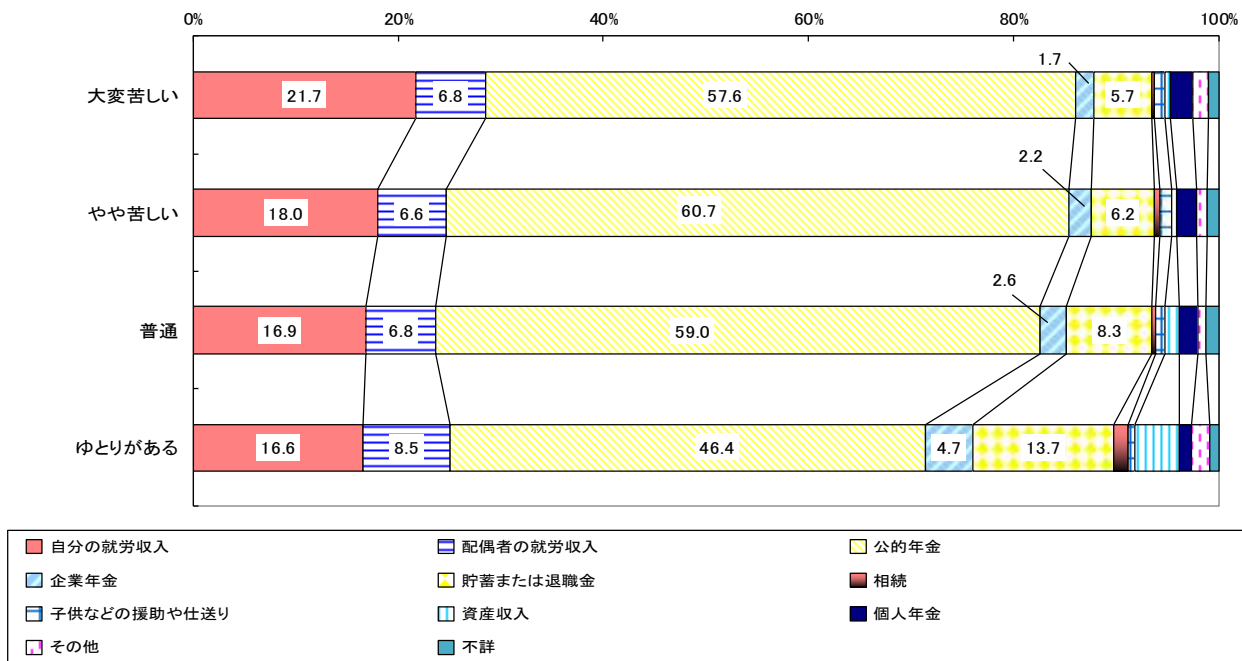


図8 年齢階級別にみた老後の生計を支える手段として最も頼りにするもの



世帯の生活意識の状況別にみると、ゆとりがあると感じている世帯層では、他の世帯層に比べ「貯蓄または退職金の取り崩し」「家賃や銀行の利子などの資産収入」の割合が多くなっている。

図9 世帯の生活意識の状況別にみた老後の生計を支える手段として最も頼りにするもの



(注) 客体数が少ないため、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合算し、「ゆとりがある」として集計している。

老後の生計を支える手段について、1番目に頼りにするものと2番目に頼りにするものの組合せをみると、「公的年金（国民年金や厚生年金など）」と「貯蓄または退職金の取り崩し」の組合せが最も多く 25.6%、次いで「自分の就労による収入」と「公的年金（国民年金や厚生年金など）」の組合せが 9.3%となっている。

表3 老後の生計を支える手段として1番目に頼りにするものと2番目に頼りにするものの組合せ

(単位:%)

	1番目に頼りにするもの											
	総数	自分の就労による収入	配偶者の就労による収入	公的年金 (国民年金や厚生年金など)	勤務先の企業年金	貯蓄または退職金の取り崩し	親など親族からの相続	子どもなど親族からの援助や仕送り	家賃や銀行の利子などの資産収入	個人年金	その他	不詳
総数	100.0	18.7	6.9	58.2	2.2	7.2	0.5	1.0	1.0	1.9	1.1	1.2
2番目に頼りにするもの												
自分の就労による収入	11.5	-	1.2	8.5	0.4	0.9	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	-
配偶者の就労による収入	5.2	2.2	-	2.7	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	-	-
公的年金(国民年金や厚生年金など)	18.6	9.3	3.3	-	0.6	3.6	0.2	0.5	0.4	0.6	0.2	-
勤務先の企業年金	4.5	0.6	0.1	3.3	-	0.4	0.0	-	0.1	0.1	-	-
貯蓄または退職金の取り崩し	31.4	2.8	1.1	25.6	0.9	-	0.1	0.1	0.1	0.5	0.1	-
親など親族からの相続	1.8	0.3	0.1	0.9	0.0	0.3	-	0.1	0.0	0.0	0.0	-
子どもなど親族からの援助や仕送り	4.0	0.3	0.2	3.1	0.0	0.2	0.1	-	0.0	0.1	0.0	-
家賃や銀行の利子などの資産収入	1.9	0.3	0.1	1.2	0.0	0.3	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-
個人年金	6.8	1.1	0.3	3.9	0.2	1.0	0.0	0.1	0.1	-	0.0	-
その他	1.6	0.4	0.1	1.0	-	0.1	-	0.0	0.0	0.0	-	0.0
不詳	12.7	1.4	0.4	8.1	0.1	0.4	0.0	0.2	0.1	0.2	0.7	1.2

7 老後の生きがい

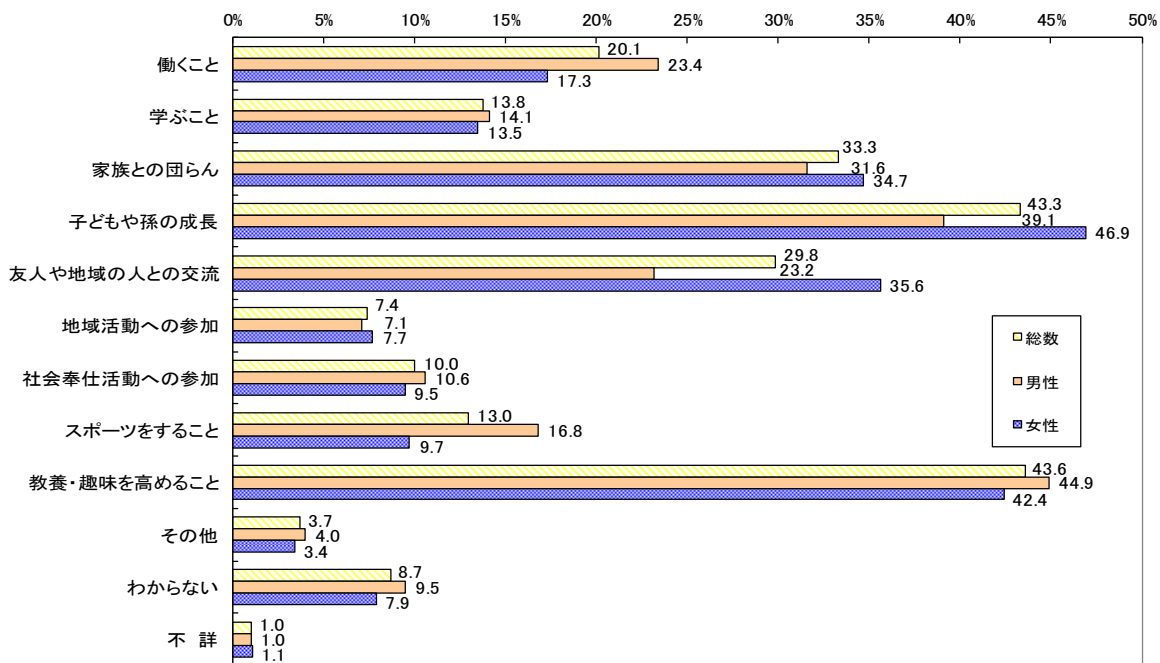
・老後の生きがいは教養・趣味を高めること

老後の生活の中で生きがいを感じることは、「教養・趣味を高めること」が最も多く43.6%、次いで「子どもや孫の成長」が43.3%、「家族との団らん」が33.3%となっている。

性別にみると、男性は「教養・趣味を高めること」が44.9%で最も多く、女性は「子どもや孫の成長」が46.9%、「教養・趣味を高めること」が42.4%となっている。

また、「働くこと」「スポーツをすること」の割合は男性が多く、「子どもや孫の成長」「友人や地域の人との交流」の割合は女性が多くなっている。

図10 老後の生きがい（複数回答）



年齢階級別にみると、「子どもや孫の成長」「家族との団らん」は若い世代で多くなっているのに対し、「友人や地域の人との交流」「働くこと」「老人クラブ活動などの地域活動への参加」は高齢層で多くなっている。

表4 年齢階級別にみた老後の生きがい（複数回答）

（単位：％）

	総数	働くこと	学ぶこと	家族との 団らん	子どもや 孫の成長	友人や地域 の人との 交流	地域活動へ の参加	社会奉仕活 動への参加	スポーツを すること	教養・趣味 を高める こと	その他	わからない	不詳
総数	100.0	20.1	13.8	33.3	43.3	29.8	7.4	10.0	13.0	43.6	3.7	8.7	1.0
29歳以下	100.0	11.8	12.5	42.0	46.9	25.0	7.3	5.6	13.3	46.6	2.1	13.0	0.6
30～39歳	100.0	16.1	13.2	40.7	50.7	22.8	4.9	6.1	12.4	50.1	1.6	10.9	0.9
40～49歳	100.0	18.8	13.8	31.1	43.9	25.0	5.6	10.1	12.0	50.0	2.2	10.5	0.8
50～59歳	100.0	20.7	14.9	34.1	40.2	23.5	3.9	12.5	13.3	50.4	2.9	9.2	0.7
60～69歳	100.0	26.0	16.8	29.6	42.5	31.7	5.7	13.0	14.5	44.6	4.1	6.2	0.8
70歳以上	100.0	19.6	11.5	32.1	41.6	38.4	12.5	8.9	12.4	32.5	5.6	7.3	1.7
(再)65歳以上	100.0	21.9	12.8	30.9	42.1	36.9	10.5	10.3	13.1	35.6	5.1	7.0	1.4
男性	100.0	23.4	14.1	31.6	39.1	23.2	7.1	10.6	16.8	44.9	4.0	9.5	1.0
29歳以下	100.0	12.7	13.0	40.8	40.5	23.4	6.0	3.2	19.6	49.1	2.2	14.6	0.3
30～39歳	100.0	16.6	13.8	40.5	47.4	15.9	4.6	6.7	17.7	48.7	1.6	12.9	0.7
40～49歳	100.0	21.6	14.7	32.3	37.6	17.9	4.5	10.5	15.4	48.4	2.6	12.4	1.0
50～59歳	100.0	24.1	14.9	31.5	35.8	16.5	3.5	12.3	16.8	52.7	2.8	9.9	0.9
60～69歳	100.0	29.0	16.9	27.0	37.2	23.7	6.6	13.2	17.2	45.0	4.6	7.4	0.6
70歳以上	100.0	24.9	11.4	29.3	40.1	32.5	12.4	11.1	16.2	35.8	6.3	6.6	1.6
(再)65歳以上	100.0	26.9	12.8	27.9	39.3	29.8	10.6	11.9	16.3	38.4	5.8	7.0	1.2
女性	100.0	17.3	13.5	34.7	46.9	35.6	7.7	9.5	9.7	42.4	3.4	7.9	1.1
29歳以下	100.0	10.9	12.1	43.1	52.8	26.5	8.6	8.0	7.4	44.2	2.1	11.5	0.9
30～39歳	100.0	15.8	12.7	40.8	53.3	28.3	5.1	5.7	8.1	51.1	1.7	9.4	1.1
40～49歳	100.0	16.3	12.9	30.0	49.8	31.4	6.6	9.8	8.9	51.5	1.9	8.8	0.6
50～59歳	100.0	17.6	14.9	36.5	44.2	29.9	4.3	12.7	10.0	48.3	3.1	8.5	0.5
60～69歳	100.0	23.4	16.7	31.8	47.2	38.7	4.9	12.9	12.1	44.3	3.8	5.1	0.9
70歳以上	100.0	15.5	11.5	34.3	42.8	43.1	12.5	7.3	9.5	29.9	5.1	7.9	1.8
(再)65歳以上	100.0	17.7	12.9	33.3	44.4	42.7	10.3	9.0	10.3	33.3	4.5	6.9	1.6

8 老後生活における子どもとの同・別居について

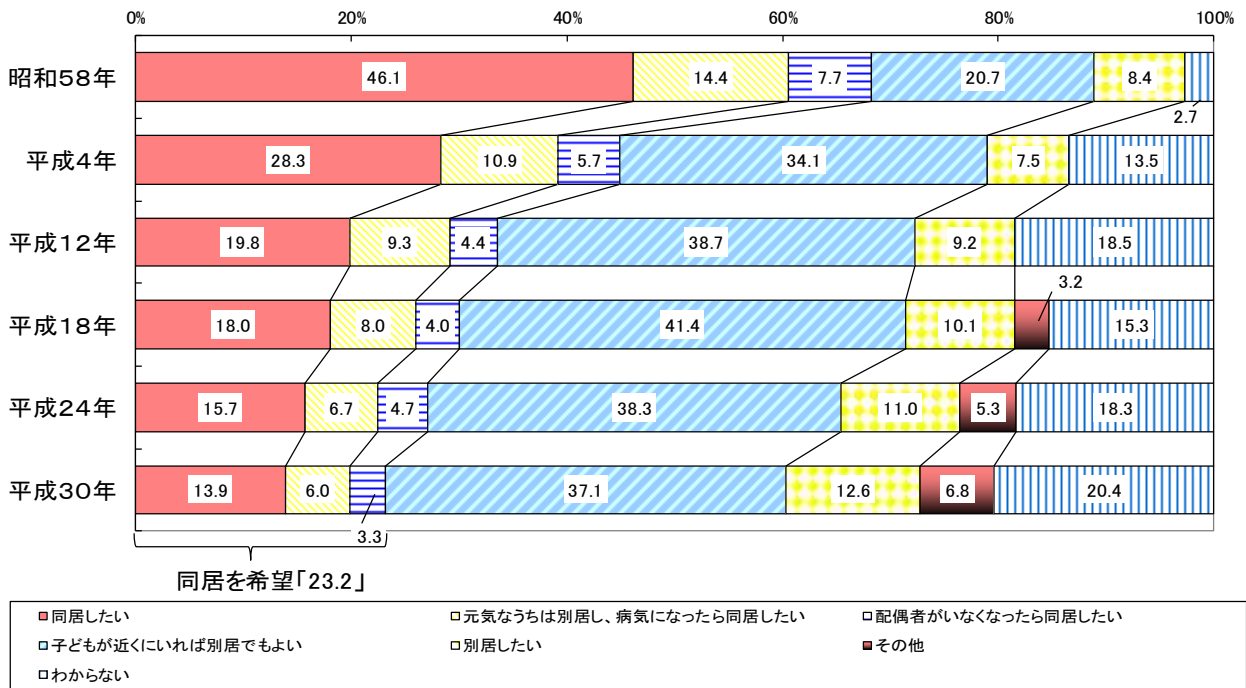
・子どもとの同居希望が低下傾向

現在、子どものいる者について、老後生活での子どもとの同居意識をみると、同居を希望する者は23.2%となっており、引き続き低下傾向となっている。

同居を希望する者の内訳をみると、条件なしで「同居したい」が13.9%、「元気なうちは別居し、病気になったら同居したい」が6.0%、「配偶者がいなくなったら同居したい」が3.3%となっている。

一方、別居については、「子どもが近くにいれば別居でもよい」が37.1%、条件なしで「別居したい」が12.6%となっており、合わせて49.6%を占めている。

図11 老後生活における子どもとの同・別居について

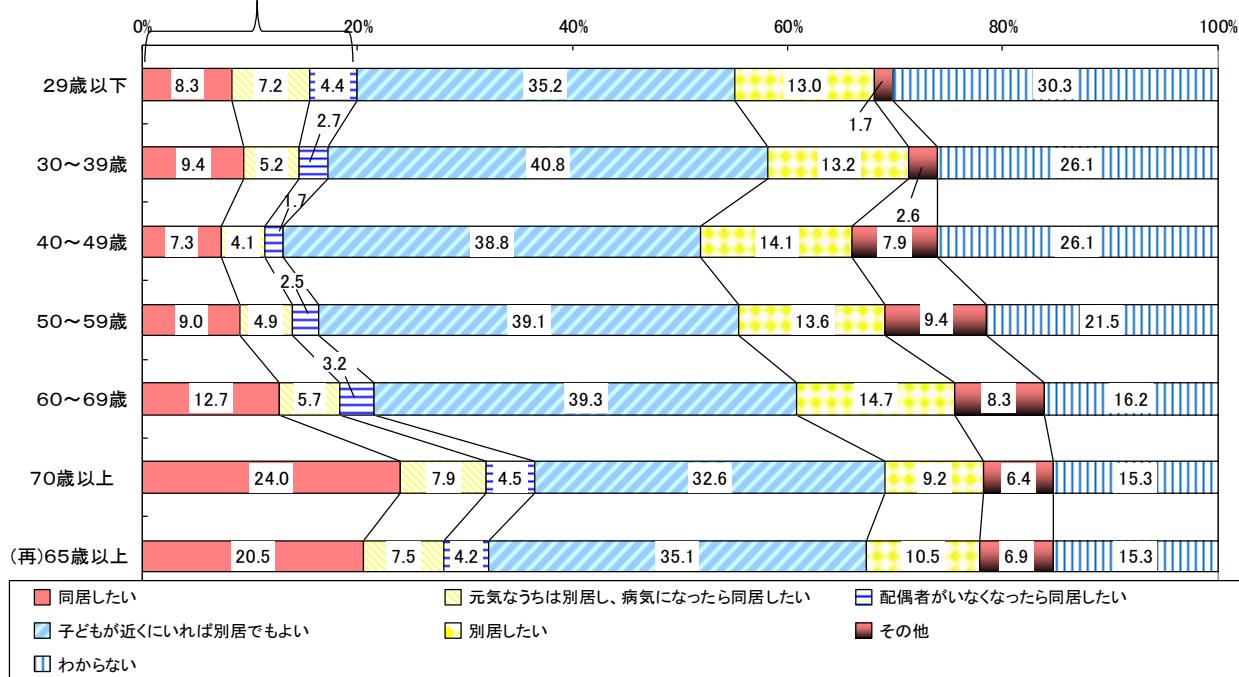


(注1) 平成18年調査において調査項目を一部変更し、「その他」を加えた。

(注2) 老後生活における子どもとの同・別居が不詳の客体を除いて集計している。

年齢階級別にみると、同居を希望する者の割合は40～49歳が最も少なく、70歳以上が最も多くなっている。

図12 年齢階級別にみた老後生活における子どもとの同・別居について
同居を希望



(注) 老後生活における子どもとの同・別居が不詳の客体を除いて集計している。

9 年をとって生活したいと思う場所

・配偶者がいなくなり1人となった場合、在宅で生活したい者が約8割

年をとって「配偶者がいなくなり1人となった場合」にどのような場所で生活したいかについては、「自宅（これまで住み続けた自宅、子どもの家への転居を含む）」（64.7%）などの在宅での生活を望む者が77.5%となっている。

年齢階級別にみても、すべての年齢階級で「自宅（これまで住み続けた自宅、子どもの家への転居を含む）」が最も多くなっている。

図13 年をとって生活したい場所（配偶者がいなくなり1人となった場合）

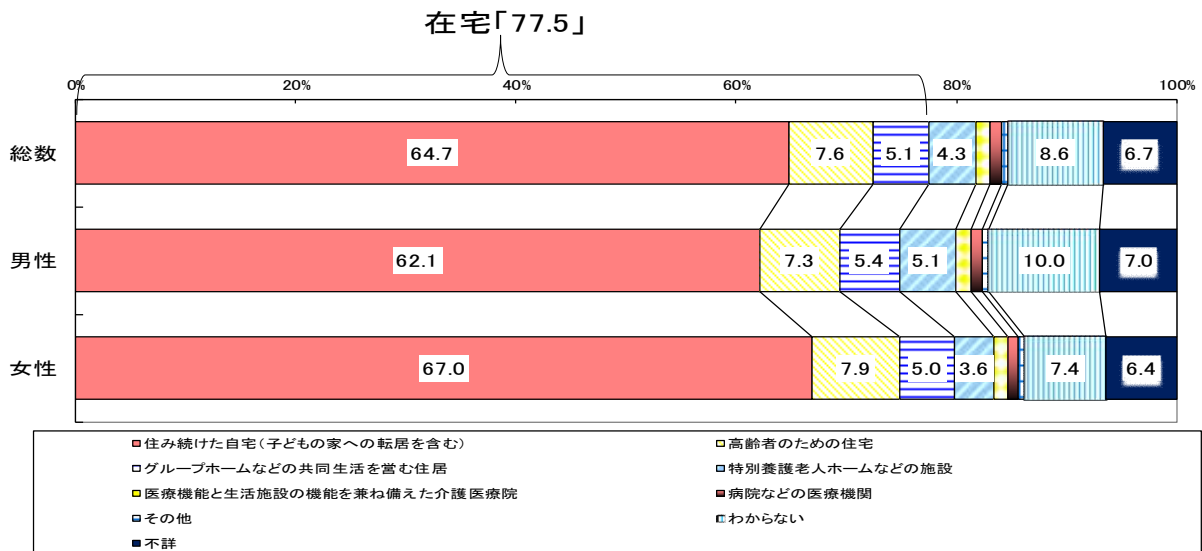
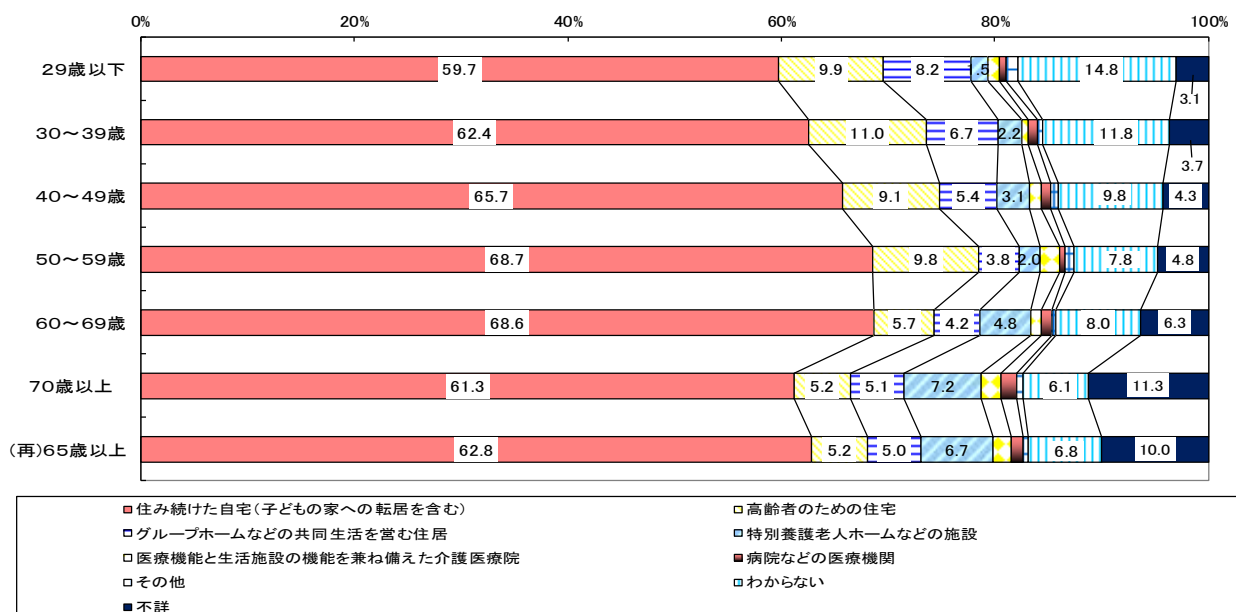


図14 年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（配偶者がいなくなり1人となった場合）



・介護を必要とする状態となった場合、在宅で生活したい者が 35.7%、施設が 25.5%

年をとって「介護を必要とする状態となった場合」にどのような場所で生活したいかについては、「自宅（これまで住み続けた自宅、子どもの家への転居を含む）」（14.7%）などの在宅での生活を望む者が 35.7%、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設」が 25.5%、「日常的な医学管理や看取りなどの医療機能と生活施設の機能を兼ね備えた介護医療院」が 14.0%となっている。

年齢階級別にみると、年齢階級が上がるにつれて在宅での生活を望む者の割合が少なくなっている。

図 15 年をとって生活したい場所（介護を必要とする状態となった場合）

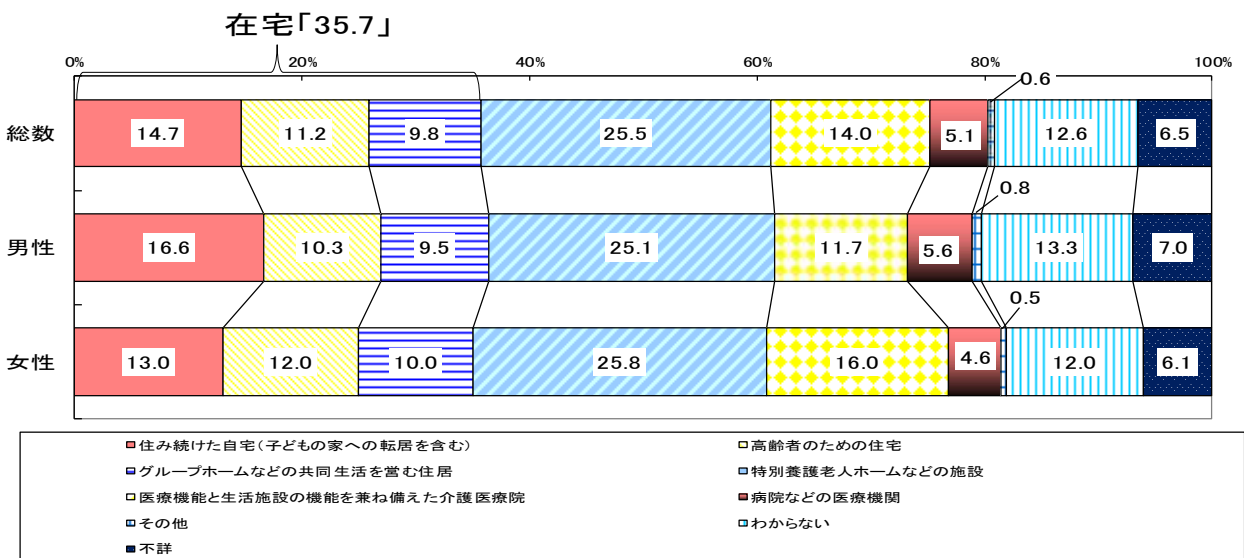
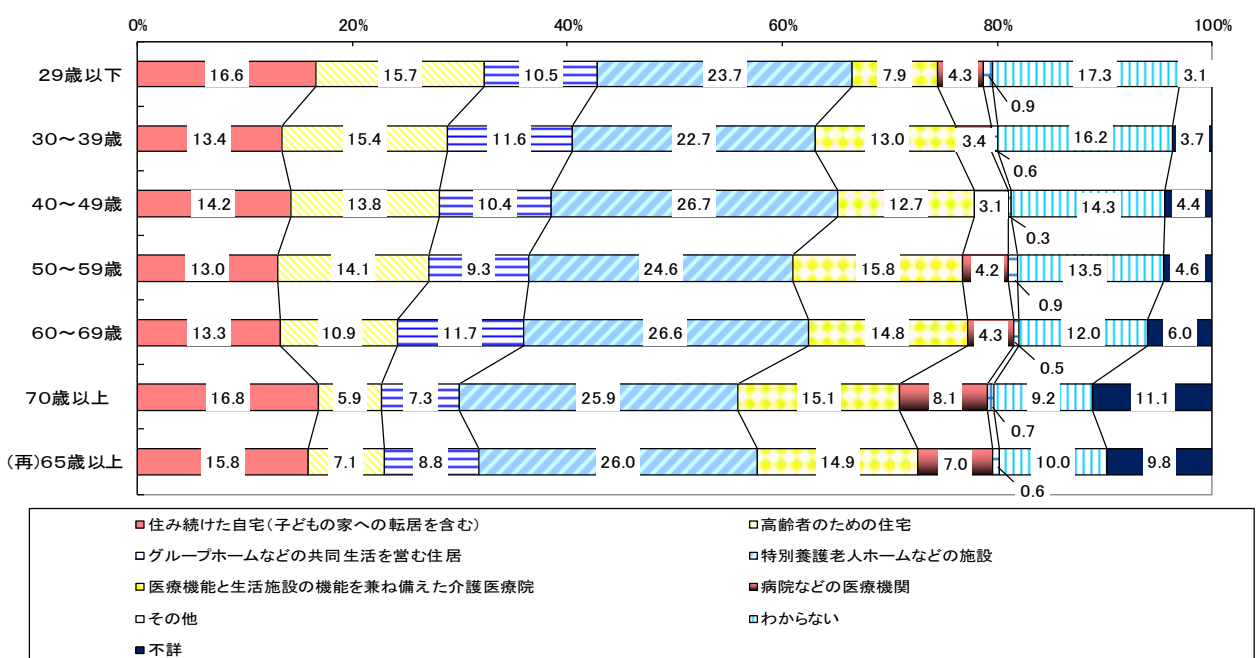


図 16 年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（介護を必要とする状態となった場合）



・人生の最後をむかえるときは、在宅で生活したい者が約3割、医療機関が25.2%

年をとって「人生の最後をむかえるとき」にどのような場所で生活したいかについては、「自宅（これまで住み続けた自宅、子どもの家への転居を含む）」（27.9%）などの在宅での生活を望む者が30.9%、「病院などの医療機関」が25.2%となっている。

年齢階級別にみると、概ね年齢階級が上がるにつれて「自宅（これまで住み続けた自宅、子どもの家への転居を含む）」の割合が少なくなり、代わりに「病院などの医療機関」の割合が多くなっている。

図17 年をとって生活したい場所（人生の最後をむかえるとき）

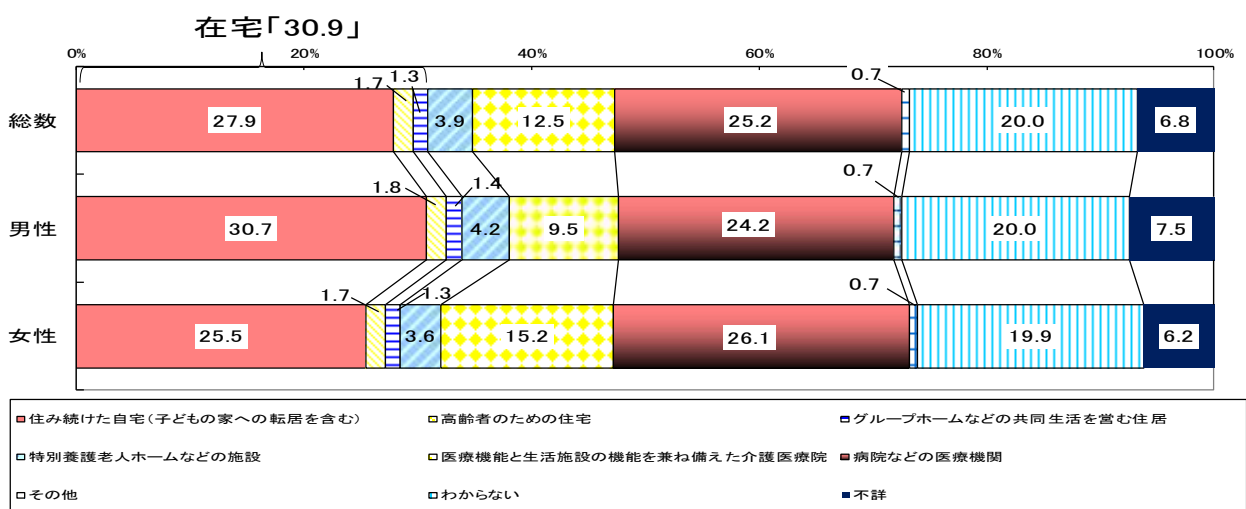
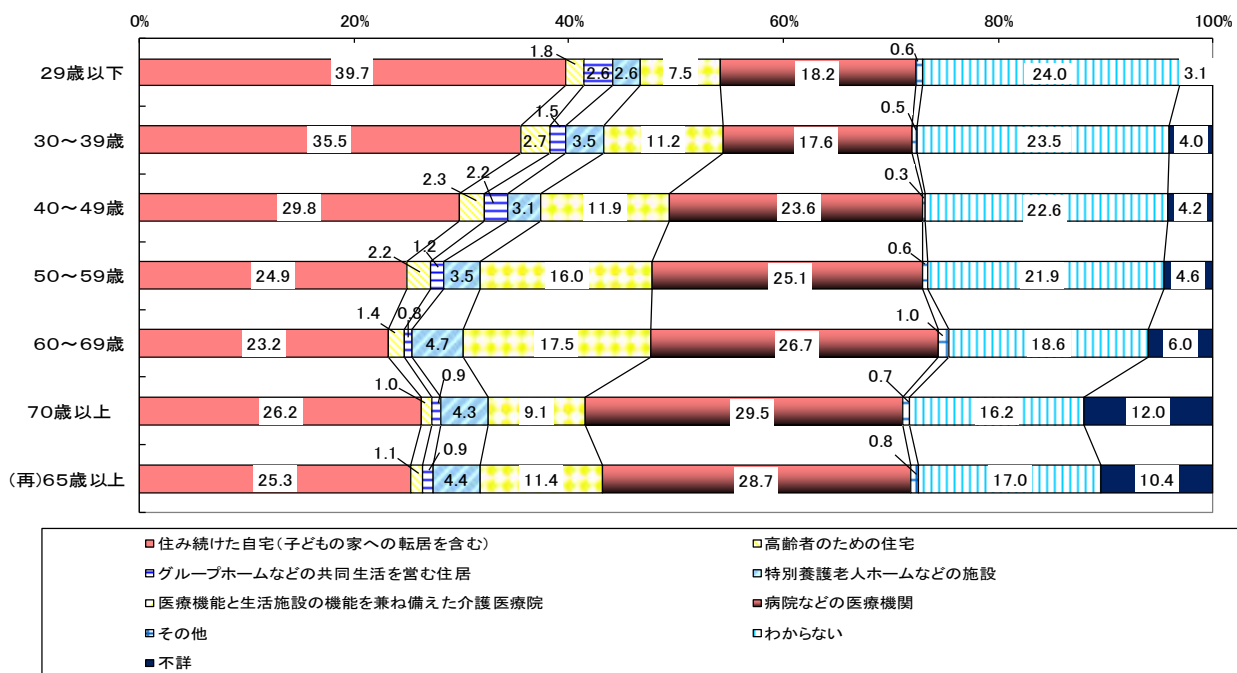


図18 年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（人生の最後をむかえるとき）



10 自宅で介護される場合の希望

・家族と外部の者（ホームヘルパーなど）の両方から介護を受けたい者が約6割

年をとって介護が必要となり、自宅で介護を受ける場合については、「ホームヘルパーなど外部の者の介護を中心とし、あわせて家族による介護を受けたい」とする者が34.4%、「家族の介護を中心とし、ホームヘルパーなどの外部の者も利用したい」が23.1%となっており、家族と外部の者（ホームヘルパーなど）の両方から介護を受けたい者が約6割を占めている。

年齢階級別にみても、すべての年齢階級で家族と外部の者（ホームヘルパーなど）の両方から介護を受けたい者が5～6割を占めている。

図19 自宅で介護されるとした場合、どのような介護をされたいか

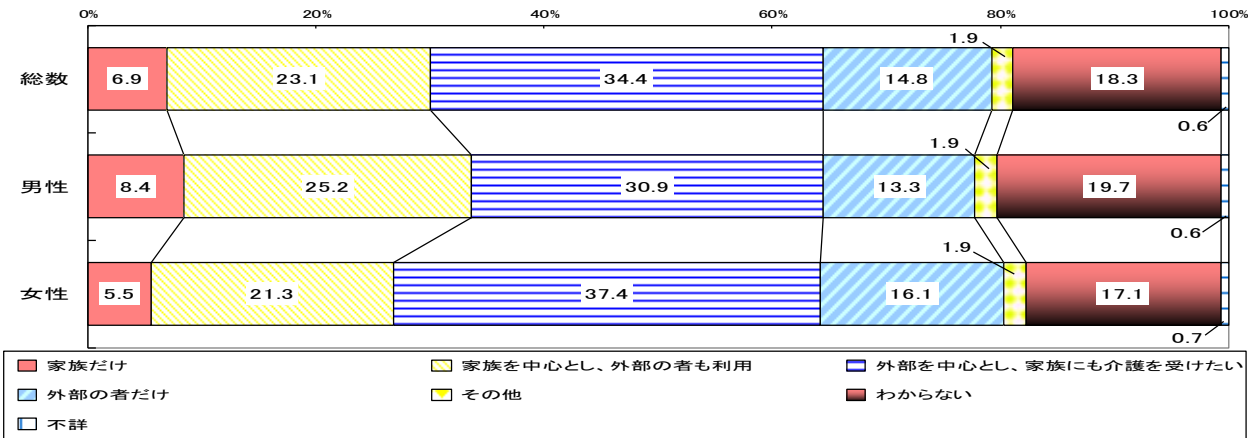
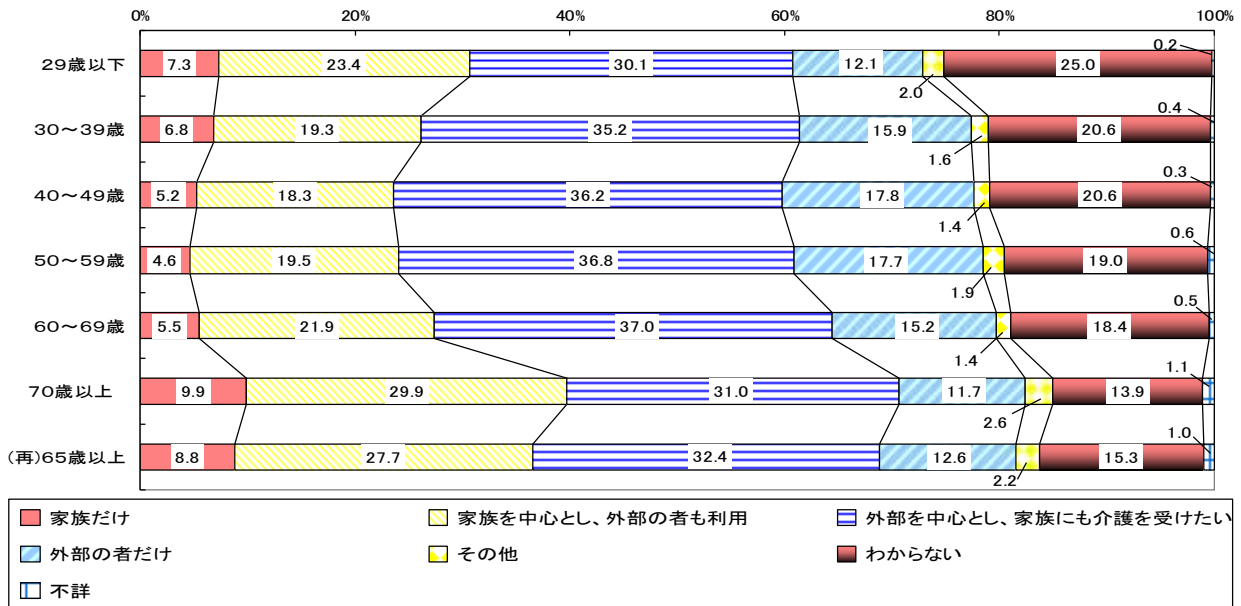


図20 年齢階級別にみた自宅で介護されるとした場合、どのような介護をされたいか

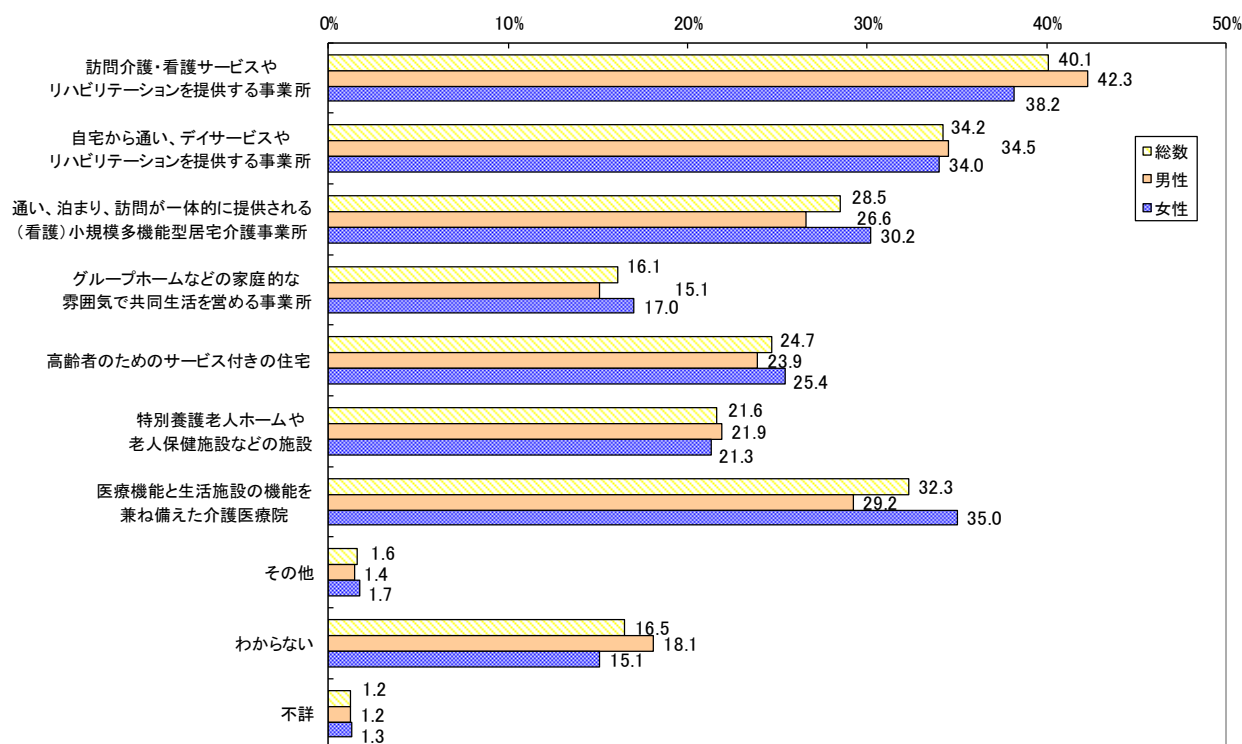


1.1 今後増えて欲しいと思う介護関係の事業所・施設

・訪問介護・看護サービスやリハビリテーションを提供する事業所とする者が約4割

今後10年間で家の周りに今以上に増えて欲しいと思う介護関係の事業所・施設については、「自宅にヘルパーや看護師、理学療法士等が訪れ、訪問介護・看護サービスやリハビリテーションを提供する事業所」が最も多く40.1%、次いで「自宅から通い、デイサービスやリハビリテーションを提供する事業所」が34.2%、「日常的な医学管理や看取りなどの医療機能と生活施設の機能を兼ね備えた介護医療院」が32.3%、「通い、泊まり、訪問が一体的に提供される(看護)小規模多機能型居宅介護事業所」が28.5%となっている。

図2.1 今後10年間で家の周りに今以上に増えて欲しいと思う介護関係の事業所・施設(複数回答)



年齢階級別にみても、すべての年齢階級において「自宅にヘルパーや看護師、理学療法士等が訪れ、訪問介護・看護サービスやリハビリテーションを提供する事業所」が最も多くなっている。

表5 年齢階級別にみた今後10年間で家の周りに今以上に増えて欲しいと思う介護関係の事業所・施設（複数回答）

（単位：％）

	総数	訪問介護・看護サービスやリハビリテーションを提供する事業所	自宅から通い、デイサービスやリハビリテーションを提供する事業所	通い、泊まり、訪問が一体的に提供される（看護）小規模多機能型居宅介護事業所	グループホームなどの家庭的な雰囲気での共同生活を営める事業所	高齢者のためのサービス付きの住宅	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設	医療機能と生活施設の機能を兼ね備えた介護医療院	その他	わからない	不詳
総数	100.0	40.1	34.2	28.5	16.1	24.7	21.6	32.3	1.6	16.5	1.2
29歳以下	100.0	40.8	28.7	22.9	15.7	25.8	15.7	20.0	1.1	28.1	0.5
30～39歳	100.0	35.1	32.0	29.7	17.3	28.9	16.1	23.9	1.3	24.1	0.8
40～49歳	100.0	38.4	33.1	28.0	18.3	27.4	16.7	29.2	1.4	18.3	0.5
50～59歳	100.0	39.4	31.7	30.4	15.8	28.4	21.1	35.2	1.0	15.5	1.3
60～69歳	100.0	40.9	36.2	32.1	16.2	26.2	23.9	39.9	1.7	11.0	1.2
70歳以上	100.0	42.3	36.8	26.1	14.6	18.4	26.3	33.0	2.0	14.5	1.9
（再）65歳以上	100.0	41.9	36.3	28.1	15.3	20.0	25.8	35.0	2.1	13.4	1.8
男性	100.0	42.3	34.5	26.6	15.1	23.9	21.9	29.2	1.4	18.1	1.2
29歳以下	100.0	40.5	29.4	21.8	13.6	23.7	16.5	15.5	1.6	30.4	0.6
30～39歳	100.0	34.3	32.9	24.6	15.6	26.9	15.9	20.2	0.9	27.6	0.5
40～49歳	100.0	42.6	32.6	25.4	17.7	25.2	16.0	26.7	1.8	20.8	0.3
50～59歳	100.0	39.6	31.6	27.7	14.5	28.3	21.9	28.6	0.7	18.9	1.6
60～69歳	100.0	44.3	36.9	30.5	14.5	23.3	24.3	35.9	1.4	12.3	1.2
70歳以上	100.0	45.3	37.3	25.5	14.5	20.0	27.4	32.7	1.8	13.7	1.9
（再）65歳以上	100.0	44.8	36.1	27.6	14.7	20.1	26.6	33.8	1.8	13.5	1.7
女性	100.0	38.2	34.0	30.2	17.0	25.4	21.3	35.0	1.7	15.1	1.3
29歳以下	100.0	41.0	28.0	23.9	17.7	27.7	15.0	24.2	0.6	26.0	0.3
30～39歳	100.0	35.8	31.3	33.8	18.6	30.5	16.4	26.8	1.7	21.3	1.1
40～49歳	100.0	34.6	33.6	30.4	18.8	29.4	17.4	31.5	1.1	16.1	0.8
50～59歳	100.0	39.1	31.8	32.9	17.1	28.6	20.3	41.4	1.2	12.3	1.1
60～69歳	100.0	37.9	35.7	33.4	17.8	28.7	23.5	43.5	2.1	9.9	1.2
70歳以上	100.0	40.0	36.4	26.5	14.8	17.1	25.4	33.2	2.2	15.1	1.9
（再）65歳以上	100.0	39.5	36.4	28.5	15.8	20.0	25.0	36.0	2.3	13.4	1.8

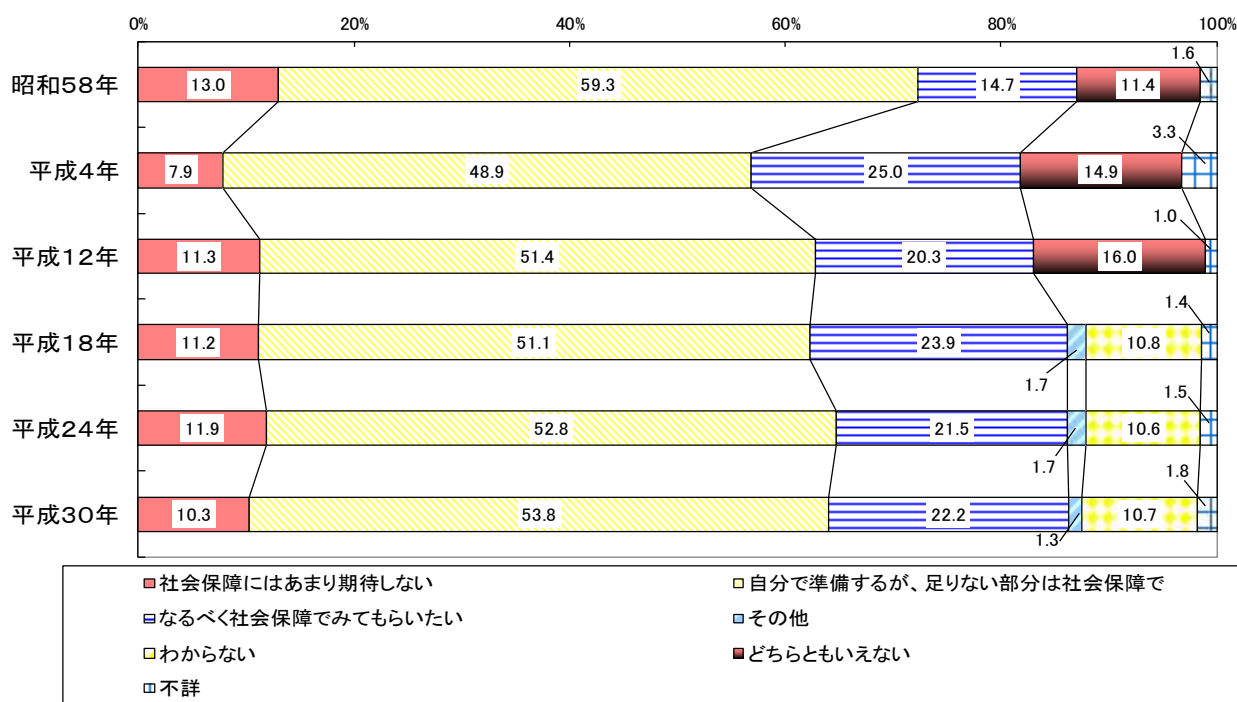
1.2 老後生活と社会保障（年金、医療、福祉など）の関係について

・足りない部分は社会保障でみてもらいたいとする者が過半数

老後生活と社会保障の関係については、「老後の生活の準備はまず自分ですが、全部は出来ないので、足りない部分は社会保障でみてもらいたい」が53.8%と過半数を占めている。

平成24年と比較すると、「老後の生活の準備はまず自分ですが、全部は出来ないので、足りない部分は社会保障でみてもらいたい」「将来のことは予測できない面があるので、自分で準備するといっても限界がある。社会保障のための負担が重くなってもよいから、老後の生活はなるべく社会保障でみてもらいたい」は若干上昇しているのに対し、「老後の生活は自分が考えるべきで、若いときからその準備をする。社会保障にはあまり期待しない」は若干低下している。

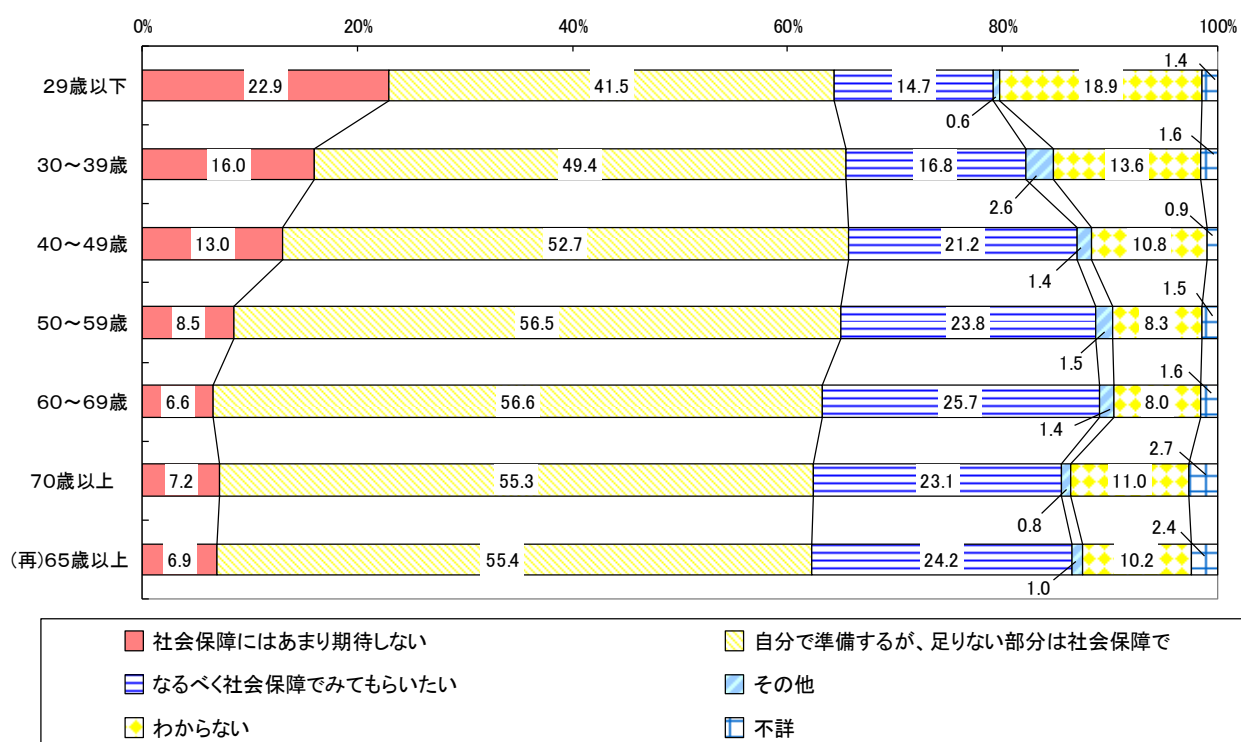
図2.2 老後生活と社会保障の関係について



(注) 平成18年調査において調査項目を一部変更し、「どちらともいえない」を「その他」及び「わからない」に変更した。

年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「老後の生活の準備はまず自分ですが、全部は出来ないで、足りない部分は社会保障でみてもらいたい」の割合が最も多くなっているが、若い世代では「老後の生活は自分が考えるべきで、若いときからその準備をする。社会保障にはあまり期待しない」の割合が多くなっているのに対し、高年齢層では「将来のことは予測できない面があるので、自分で準備するといっても限界がある。社会保障のための負担が重くなってもよいから、老後の生活はなるべく社会保障でみてもらいたい」の割合が多くなっている。

図 2 3 年齢階級別にみた老後生活と社会保障の関係について

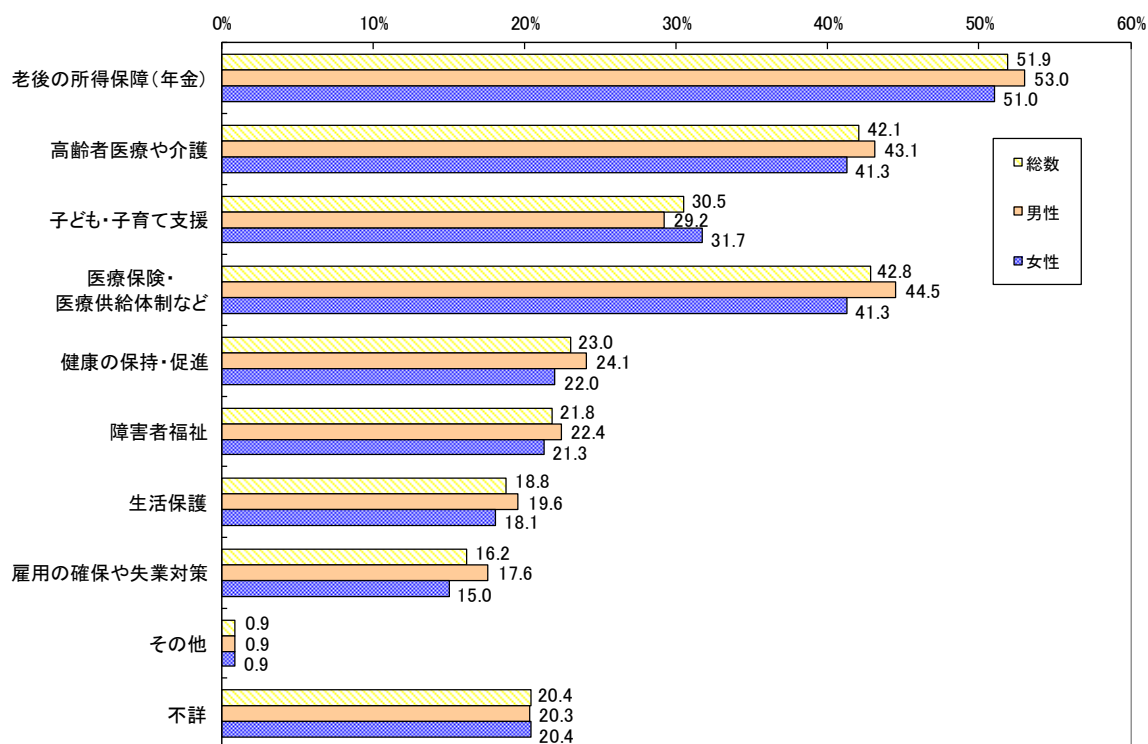


1.3 役立っていると考える社会保障の分野について

・役立っていると考える社会保障は、老後の所得保障（年金）とする者が約5割

国民生活に役立っていると考える社会保障の分野は、「老後の所得保障（年金）」が51.9%、次いで「医療保険・医療供給体制など」が42.8%、「高齢者医療や介護」が42.1%、「子ども・子育て支援」が30.5%、「健康の保持・促進」が23.0%となっている。

図2.4 役立っていると考える社会保障の分野（複数回答）



年齢階級別にみると、「子ども・子育て支援」は若い世代で多くなっているのに対し、「老後の所得保障（年金）」「高齢者医療や介護」は高齢層で多くなっている。

表6 年齢階級別にみた役立っていると考える社会保障の分野（複数回答）

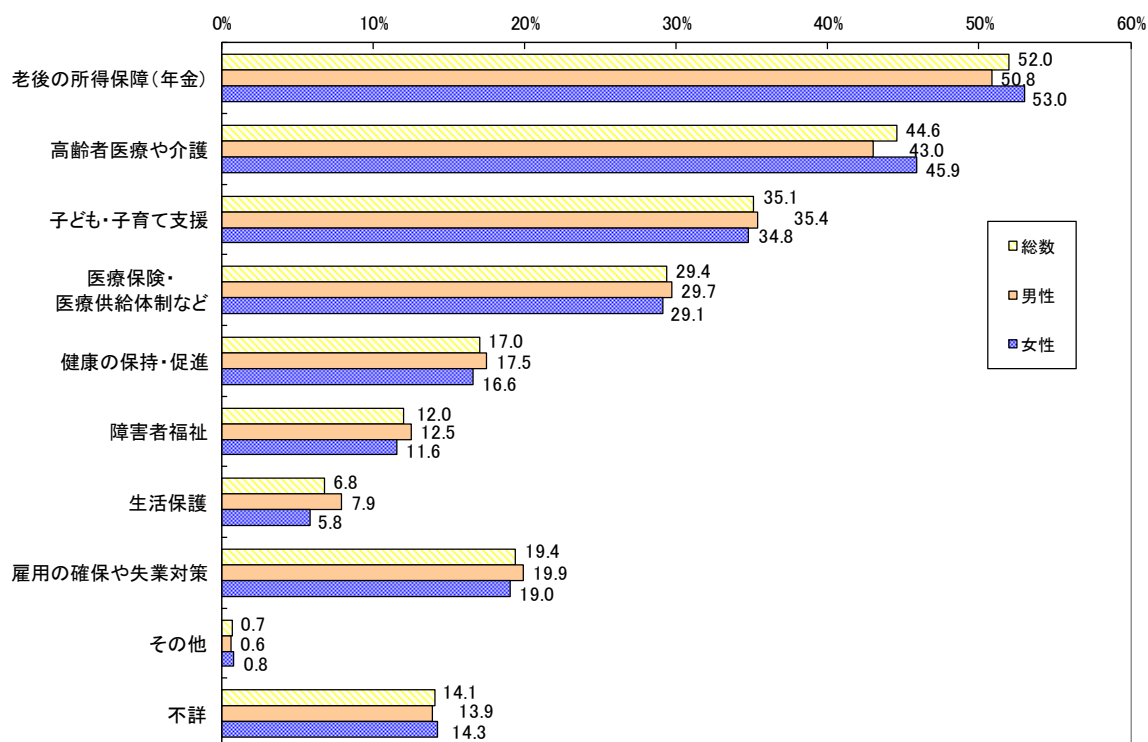
（単位：％）

	総数	老後の所得保障(年金)	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	51.9	42.1	30.5	42.8	23.0	21.8	18.8	16.2	0.9	20.4
29歳以下	100.0	30.4	27.3	29.9	35.6	22.3	20.3	19.2	17.1	1.5	27.6
30～39歳	100.0	30.1	26.7	42.1	40.0	19.8	19.5	15.5	16.6	1.2	23.1
40～49歳	100.0	37.5	33.9	39.4	41.2	20.0	21.7	19.0	18.3	0.7	23.1
50～59歳	100.0	45.8	37.6	32.1	41.9	19.9	24.0	20.2	18.7	0.8	22.6
60～69歳	100.0	63.3	47.4	29.2	45.5	24.8	25.4	21.4	17.9	0.8	17.6
70歳以上	100.0	68.0	54.6	21.6	44.8	26.3	19.3	17.0	12.0	1.0	17.0
(再)65歳以上	100.0	67.2	52.4	23.3	45.1	25.7	20.8	18.1	13.6	1.0	17.1
男性	100.0	53.0	43.1	29.2	44.5	24.1	22.4	19.6	17.6	0.9	20.3
29歳以下	100.0	29.1	28.2	27.8	33.5	21.8	19.3	17.4	16.1	0.9	31.6
30～39歳	100.0	34.0	30.3	40.7	42.5	21.6	19.3	16.3	18.4	1.8	22.5
40～49歳	100.0	39.3	35.6	36.7	42.6	21.2	21.7	20.1	19.3	0.6	23.1
50～59歳	100.0	47.9	38.3	28.9	43.1	20.3	23.2	19.9	19.3	0.7	22.6
60～69歳	100.0	63.7	46.3	26.4	45.1	24.0	26.4	21.7	19.1	0.7	18.1
70歳以上	100.0	69.1	56.8	23.0	49.5	29.7	21.2	19.2	14.5	1.1	15.3
(再)65歳以上	100.0	68.2	53.6	23.4	48.4	27.8	22.4	19.7	15.4	1.0	15.9
女性	100.0	51.0	41.3	31.7	41.3	22.0	21.3	18.1	15.0	0.9	20.4
29歳以下	100.0	31.6	26.5	31.9	37.5	22.7	21.2	20.9	18.0	2.1	23.9
30～39歳	100.0	27.0	23.7	43.2	38.1	18.4	19.7	14.9	15.3	0.7	23.5
40～49歳	100.0	35.8	32.3	41.8	39.9	18.9	21.6	18.0	17.5	0.9	23.1
50～59歳	100.0	43.8	36.9	35.0	40.7	19.5	24.8	20.4	18.1	0.9	22.6
60～69歳	100.0	63.0	48.4	31.7	46.0	25.5	24.5	21.2	16.9	0.8	17.1
70歳以上	100.0	67.2	52.9	20.5	41.2	23.7	17.9	15.3	10.1	0.9	18.4
(再)65歳以上	100.0	66.4	51.4	23.3	42.3	24.0	19.5	16.8	12.1	0.9	18.0

・今後充実させる必要があると考える社会保障は、老後の所得保障（年金）とする者が約5割

今後、充実させる必要があると考える社会保障の分野は、「老後の所得保障（年金）」が52.0%、次いで「高齢者医療や介護」が44.6%、「子ども・子育て支援」が35.1%、「医療保険・医療供給体制など」が29.4%、「雇用の確保や失業対策」が19.4%となっている

図25 今後充実させる必要があると考える社会保障の分野（複数回答）



年齢階級別にみると、「子ども・子育て支援」は若い世代で多くなっているのに対し、「高齢者医療や介護」は高年齢層で多くなっている。

表7 年齢階級別にみた今後充実させる必要があると考える社会保障の分野（複数回答）

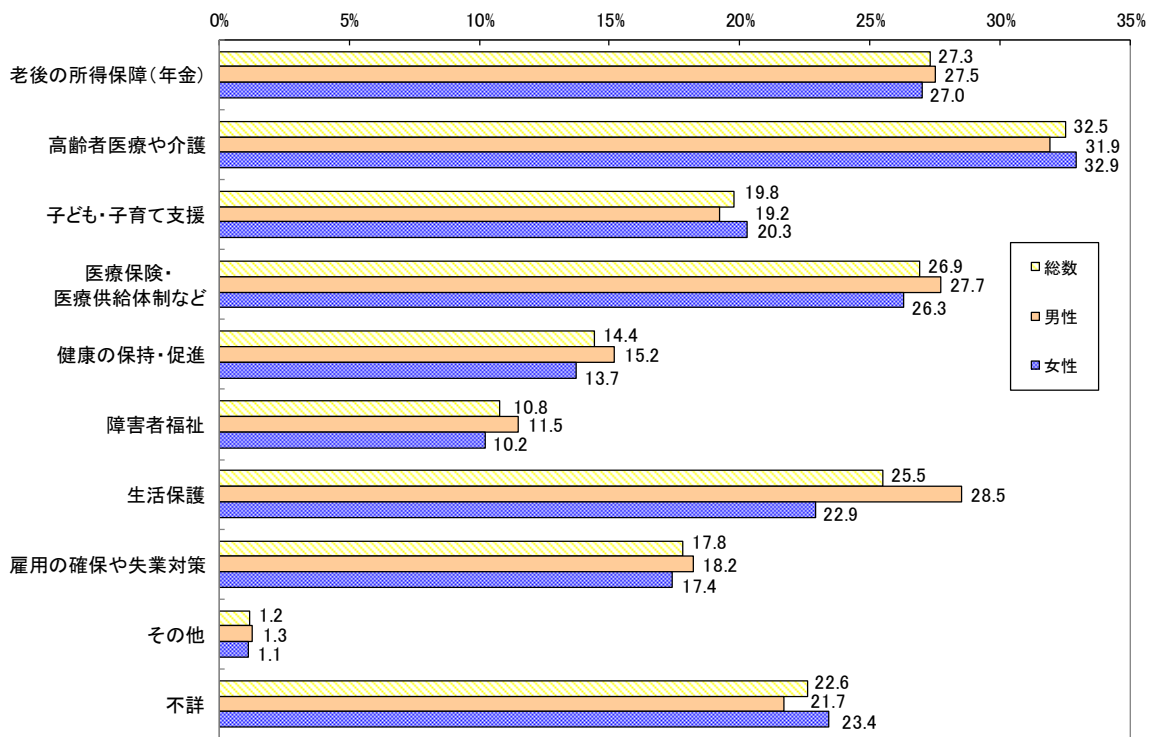
(単位:%)

	総数	老後の所得保障(年金)	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	52.0	44.6	35.1	29.4	17.0	12.0	6.8	19.4	0.7	14.1
29歳以下	100.0	47.3	28.9	53.6	23.1	15.1	12.8	8.7	24.6	1.4	11.9
30～39歳	100.0	48.6	36.6	49.3	23.9	15.9	12.6	5.2	21.7	1.2	13.9
40～49歳	100.0	54.7	42.6	39.4	27.3	14.5	13.4	6.7	22.9	0.7	12.3
50～59歳	100.0	55.9	47.1	33.3	27.5	16.6	12.0	6.0	22.7	0.7	12.2
60～69歳	100.0	55.0	49.4	35.1	33.4	19.3	12.3	7.3	20.3	0.5	10.9
70歳以上	100.0	48.3	47.6	23.8	32.2	17.9	10.6	7.0	12.9	0.6	19.3
(再)65歳以上	100.0	50.4	47.7	26.4	33.1	18.8	11.1	6.9	15.0	0.7	16.9
男性	100.0	50.8	43.0	35.4	29.7	17.5	12.5	7.9	19.9	0.6	13.9
29歳以下	100.0	46.2	25.3	51.6	24.1	18.0	11.1	8.5	25.3	0.6	14.2
30～39歳	100.0	44.8	33.1	50.6	20.7	16.3	12.4	5.3	23.9	1.4	15.2
40～49歳	100.0	53.8	39.1	41.7	27.0	15.8	12.9	8.1	23.2	0.7	12.5
50～59歳	100.0	52.0	46.6	32.5	27.9	15.4	14.5	7.0	22.2	0.4	12.6
60～69歳	100.0	53.2	47.5	34.6	35.0	19.3	12.6	9.4	18.9	0.4	10.8
70歳以上	100.0	49.7	48.1	23.8	33.2	18.6	11.3	8.1	14.3	0.6	17.4
(再)65歳以上	100.0	51.2	47.5	26.4	34.1	19.2	11.7	8.1	15.9	0.6	15.5
女性	100.0	53.0	45.9	34.8	29.1	16.6	11.6	5.8	19.0	0.8	14.3
29歳以下	100.0	48.4	32.2	55.5	22.1	12.4	14.5	8.8	23.9	2.1	9.7
30～39歳	100.0	51.7	39.3	48.3	26.5	15.6	12.7	5.1	19.9	1.1	12.9
40～49歳	100.0	55.6	45.8	37.4	27.6	13.3	13.9	5.5	22.5	0.8	12.1
50～59歳	100.0	59.5	47.5	34.0	27.1	17.7	9.6	5.0	23.1	0.9	11.8
60～69歳	100.0	56.6	51.1	35.5	32.0	19.3	12.1	5.5	21.6	0.7	10.9
70歳以上	100.0	47.2	47.1	23.8	31.4	17.3	10.1	6.1	11.7	0.6	20.8
(再)65歳以上	100.0	49.7	47.9	26.3	32.2	18.5	10.5	5.9	14.1	0.7	18.0

・効率化すべきと考える社会保障は、高齢者医療や介護とする者が約3割

給付やサービスを効率化すべきだと考える社会保障の分野は、「高齢者医療や介護」が32.5%、次いで「老後の所得保障（年金）」が27.3%、「医療保険・医療供給体制など」が26.9%、「生活保護」が25.5%となっている。

図26 効率化すべきだと考える社会保障の分野（複数回答）



年齢階級別にみると、「子ども・子育て支援」は若い世代で多くなっているのに対し、「高齢者医療や介護」は高年齢層で多くなっている。

表8 年齢階級別にみた効率化すべきだと考える社会保障の分野（複数回答）

(単位:%)

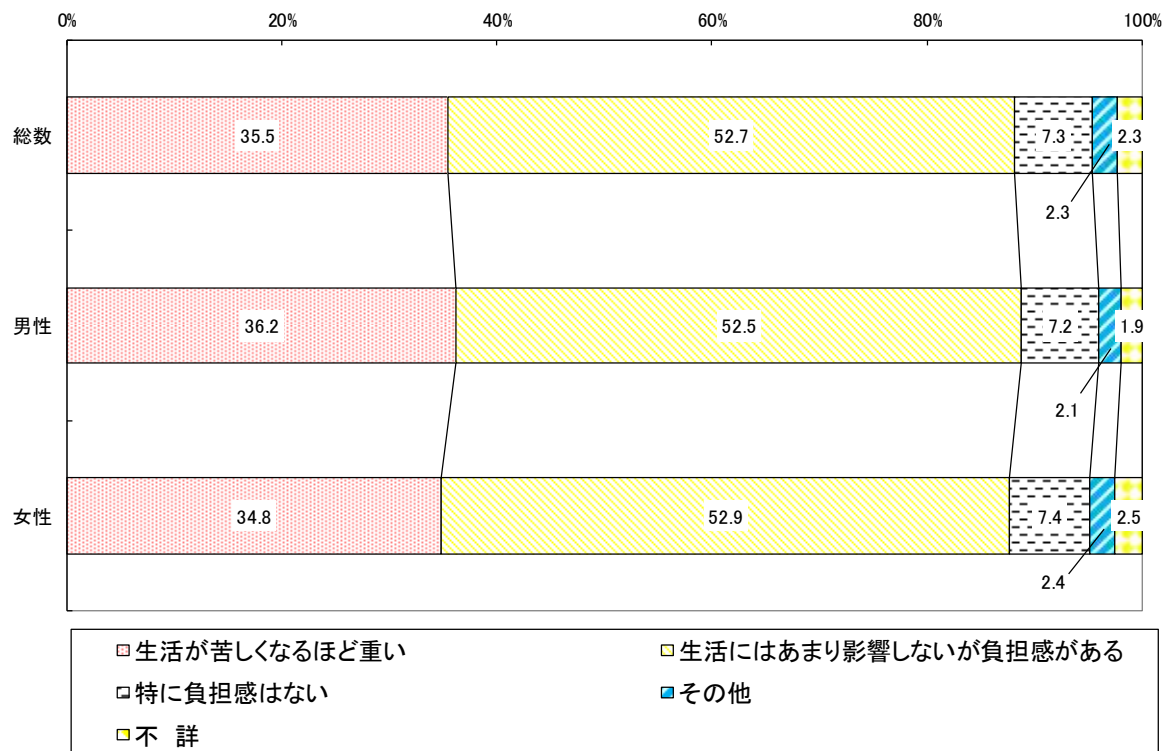
	総数	老後の所得保障(年金)	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	27.3	32.5	19.8	26.9	14.4	10.8	25.5	17.8	1.2	22.6
29歳以下	100.0	31.6	25.8	30.1	19.4	9.8	9.3	28.5	22.0	1.7	19.8
30～39歳	100.0	31.3	29.6	23.3	21.6	12.7	9.8	31.9	18.4	1.2	20.2
40～49歳	100.0	28.5	30.2	20.2	23.4	13.1	11.9	30.5	20.6	0.5	21.3
50～59歳	100.0	25.8	30.9	16.8	26.3	12.3	9.9	28.6	21.0	1.2	20.6
60～69歳	100.0	24.9	36.5	19.4	31.9	17.1	11.6	25.7	18.2	1.4	19.9
70歳以上	100.0	26.6	34.2	17.7	29.4	15.9	10.8	17.9	12.9	1.3	28.0
(再)65歳以上	100.0	26.6	35.6	18.5	30.6	16.6	11.3	19.9	13.9	1.3	25.2
男性	100.0	27.5	31.9	19.2	27.7	15.2	11.5	28.5	18.2	1.3	21.7
29歳以下	100.0	31.0	22.5	29.4	19.6	12.0	11.7	30.7	22.2	1.3	20.3
30～39歳	100.0	33.3	29.9	24.1	22.8	14.9	9.4	35.9	20.0	1.8	18.4
40～49歳	100.0	27.8	31.4	19.4	24.8	13.5	12.5	34.0	20.8	0.6	20.6
50～59歳	100.0	25.3	27.3	16.5	27.1	12.0	10.3	31.5	21.9	1.2	20.9
60～69歳	100.0	25.5	35.7	16.9	32.1	17.2	12.2	27.8	16.8	1.5	20.0
70歳以上	100.0	27.2	35.2	17.9	30.4	17.3	11.8	20.6	13.8	1.5	25.6
(再)65歳以上	100.0	27.0	36.1	18.2	31.5	17.8	12.4	22.3	14.2	1.4	23.6
女性	100.0	27.0	32.9	20.3	26.3	13.7	10.2	22.9	17.4	1.1	23.4
29歳以下	100.0	32.2	28.9	30.7	19.2	7.7	7.1	26.5	21.8	2.1	19.5
30～39歳	100.0	29.6	29.4	22.6	20.6	10.8	10.1	28.7	17.1	0.7	21.7
40～49歳	100.0	29.1	29.1	21.0	22.3	12.8	11.3	27.3	20.5	0.4	21.9
50～59歳	100.0	26.4	34.2	17.1	25.6	12.6	9.6	25.8	20.2	1.2	20.3
60～69歳	100.0	24.3	37.3	21.6	31.7	17.0	11.0	23.8	19.5	1.4	19.9
70歳以上	100.0	26.1	33.4	17.6	28.6	14.9	10.0	15.7	12.1	1.2	29.8
(再)65歳以上	100.0	26.3	35.2	18.8	29.9	15.6	10.4	17.9	13.6	1.3	26.5

1.4 税や社会保険料の負担について

- ・「生活にはあまり影響しないが負担感がある」とする者が約5割

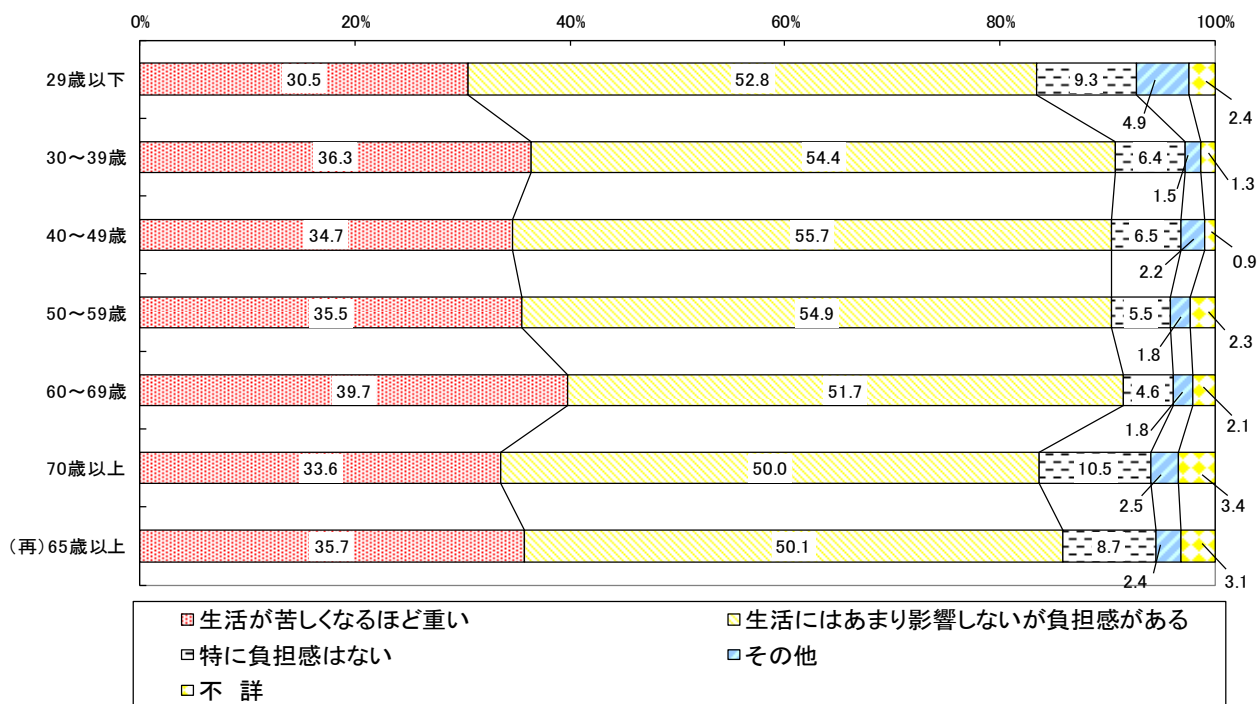
税や社会保険料の負担については、「生活にはあまり影響しないが負担感がある」が52.7%、次いで「生活が苦しくなるほど重い」が35.5%となっている。

図2.7 税や社会保険料の負担について



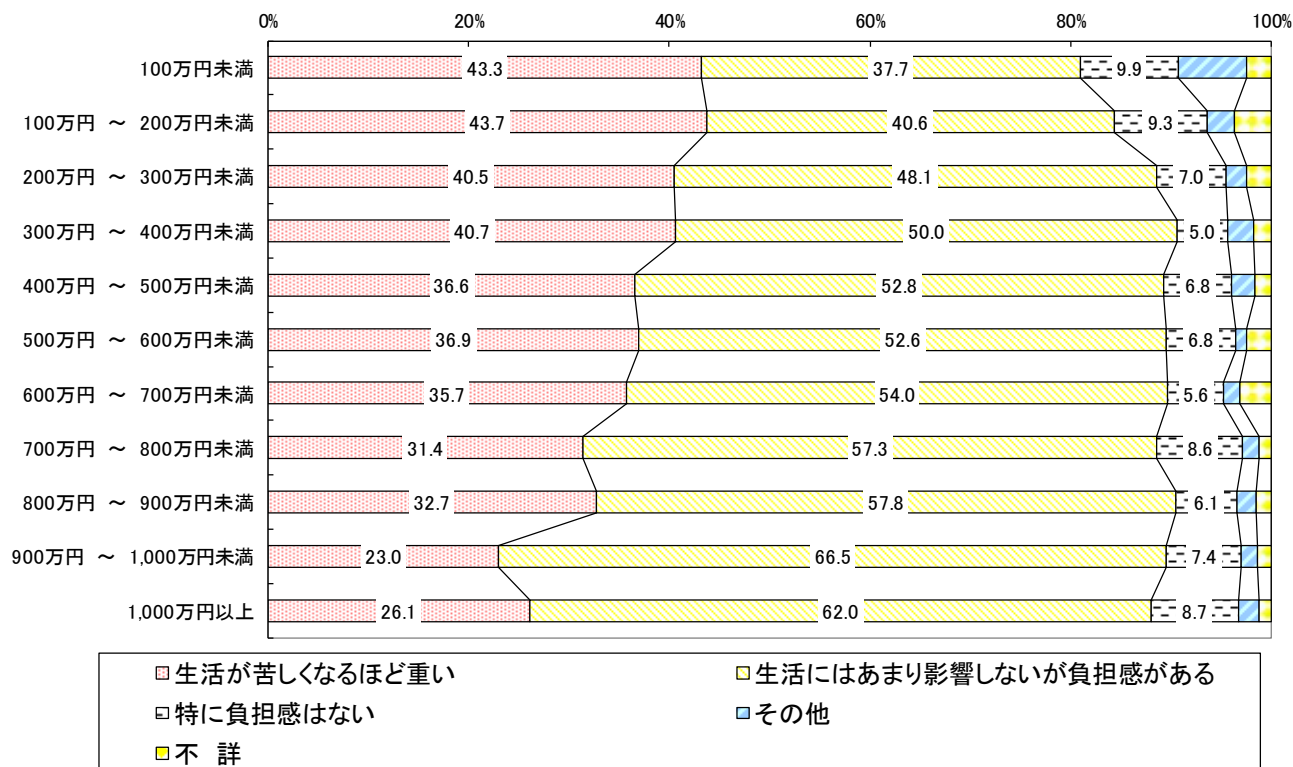
年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「生活にはあまり影響しないが負担感がある」が5割を超えている。

図28 年齢階級別にみた税や社会保険料の負担について



世帯の所得階級別にみると、「生活にはあまり影響しないが負担感がある」の割合は、所得階級が上がるにつれて上昇傾向となっているのに対し、「生活が苦しくなるほど重い」の割合は、所得階級が上がるにつれて低下傾向となっている。

図 2 9 世帯の所得階級別にみた税や社会保険料の負担について



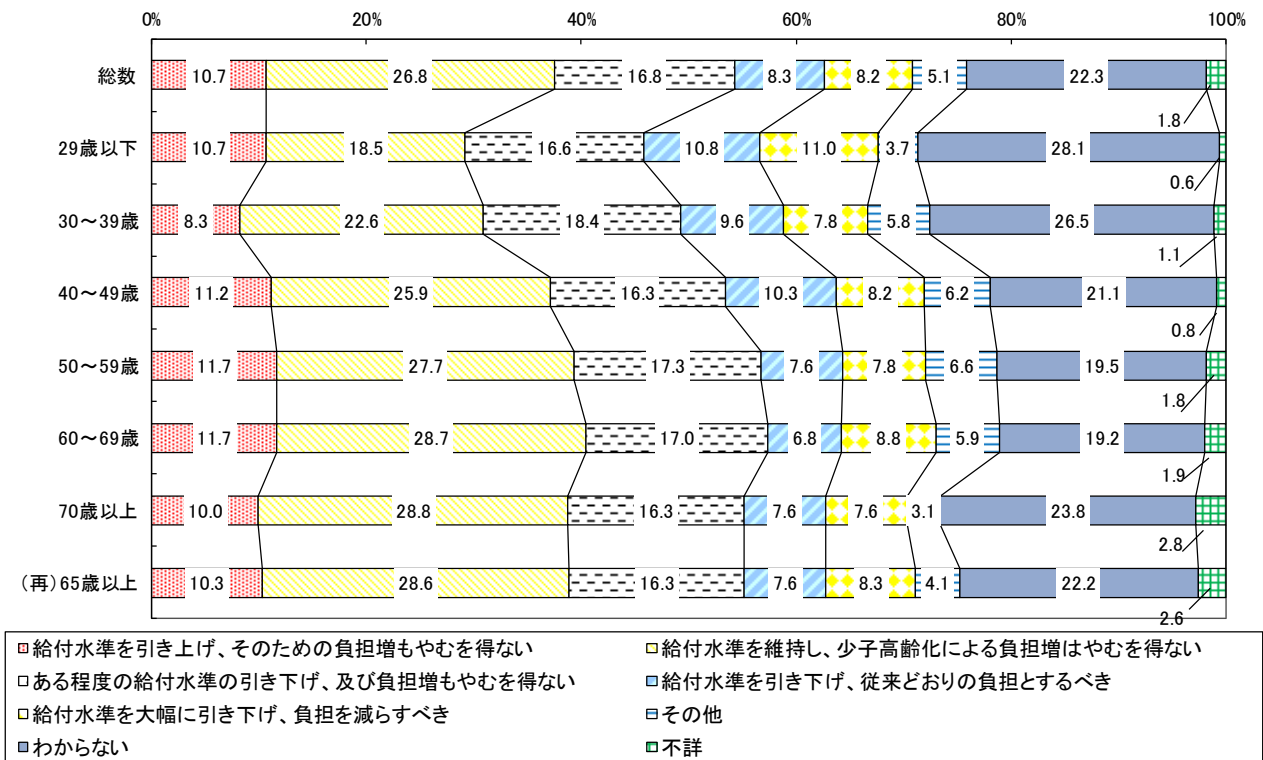
1.5 社会保障の給付と負担の関係について

- ・「社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない」とする者が約4分の1

社会保障の給付と負担の関係については、「社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない」が26.8%、次いで「社会保障の給付水準をある程度引き下げつつ、ある程度の負担増もやむを得ない」が16.8%となっている。

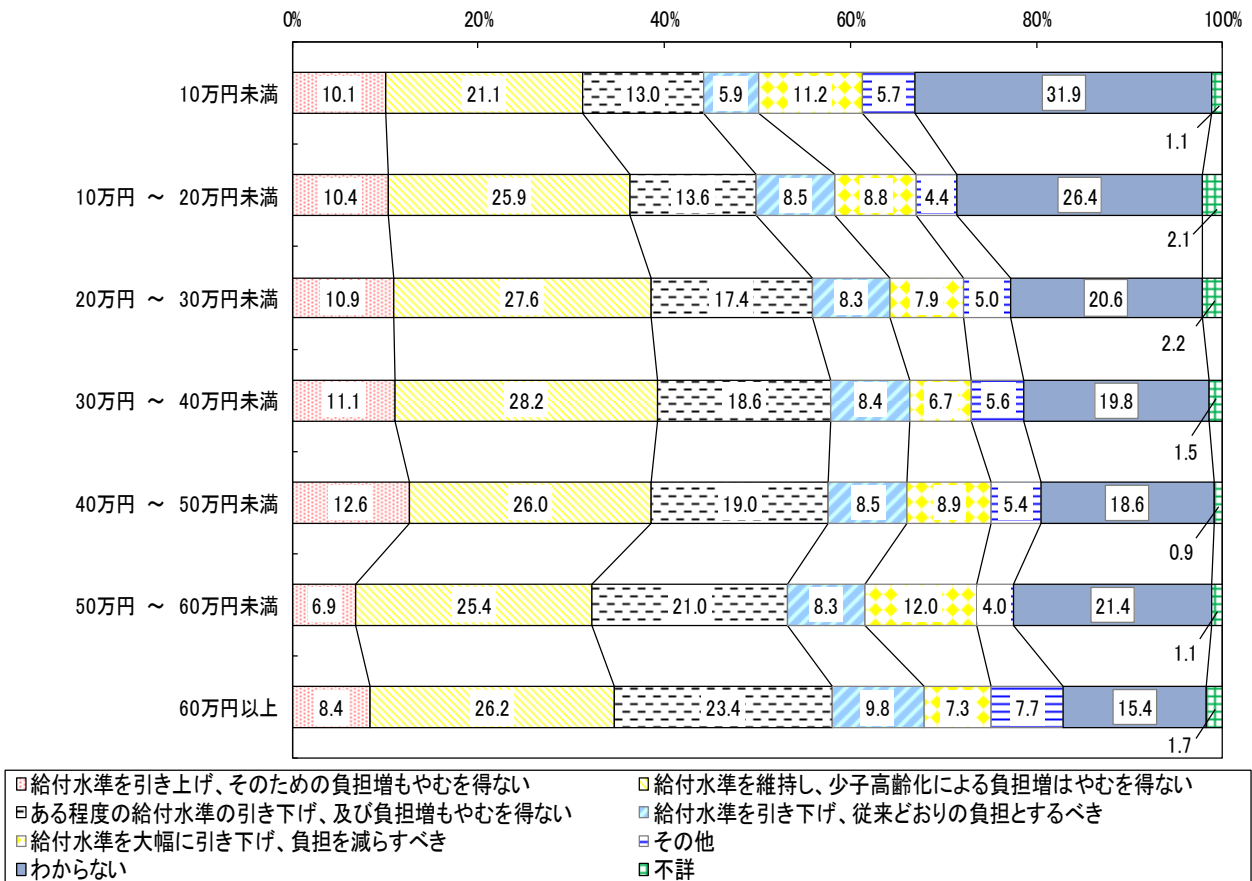
年齢階級別にみると、高年齢層では「社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない」が約3割となっている。

図30 年齢階級別にみた社会保障の給付と負担の関係について



世帯の家計支出額（月額）別にみると、すべての階級で「社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない」の割合が最も多くなっているが、家計支出額が多くなるにつれて「社会保障の給付水準をある程度引き下げつつ、ある程度の負担増もやむを得ない」の割合が多くなっている。

図 3 1 世帯の家計支出額（月額）別にみた社会保障の給付と負担の関係について

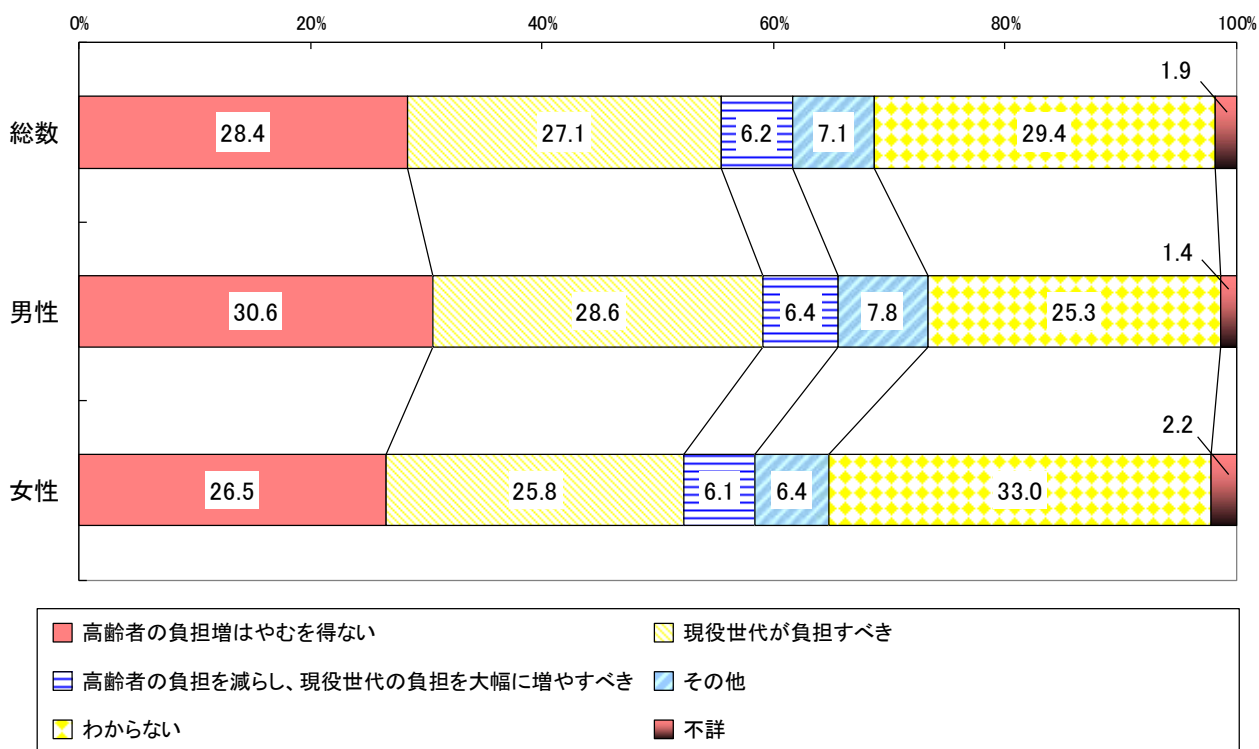


1.6 少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準について

- ・今後見込まれる負担増については、「高齢者の負担増はやむを得ない」「現役世代が負担すべき」とする者がそれぞれ約3割

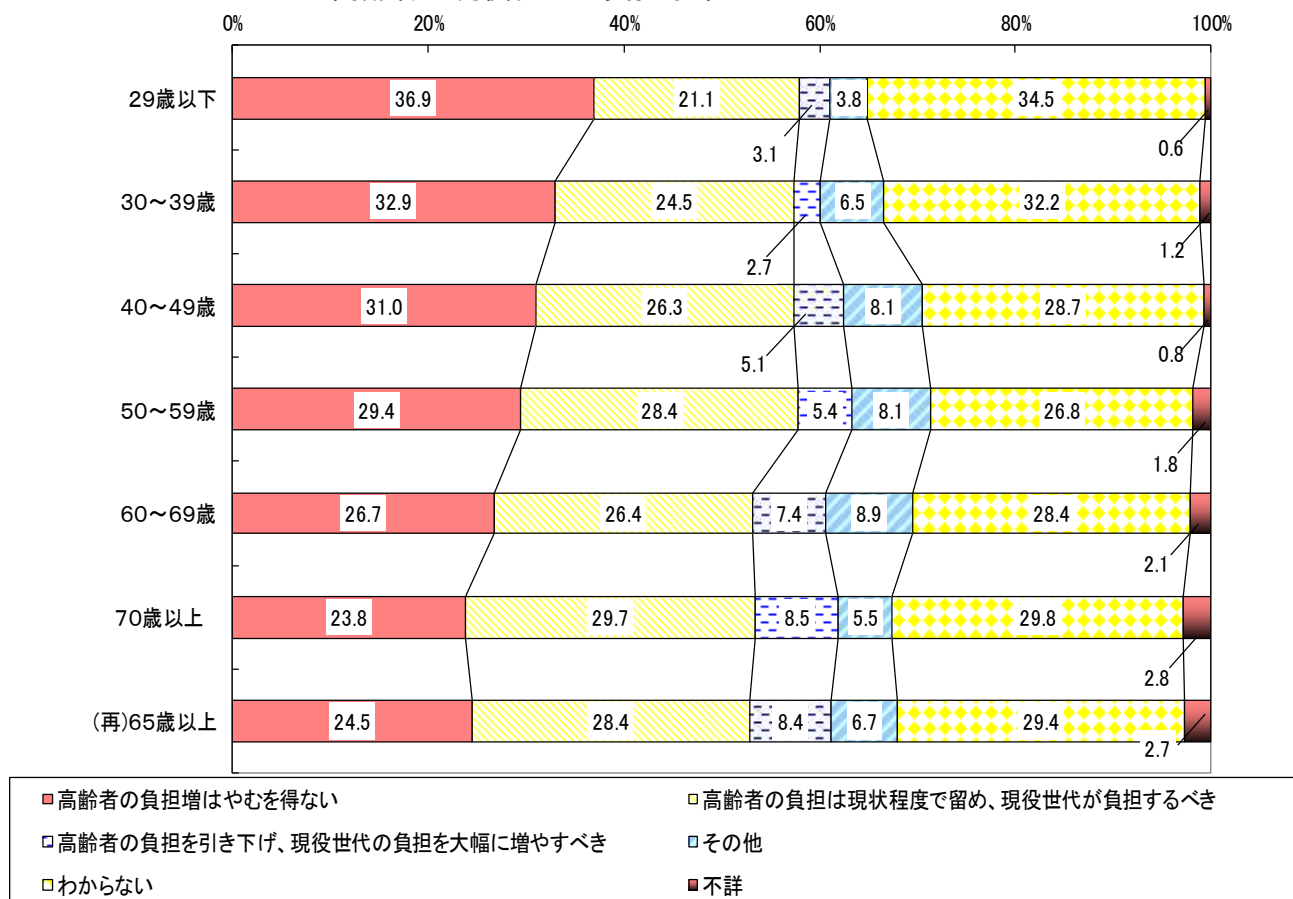
少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準については、「現役世代の負担の上昇を緩和するために、高齢者の負担が今より重くなることはやむを得ない」が28.4%、「高齢者の負担は現状程度で留めるべきであり、少子高齢化による負担増は、現役世代が負担すべき」が27.1%となっている。

図3.2 少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準について



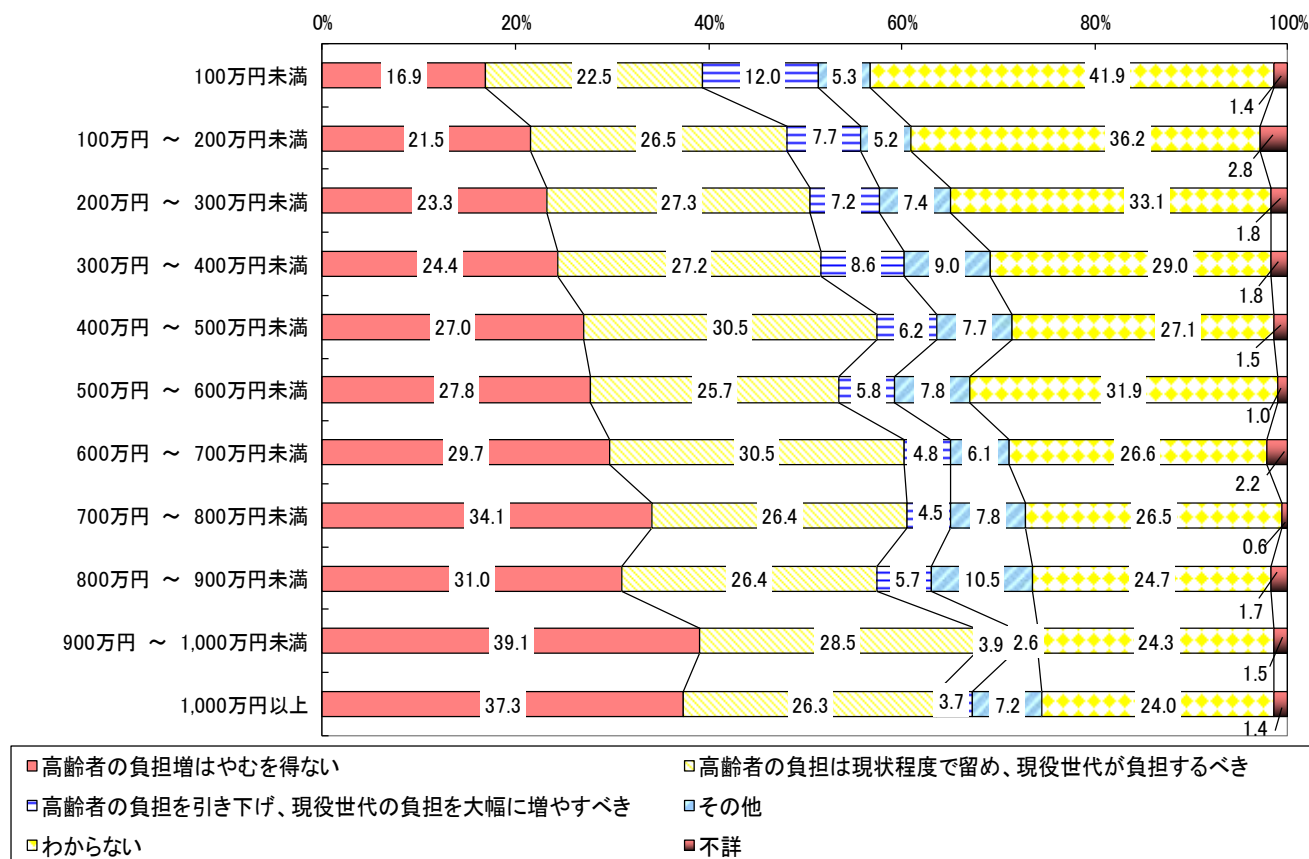
年齢階級別にみると、「現役世代の負担の上昇を緩和するために、高齢者の負担が今より重くなることはやむを得ない」の割合は29歳以下が最も多くなっているのに対し、「高齢者の負担は現状でも重いので、負担を引き下げ、現役世代の負担を大幅に増やすべき」の割合は70歳以上が最も多くなっている。

図33 年齢階級別にみた少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準について



これを世帯の所得階級別にみると、「現役世代の負担の上昇を緩和するために、高齢者の負担が今より重くなることはやむを得ない」の割合は、所得階級が上がるにつれて上昇傾向となっているのに対し、「高齢者の負担は現状でも重いので、負担を引き下げ、現役世代の負担を大幅に増やすべき」の割合は、所得階級が上がるにつれて低下傾向となっている。

図 3 4 世帯の所得階級別にみた少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準について



統 計 表

第1表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた「老後の生活」で思い浮かべる生活（複数回答）

(単位:%)

	総数	仕事から引退	家事を任せる	配偶者と死別	子どもが結婚・独立	子どもが世帯主	年金を受給	体が不自由	生涯現役	その他	わからない	不詳
総数	100.0	36.9	5.7	5.3	12.2	4.1	54.0	37.0	5.8	1.5	4.3	1.5
29歳以下	100.0	47.8	3.5	1.7	18.8	3.4	58.0	22.0	3.5	1.1	7.0	0.9
30～39歳	100.0	44.7	2.6	1.8	22.9	2.7	57.8	25.6	3.2	1.3	5.4	1.0
40～49歳	100.0	45.7	3.5	2.3	17.4	2.7	57.7	26.9	3.9	1.0	4.3	1.4
50～59歳	100.0	42.8	3.2	2.7	11.3	3.9	60.1	31.9	4.9	1.3	4.1	1.6
60～69歳	100.0	36.9	6.2	4.9	7.9	5.1	50.7	43.7	7.3	1.4	3.6	1.3
70歳以上	100.0	23.2	9.4	10.7	7.6	5.1	48.9	48.4	7.7	2.1	3.8	2.0
(再)65歳以上	100.0	26.4	8.5	9.2	7.5	5.1	49.0	47.4	8.1	1.9	3.7	2.0
男性	100.0	43.9	2.5	3.2	10.2	3.9	53.8	34.1	7.2	1.6	4.5	1.4
29歳以下	100.0	49.7	3.2	1.3	16.5	1.9	55.7	20.3	3.2	1.3	7.6	1.3
30～39歳	100.0	48.3	1.4	0.7	19.3	3.4	52.4	25.5	4.1	1.6	6.9	1.1
40～49歳	100.0	51.2	1.9	1.9	12.8	2.9	57.5	23.4	5.6	1.1	5.5	0.7
50～59歳	100.0	51.1	1.7	2.0	8.7	3.6	57.3	28.3	5.5	1.3	4.5	1.6
60～69歳	100.0	43.7	1.7	3.1	6.5	4.9	52.4	39.6	9.1	1.5	3.9	1.0
70歳以上	100.0	32.4	4.1	6.3	7.4	4.7	50.8	46.6	9.8	2.3	2.5	2.2
(再)65歳以上	100.0	35.1	3.4	5.4	6.7	4.5	50.5	44.9	10.5	2.0	3.0	2.0
女性	100.0	30.9	8.4	7.0	14.0	4.3	54.2	39.6	4.6	1.4	4.1	1.6
29歳以下	100.0	46.0	3.8	2.1	20.9	4.7	60.2	23.6	3.8	0.9	6.5	0.6
30～39歳	100.0	41.9	3.5	2.8	25.7	2.0	62.1	25.7	2.4	1.1	4.2	0.9
40～49歳	100.0	40.8	5.0	2.6	21.5	2.5	57.9	30.0	2.3	1.0	3.1	2.0
50～59歳	100.0	35.0	4.6	3.4	13.7	4.2	62.7	35.3	4.3	1.2	3.8	1.6
60～69歳	100.0	31.0	10.3	6.5	9.2	5.4	49.2	47.4	5.6	1.4	3.4	1.6
70歳以上	100.0	16.0	13.6	14.2	7.8	5.4	47.4	49.8	6.1	1.9	4.8	1.9
(再)65歳以上	100.0	19.3	12.8	12.3	8.3	5.6	47.8	49.4	6.2	1.8	4.3	1.9

第2表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた何歳から老後と考えるか

(単位:%)

	総数	55歳から	60歳から	65歳から	70歳から	75歳から	80歳以上	その他	わからない	不詳
総数	100.0	1.2	14.3	26.0	34.5	12.8	6.4	0.8	3.7	0.2
29歳以下	100.0	2.6	32.5	29.5	19.1	5.3	1.8	1.2	7.9	0.0
30～39歳	100.0	2.2	27.2	32.9	27.3	4.2	2.1	0.6	3.4	0.1
40～49歳	100.0	1.6	21.0	33.9	30.3	6.3	2.8	0.8	3.3	0.1
50～59歳	100.0	1.7	16.1	35.0	32.4	7.4	3.4	0.6	3.3	0.1
60～69歳	100.0	0.7	8.6	24.9	41.1	16.3	4.3	0.6	3.1	0.3
70歳以上	100.0	0.5	4.7	14.1	39.7	21.6	14.2	1.2	3.6	0.4
(再)65歳以上	100.0	0.4	5.4	16.2	40.2	21.3	11.5	1.0	3.4	0.4
男性	100.0	1.4	14.4	27.1	33.8	12.4	6.1	0.9	3.7	0.2
29歳以下	100.0	3.5	33.2	31.3	14.2	6.0	2.2	1.6	7.9	0.0
30～39歳	100.0	1.8	25.3	33.1	27.1	4.4	2.3	1.1	4.8	0.0
40～49歳	100.0	2.1	20.5	35.2	29.4	5.8	2.8	0.8	3.3	0.1
50～59歳	100.0	2.2	17.4	35.8	30.3	6.8	2.9	0.6	3.6	0.3
60～69歳	100.0	0.6	8.9	26.0	42.7	14.7	3.2	0.2	3.4	0.2
70歳以上	100.0	0.6	4.1	14.6	39.0	22.4	14.8	1.5	2.7	0.3
(再)65歳以上	100.0	0.5	5.2	16.7	40.8	21.4	11.2	1.1	2.9	0.3
女性	100.0	1.1	14.3	25.0	35.2	13.1	6.6	0.8	3.7	0.2
29歳以下	100.0	1.8	31.9	27.7	23.6	4.7	1.5	0.9	8.0	0.0
30～39歳	100.0	2.6	28.7	32.7	27.4	4.0	2.0	0.2	2.2	0.2
40～49歳	100.0	1.1	21.4	32.8	31.0	6.8	2.9	0.8	3.4	0.0
50～59歳	100.0	1.2	14.9	34.2	34.2	8.0	3.9	0.5	3.0	0.0
60～69歳	100.0	0.8	8.3	23.9	39.6	17.7	5.4	1.0	2.9	0.4
70歳以上	100.0	0.5	5.2	13.7	40.2	21.0	13.7	0.9	4.3	0.5
(再)65歳以上	100.0	0.4	5.5	15.8	39.8	21.3	11.9	0.9	3.9	0.5

第3表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後において最も不安に感じるもの

(単位:%)

	総数	健康の問題	生活費の問題	住居の問題	家族とのつながりの問題	生きがいの問題	大きな不安はない	その他	わからない	不詳
総数	100.0	47.7	33.6	1.1	1.4	2.8	4.9	0.8	3.6	4.0
29歳以下	100.0	28.7	46.6	0.3	0.9	4.7	4.0	2.0	9.0	3.8
30～39歳	100.0	28.5	49.6	1.4	1.1	3.4	4.0	0.8	6.4	4.7
40～49歳	100.0	32.4	51.5	1.2	1.1	2.5	2.1	0.7	4.2	4.3
50～59歳	100.0	41.1	41.8	1.3	1.5	2.7	4.3	0.8	3.2	3.4
60～69歳	100.0	55.1	28.0	1.4	1.7	3.0	4.2	0.6	1.9	4.1
70歳以上	100.0	66.1	14.3	0.9	1.6	2.2	7.8	0.6	2.6	3.8
(再)65歳以上	100.0	63.6	17.7	1.1	1.6	2.3	7.0	0.6	2.4	3.7
男性	100.0	47.4	32.9	1.0	1.3	3.4	5.2	0.7	4.1	3.9
29歳以下	100.0	31.0	41.5	0.3	1.3	6.6	4.4	1.6	10.4	2.8
30～39歳	100.0	30.6	43.0	0.7	0.9	4.1	5.1	1.1	8.3	6.2
40～49歳	100.0	33.0	49.0	1.2	1.1	3.0	2.2	0.7	5.6	4.1
50～59歳	100.0	41.7	41.7	1.2	1.0	2.8	4.4	0.7	3.2	3.5
60～69歳	100.0	52.2	29.0	1.4	1.4	3.5	4.8	0.7	2.3	4.7
70歳以上	100.0	66.3	14.9	0.8	1.7	2.8	8.0	0.4	2.0	3.0
(再)65歳以上	100.0	62.8	18.5	1.0	1.6	2.6	7.4	0.6	2.2	3.2
女性	100.0	48.0	34.3	1.2	1.6	2.3	4.6	0.8	3.2	4.0
29歳以下	100.0	26.5	51.3	0.3	0.6	2.9	3.5	2.4	7.7	4.7
30～39歳	100.0	26.8	55.0	2.0	1.3	2.8	3.1	0.6	5.0	3.5
40～49歳	100.0	31.9	53.9	1.1	1.1	2.0	2.0	0.6	2.9	4.5
50～59歳	100.0	40.6	41.9	1.4	2.0	2.6	4.3	0.8	3.1	3.2
60～69歳	100.0	57.6	27.1	1.5	2.0	2.5	3.7	0.5	1.5	3.6
70歳以上	100.0	66.0	13.9	1.0	1.6	1.7	7.6	0.8	3.0	4.5
(再)65歳以上	100.0	64.3	17.1	1.1	1.6	2.0	6.6	0.7	2.6	4.1

第4表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた就労希望年齢

(単位:%)

	総数	55歳まで	60歳まで	65歳まで	70歳まで	75歳まで	80歳まで	その他	生涯働き続けたい	わからない	不詳
総数	100.0	3.8	16.6	24.9	19.4	8.3	3.9	2.8	7.8	11.7	0.8
29歳以下	100.0	7.5	25.6	26.7	9.8	1.8	0.9	2.4	6.9	18.0	0.3
30～39歳	100.0	6.2	20.0	26.6	15.1	2.9	0.8	1.4	9.2	17.5	0.3
40～49歳	100.0	3.9	20.4	29.1	17.5	4.3	1.6	0.7	9.9	12.3	0.3
50～59歳	100.0	3.0	17.1	33.1	20.5	5.9	1.6	1.3	7.8	9.5	0.1
60～69歳	100.0	2.7	11.9	23.0	27.1	12.1	3.8	4.1	6.7	7.9	0.6
70歳以上	100.0	3.2	14.1	18.4	17.9	12.6	8.5	4.4	7.1	11.7	2.0
(再)65歳以上	100.0	3.1	13.6	18.6	20.3	13.7	7.4	4.5	7.1	10.2	1.6
男性	100.0	2.2	14.8	26.2	21.1	10.4	4.9	2.7	8.5	8.6	0.5
29歳以下	100.0	4.7	26.3	32.3	8.9	1.6	1.3	1.6	7.3	15.5	0.6
30～39歳	100.0	4.6	20.9	26.2	17.9	3.4	0.2	1.4	9.7	15.2	0.5
40～49歳	100.0	3.2	17.3	30.1	20.4	5.4	2.6	0.3	9.8	10.7	0.3
50～59歳	100.0	2.3	15.4	33.2	22.6	7.3	1.6	0.6	9.1	7.8	-
60～69歳	100.0	0.5	9.8	24.2	28.3	16.4	4.6	4.1	7.0	4.7	0.4
70歳以上	100.0	1.4	11.7	19.8	19.5	15.4	11.3	5.0	8.3	6.8	0.9
(再)65歳以上	100.0	1.2	11.0	19.7	21.4	17.3	9.7	4.8	8.2	6.0	0.8
女性	100.0	5.2	18.1	23.7	17.8	6.5	3.0	2.9	7.2	14.3	1.1
29歳以下	100.0	10.0	25.1	21.5	10.6	2.1	0.6	3.2	6.5	20.4	-
30～39歳	100.0	7.5	19.3	26.8	12.9	2.4	1.3	1.5	8.8	19.3	0.2
40～49歳	100.0	4.6	23.1	28.1	14.9	3.4	0.6	1.1	10.0	13.8	0.4
50～59歳	100.0	3.7	18.7	33.0	18.5	4.6	1.6	1.9	6.6	11.1	0.3
60～69歳	100.0	4.7	13.8	21.9	26.0	8.3	3.1	4.1	6.4	10.7	0.8
70歳以上	100.0	4.7	16.1	17.4	16.7	10.5	6.2	4.0	6.2	15.5	2.8
(再)65歳以上	100.0	4.7	15.7	17.6	19.4	10.7	5.6	4.2	6.2	13.8	2.2

第5表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた希望する老後の働き方

(単位:%)

	総数	現役世代と同じようにフルタイムで働きたい	働く日数を減らしたり、時間を短くして働きたい	老後は働かずに過ごしたい	その他	わからない	不詳
総数	100.0	5.1	51.8	28.0	2.6	11.6	0.9
29歳以下	100.0	5.3	46.3	31.8	1.4	14.7	0.6
30～39歳	100.0	6.5	55.8	23.4	1.5	12.4	0.4
40～49歳	100.0	6.8	61.8	19.6	0.9	10.7	0.3
50～59歳	100.0	5.1	62.0	22.1	1.1	9.5	0.2
60～69歳	100.0	5.2	57.8	25.6	2.8	8.0	0.5
70歳以上	100.0	3.4	36.2	38.5	4.9	14.8	2.2
(再) 65歳以上	100.0	3.8	42.2	35.2	4.2	12.9	1.7
男性	100.0	7.9	52.2	26.1	2.3	10.7	0.7
29歳以下	100.0	7.0	43.0	30.7	1.3	16.8	1.3
30～39歳	100.0	10.8	50.8	23.7	0.9	13.6	0.2
40～49歳	100.0	10.2	58.9	19.3	0.7	10.7	0.3
50～59歳	100.0	8.3	61.1	20.2	0.7	9.6	0.1
60～69歳	100.0	7.8	56.9	24.9	2.4	7.5	0.5
70歳以上	100.0	5.4	42.2	34.4	5.0	11.3	1.6
(再) 65歳以上	100.0	5.9	46.6	31.7	4.0	10.5	1.3
女性	100.0	2.7	51.5	29.7	2.8	12.3	1.0
29歳以下	100.0	3.8	49.3	32.7	1.5	12.7	-
30～39歳	100.0	3.1	59.7	23.2	2.0	11.4	0.6
40～49歳	100.0	3.8	64.4	19.9	1.1	10.6	0.3
50～59歳	100.0	2.2	62.9	24.0	1.4	9.3	0.3
60～69歳	100.0	3.0	58.6	26.3	3.2	8.5	0.5
70歳以上	100.0	1.7	31.4	41.8	4.9	17.5	2.7
(再) 65歳以上	100.0	2.0	38.6	38.0	4.4	14.8	2.1

第6表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後の生計を支える手段として最も頼りにするもの

(単位:%)

	総数	自分の就労による収入	配偶者の就労による収入	公的年金 (国民年金や厚生年金など)	勤務先の 企業年金	貯蓄または 退職金の 取り崩し	親など親族 からの相続	子どもなど 親族からの 援助や仕送り	家賃や銀行の 利子などの 資産収入	個人年金	その他	不詳
総数	100.0	18.7	6.9	58.2	2.2	7.2	0.5	1.0	1.0	1.9	1.1	1.2
29歳以下	100.0	30.5	5.8	36.2	2.9	16.2	0.8	0.5	1.4	2.9	0.9	2.0
30～39歳	100.0	30.3	9.4	36.1	3.4	13.4	0.8	0.2	0.6	3.3	1.1	1.4
40～49歳	100.0	27.3	9.7	43.5	3.5	10.2	0.6	0.7	0.7	2.0	1.2	0.8
50～59歳	100.0	21.9	8.1	52.2	4.0	8.2	0.4	0.3	1.3	1.7	1.0	1.1
60～69歳	100.0	16.4	7.1	65.3	1.1	4.3	0.7	0.5	1.0	1.7	0.8	0.9
70歳以上	100.0	6.6	4.0	78.0	0.7	2.8	0.3	2.3	1.0	1.5	1.5	1.4
(再) 65歳以上	100.0	9.0	4.7	75.0	0.8	3.0	0.4	1.8	1.1	1.6	1.3	1.3
男性	100.0	24.7	1.0	57.5	3.4	7.0	0.5	0.5	1.2	1.6	1.2	1.3
29歳以下	100.0	31.6	1.3	36.4	3.8	18.0	1.3	0.3	1.6	2.2	0.9	2.5
30～39歳	100.0	40.9	-	34.5	4.8	12.0	0.5	0.2	0.9	2.5	1.8	1.8
40～49歳	100.0	35.5	1.0	42.4	5.8	9.1	0.6	0.6	1.2	1.9	1.2	0.8
50～59歳	100.0	30.2	1.0	48.3	6.4	8.3	0.3	-	1.7	1.2	1.2	1.5
60～69歳	100.0	21.6	1.2	66.3	1.8	3.7	0.7	0.3	1.1	1.7	0.9	0.7
70歳以上	100.0	9.5	1.2	79.2	0.9	3.0	0.2	1.1	1.0	1.2	1.4	1.4
(再) 65歳以上	100.0	12.7	1.2	76.1	1.2	2.8	0.3	0.8	1.2	1.2	1.3	1.3
女性	100.0	13.5	12.0	58.9	1.1	7.4	0.5	1.4	0.8	2.2	1.1	1.1
29歳以下	100.0	29.5	10.0	36.0	2.1	14.5	0.3	0.6	1.2	3.5	0.9	1.5
30～39歳	100.0	21.9	16.9	37.3	2.2	14.5	1.1	0.2	0.4	3.9	0.6	1.1
40～49歳	100.0	19.9	17.6	44.5	1.4	11.3	0.6	0.8	0.1	2.0	1.1	0.8
50～59歳	100.0	14.2	14.6	55.9	1.8	8.1	0.4	0.5	0.8	2.2	0.8	0.7
60～69歳	100.0	11.9	12.3	64.3	0.6	4.9	0.7	0.8	0.9	1.8	0.8	1.0
70歳以上	100.0	4.3	6.1	77.1	0.5	2.6	0.3	3.3	1.1	1.7	1.6	1.3
(再) 65歳以上	100.0	6.0	7.5	74.1	0.6	3.1	0.4	2.6	1.1	1.9	1.4	1.3

第7表 世帯員数の構成割合、性・世帯の生活意識の状況別にみた老後の生計を支える手段として最も頼りにするもの

(単位:%)

	総数	自分の就労による収入	配偶者の就労による収入	公的年金 (国民年金や 厚生年金など)	勤務先の 企業年金	貯蓄または 退職金の 取り崩し	親など親族 からの相続	子どもなど 親族からの 援助や仕送り	家賃や銀行の 利子などの 資産収入	個人年金	その他	不詳
総数	100.0	18.7	6.9	58.2	2.2	7.2	0.5	1.0	1.0	1.9	1.1	1.2
大変苦しい	100.0	21.7	6.8	57.6	1.7	5.7	0.3	1.0	0.5	2.2	1.5	1.0
やや苦しい	100.0	18.0	6.6	60.7	2.2	6.2	0.5	1.1	0.5	2.0	1.0	1.1
普通	100.0	16.9	6.8	59.0	2.6	8.3	0.4	0.9	1.4	1.8	0.8	1.2
ゆとりがある	100.0	16.6	8.5	46.4	4.7	13.7	1.5	0.6	4.4	1.2	1.7	0.9
不詳	100.0	21.8	8.2	52.3	0.8	7.9	1.1	0.9	0.9	1.9	2.3	2.0
男性	100.0	24.7	1.0	57.5	3.4	7.0	0.5	0.5	1.2	1.6	1.2	1.3
大変苦しい	100.0	29.8	1.3	55.8	2.2	4.5	0.1	0.6	0.8	1.8	1.8	1.2
やや苦しい	100.0	22.0	1.0	61.7	3.5	6.1	0.4	0.7	0.7	1.6	1.2	1.0
普通	100.0	23.8	0.5	57.5	4.1	8.5	0.5	0.3	1.3	1.5	0.5	1.3
ゆとりがある	100.0	18.6	1.2	48.3	7.6	13.4	1.7	-	5.2	0.6	1.7	1.7
不詳	100.0	27.8	2.1	50.0	1.5	8.0	1.2	0.9	1.8	2.1	2.4	2.4
女性	100.0	13.5	12.0	58.9	1.1	7.4	0.5	1.4	0.8	2.2	1.1	1.1
大変苦しい	100.0	14.9	11.4	59.2	1.2	6.6	0.5	1.3	0.3	2.5	1.2	0.9
やや苦しい	100.0	14.6	11.3	59.8	1.1	6.4	0.7	1.5	0.4	2.3	0.8	1.2
普通	100.0	10.7	12.4	60.3	1.3	8.1	0.2	1.5	1.4	2.0	1.0	1.0
ゆとりがある	100.0	14.6	15.8	44.4	1.8	14.0	1.2	1.2	3.5	1.8	1.8	-
不詳	100.0	16.8	13.2	54.1	0.2	7.8	1.0	1.0	0.2	1.7	2.2	1.7

(注)客体数が少ないため、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合算し、「ゆとりがある」として集計している。

第8表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後の生計を支える手段として2番目に頼りにするもの

(単位:%)

	総数	自分の就労による収入	配偶者の就労による収入	公的年金 (国民年金や 厚生年金など)	勤務先の 企業年金	貯蓄または 退職金の 取り崩し	親など親族 からの相続	子どもなど 親族からの 援助や仕送り	家賃や銀行の 利子などの 資産収入	個人年金	その他	不詳
総数	100.0	11.5	5.2	18.6	4.5	31.4	1.8	4.0	1.9	6.8	1.6	12.7
29歳以下	100.0	12.7	7.0	25.3	6.0	27.2	3.4	2.1	1.5	8.5	0.8	5.5
30～39歳	100.0	14.4	7.6	25.1	4.6	28.3	2.7	1.3	1.8	6.9	1.2	6.0
40～49歳	100.0	16.8	5.6	23.9	4.6	27.6	1.6	1.9	1.4	8.7	1.0	6.7
50～59歳	100.0	15.2	5.4	22.3	4.1	29.1	2.1	2.0	1.4	8.5	0.7	9.3
60～69歳	100.0	12.0	5.7	18.5	4.8	32.3	1.7	3.8	1.8	6.4	1.7	11.1
70歳以上	100.0	5.0	3.1	9.6	4.0	36.2	1.2	8.0	2.7	4.5	2.5	23.2
(再)65歳以上	100.0	7.2	3.9	11.9	4.1	35.3	1.1	6.6	2.4	5.0	2.5	20.0
男性	100.0	12.4	3.8	18.9	6.9	30.1	1.8	2.7	2.2	6.3	1.7	13.1
29歳以下	100.0	13.0	2.5	26.9	7.9	25.6	4.1	2.2	1.9	8.2	0.9	6.6
30～39歳	100.0	11.3	6.2	26.2	6.4	29.0	3.4	0.9	2.8	6.4	0.9	6.4
40～49歳	100.0	17.1	4.7	24.9	5.8	27.6	1.9	1.5	2.1	7.0	1.1	6.3
50～59歳	100.0	14.9	3.6	23.7	5.5	26.0	2.0	1.6	1.3	9.1	1.2	11.0
60～69歳	100.0	14.1	4.0	17.6	8.3	30.1	1.4	2.4	2.6	5.5	2.1	11.8
70歳以上	100.0	6.8	2.6	8.6	7.1	35.5	0.8	5.2	2.5	4.4	2.7	23.8
(再)65歳以上	100.0	9.7	3.2	10.9	7.1	33.9	0.9	4.2	2.5	4.8	2.8	19.9
女性	100.0	10.9	6.4	18.3	2.5	32.5	1.8	5.2	1.7	7.1	1.4	12.3
29歳以下	100.0	12.4	11.2	23.9	4.1	28.6	2.7	2.1	1.2	8.8	0.6	4.4
30～39歳	100.0	16.9	8.6	24.3	3.1	27.8	2.0	1.7	1.1	7.4	1.5	5.7
40～49歳	100.0	16.5	6.5	23.0	3.6	27.6	1.4	2.3	0.9	10.3	1.0	7.0
50～59歳	100.0	15.4	7.0	21.1	2.7	31.9	2.2	2.3	1.5	7.8	0.3	7.7
60～69歳	100.0	10.1	7.3	19.2	1.8	34.2	2.1	5.1	1.1	7.3	1.4	10.5
70歳以上	100.0	3.6	3.5	10.3	1.6	36.8	1.5	10.2	2.9	4.6	2.3	22.7
(再)65歳以上	100.0	5.1	4.4	12.8	1.6	36.4	1.4	8.5	2.4	5.2	2.2	20.0

第9表 老後の生計を支える手段として1番目に頼りにするものと2番目に頼りにするものの組合せ

(単位:%)

	1番目に頼りにするもの											
	総数	自分の就労による収入	配偶者の就労による収入	公的年金(国民年金や厚生年金など)	勤務先の企業年金	貯蓄または退職金の取り崩し	親など親族からの相続	子どもなど親族からの援助や仕送り	家賃や銀行の利子などの資産収入	個人年金	その他	不詳
総数	100.0	18.7	6.9	58.2	2.2	7.2	0.5	1.0	1.0	1.9	1.1	1.2
2番目に頼りにするもの												
自分の就労による収入	11.5	-	1.2	8.5	0.4	0.9	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	-
配偶者の就労による収入	5.2	2.2	-	2.7	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	-	-
公的年金(国民年金や厚生年金など)	18.6	9.3	3.3	-	0.6	3.6	0.2	0.5	0.4	0.6	0.2	-
勤務先の企業年金	4.5	0.6	0.1	3.3	-	0.4	0.0	-	0.1	0.1	-	-
貯蓄または退職金の取り崩し	31.4	2.8	1.1	25.6	0.9	-	0.1	0.1	0.1	0.5	0.1	-
親など親族からの相続	1.8	0.3	0.1	0.9	0.0	0.3	-	0.1	0.0	0.0	0.0	-
子どもなど親族からの援助や仕送り	4.0	0.3	0.2	3.1	0.0	0.2	0.1	-	0.0	0.1	0.0	-
家賃や銀行の利子などの資産収入	1.9	0.3	0.1	1.2	0.0	0.3	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-
個人年金	6.8	1.1	0.3	3.9	0.2	1.0	0.0	0.1	0.1	-	0.0	-
その他	1.6	0.4	0.1	1.0	-	0.1	-	0.0	0.0	0.0	-	0.0
不詳	12.7	1.4	0.4	8.1	0.1	0.4	0.0	0.2	0.1	0.2	0.7	1.2

第10表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後の生きがい(複数回答)

(単位:%)

	総数	働くこと	学ぶこと	家族との関わり	子どもや孫の成長	友人や地域の人との交流	地域活動への参加	社会奉仕活動への参加	スポーツをすること	教養・趣味を高めること	その他	わからない	不詳
総数	100.0	20.1	13.8	33.3	43.3	29.8	7.4	10.0	13.0	43.6	3.7	8.7	1.0
29歳以下	100.0	11.8	12.5	42.0	46.9	25.0	7.3	5.6	13.3	46.6	2.1	13.0	0.6
30~39歳	100.0	16.1	13.2	40.7	50.7	22.8	4.9	6.1	12.4	50.1	1.6	10.9	0.9
40~49歳	100.0	18.8	13.8	31.1	43.9	25.0	5.6	10.1	12.0	50.0	2.2	10.5	0.8
50~59歳	100.0	20.7	14.9	34.1	40.2	23.5	3.9	12.5	13.3	50.4	2.9	9.2	0.7
60~69歳	100.0	26.0	16.8	29.6	42.5	31.7	5.7	13.0	14.5	44.6	4.1	6.2	0.8
70歳以上	100.0	19.6	11.5	32.1	41.6	38.4	12.5	8.9	12.4	32.5	5.6	7.3	1.7
(再)65歳以上	100.0	21.9	12.8	30.9	42.1	36.9	10.5	10.3	13.1	35.6	5.1	7.0	1.4
男性	100.0	23.4	14.1	31.6	39.1	23.2	7.1	10.6	16.8	44.9	4.0	9.5	1.0
29歳以下	100.0	12.7	13.0	40.8	40.5	23.4	6.0	3.2	19.6	49.1	2.2	14.6	0.3
30~39歳	100.0	16.6	13.8	40.5	47.4	15.9	4.6	6.7	17.7	48.7	1.6	12.9	0.7
40~49歳	100.0	21.6	14.7	32.3	37.6	17.9	4.5	10.5	15.4	48.4	2.6	12.4	1.0
50~59歳	100.0	24.1	14.9	31.5	35.8	16.5	3.5	12.3	16.8	52.7	2.8	9.9	0.9
60~69歳	100.0	29.0	16.9	27.0	37.2	23.7	6.6	13.2	17.2	45.0	4.6	7.4	0.6
70歳以上	100.0	24.9	11.4	29.3	40.1	32.5	12.4	11.1	16.2	35.8	6.3	6.6	1.6
(再)65歳以上	100.0	26.9	12.8	27.9	39.3	29.8	10.6	11.9	16.3	38.4	5.8	7.0	1.2
女性	100.0	17.3	13.5	34.7	46.9	35.6	7.7	9.5	9.7	42.4	3.4	7.9	1.1
29歳以下	100.0	10.9	12.1	43.1	52.8	26.5	8.6	8.0	7.4	44.2	2.1	11.5	0.9
30~39歳	100.0	15.8	12.7	40.8	53.3	28.3	5.1	5.7	8.1	51.1	1.7	9.4	1.1
40~49歳	100.0	16.3	12.9	30.0	49.8	31.4	6.6	9.8	8.9	51.5	1.9	8.8	0.6
50~59歳	100.0	17.6	14.9	36.5	44.2	29.9	4.3	12.7	10.0	48.3	3.1	8.5	0.5
60~69歳	100.0	23.4	16.7	31.8	47.2	38.7	4.9	12.9	12.1	44.3	3.8	5.1	0.9
70歳以上	100.0	15.5	11.5	34.3	42.8	43.1	12.5	7.3	9.5	29.9	5.1	7.9	1.8
(再)65歳以上	100.0	17.7	12.9	33.3	44.4	42.7	10.3	9.0	10.3	33.3	4.5	6.9	1.6

第11表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後生活における子どもとの同・別居

(単位:%)

	総数	同居したい	元気なうちは別居し、病気になるったら同居したい	配偶者がいなくなったら同居したい	子どもが近くにいれば別居でもよい	別居したい	その他	わからない
総数	100.0	13.9	6.0	3.3	37.1	12.6	6.8	20.4
29歳以下	100.0	8.3	7.2	4.4	35.2	13.0	1.7	30.3
30～39歳	100.0	9.4	5.2	2.7	40.8	13.2	2.6	26.1
40～49歳	100.0	7.3	4.1	1.7	38.8	14.1	7.9	26.1
50～59歳	100.0	9.0	4.9	2.5	39.1	13.6	9.4	21.5
60～69歳	100.0	12.7	5.7	3.2	39.3	14.7	8.3	16.2
70歳以上	100.0	24.0	7.9	4.5	32.6	9.2	6.4	15.3
(再)65歳以上	100.0	20.5	7.5	4.2	35.1	10.5	6.9	15.3
男性	100.0	14.2	6.5	3.1	32.3	13.1	6.5	24.3
29歳以下	100.0	10.8	7.9	3.5	31.7	10.8	1.3	34.0
30～39歳	100.0	11.3	5.3	2.3	34.1	13.4	2.8	30.9
40～49歳	100.0	9.5	5.4	1.2	32.9	14.4	5.4	31.2
50～59歳	100.0	11.2	5.7	1.8	32.2	12.6	9.4	27.2
60～69歳	100.0	12.9	5.6	3.0	33.4	16.1	9.5	19.5
70歳以上	100.0	22.0	8.5	5.4	30.8	10.6	5.7	17.0
(再)65歳以上	100.0	18.8	7.7	4.7	31.9	12.4	6.8	17.6
女性	100.0	13.5	5.6	3.4	41.2	12.1	7.0	17.1
29歳以下	100.0	5.9	6.5	5.3	38.3	15.0	2.1	26.8
30～39歳	100.0	7.9	5.2	3.0	46.2	13.1	2.4	22.2
40～49歳	100.0	5.3	3.0	2.1	44.1	13.8	10.2	21.6
50～59歳	100.0	7.1	4.2	3.3	45.4	14.4	9.4	16.2
60～69歳	100.0	12.6	5.9	3.3	44.5	13.4	7.1	13.2
70歳以上	100.0	25.6	7.5	3.8	34.0	8.1	7.0	13.9
(再)65歳以上	100.0	22.0	7.2	3.7	37.8	8.9	6.9	13.4

(注)老後生活における子どもとの同・別居が不詳の客体を除いて集計している。

第12表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた年をとって生活したい場所(配偶者がいなくなり一人となった場合)

(単位:%)

	総数	自宅(これまで住み続けた自宅、子どもの家への転居を含む)	新しい状況に合わせて移り住んだ、高齢者のための住宅	グループホームのような高齢者などが共同生活を営む住居	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設	医療機能と生活施設の機能を兼ね備えた介護医療院	病院などの医療機関	その他	わからない	不詳
総数	100.0	64.7	7.6	5.1	4.3	1.3	1.0	0.6	8.6	6.7
29歳以下	100.0	59.7	9.9	8.2	1.5	1.1	0.6	1.1	14.8	3.1
30～39歳	100.0	62.4	11.0	6.7	2.2	0.7	0.8	0.5	11.8	3.7
40～49歳	100.0	65.7	9.1	5.4	3.1	1.0	0.9	0.7	9.8	4.3
50～59歳	100.0	68.7	9.8	3.8	2.0	1.8	0.6	0.8	7.8	4.8
60～69歳	100.0	68.6	5.7	4.2	4.8	1.0	0.9	0.4	8.0	6.3
70歳以上	100.0	61.3	5.2	5.1	7.2	1.9	1.4	0.6	6.1	11.3
(再)65歳以上	100.0	62.8	5.2	5.0	6.7	1.7	1.2	0.5	6.8	10.0
男性	100.0	62.1	7.3	5.4	5.1	1.4	1.1	0.6	10.0	7.0
29歳以下	100.0	61.7	7.9	7.0	2.2	0.3	0.6	0.6	15.5	4.1
30～39歳	100.0	59.5	9.4	7.6	2.5	0.7	0.9	0.7	14.0	4.6
40～49歳	100.0	64.4	7.4	6.3	3.6	0.7	0.7	0.4	12.0	4.5
50～59歳	100.0	65.2	8.6	3.9	2.5	1.9	1.0	1.0	9.7	6.2
60～69歳	100.0	63.5	6.0	4.5	6.1	1.3	1.0	0.4	9.5	7.9
70歳以上	100.0	58.7	6.6	5.1	8.5	2.3	1.7	0.6	6.5	10.1
(再)65歳以上	100.0	59.6	6.3	5.2	8.0	2.0	1.4	0.5	7.8	9.3
女性	100.0	67.0	7.9	5.0	3.6	1.3	0.9	0.6	7.4	6.4
29歳以下	100.0	57.8	11.8	9.4	0.9	1.8	0.6	1.5	14.2	2.1
30～39歳	100.0	64.7	12.3	6.1	2.0	0.7	0.7	0.4	10.1	2.9
40～49歳	100.0	66.9	10.6	4.6	2.8	1.3	1.1	0.9	7.8	4.1
50～59歳	100.0	72.0	11.0	3.7	1.5	1.6	0.3	0.7	6.0	3.4
60～69歳	100.0	73.1	5.6	4.0	3.7	0.8	0.8	0.4	6.7	5.0
70歳以上	100.0	63.3	4.1	5.1	6.3	1.5	1.1	0.6	5.9	12.2
(再)65歳以上	100.0	65.5	4.3	4.9	5.6	1.5	1.1	0.5	6.1	10.6

第13表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（介護を必要とする場合）

(単位:%)

	総数	自宅(これまで 住み続けた 自宅、子どもの 家への転居を 含む)	新しい状況に 合わせて移り住 んだ、高齢者 のための住宅	グループホーム のような高齢者 などが共同生活 を営む住居	特別養護老人 ホームや老人保 健施設などの 施設	医療機能と生活 施設の機能を兼 ね備えた介護医 療院	病院などの 医療機関	その他	わからない	不詳
総数	100.0	14.7	11.2	9.8	25.5	14.0	5.1	0.6	12.6	6.5
29歳以下	100.0	16.6	15.7	10.5	23.7	7.9	4.3	0.9	17.3	3.1
30～39歳	100.0	13.4	15.4	11.6	22.7	13.0	3.4	0.6	16.2	3.7
40～49歳	100.0	14.2	13.8	10.4	26.7	12.7	3.1	0.3	14.3	4.4
50～59歳	100.0	13.0	14.1	9.3	24.6	15.8	4.2	0.9	13.5	4.6
60～69歳	100.0	13.3	10.9	11.7	26.6	14.8	4.3	0.5	12.0	6.0
70歳以上	100.0	16.8	5.9	7.3	25.9	15.1	8.1	0.7	9.2	11.1
(再) 65歳以上	100.0	15.8	7.1	8.8	26.0	14.9	7.0	0.6	10.0	9.8
男性	100.0	16.6	10.3	9.5	25.1	11.7	5.6	0.8	13.3	7.0
29歳以下	100.0	21.8	12.7	10.1	20.6	6.0	4.7	0.9	19.0	4.1
30～39歳	100.0	16.1	12.9	12.0	22.1	10.1	3.9	0.9	17.7	4.4
40～49歳	100.0	17.2	12.1	10.0	24.6	10.0	4.1	0.6	16.2	5.1
50～59歳	100.0	15.5	11.9	8.9	24.8	13.1	5.2	1.3	13.4	6.0
60～69歳	100.0	15.7	10.3	10.7	26.1	12.0	5.0	0.3	12.9	6.9
70歳以上	100.0	16.5	6.7	7.6	27.1	13.6	8.1	0.8	8.8	10.7
(再) 65歳以上	100.0	16.1	7.5	9.0	26.2	13.5	7.2	0.7	10.4	9.5
女性	100.0	13.0	12.0	10.0	25.8	16.0	4.6	0.5	12.0	6.1
29歳以下	100.0	11.8	18.6	10.9	26.5	9.7	3.8	0.9	15.6	2.1
30～39歳	100.0	11.2	17.5	11.4	23.2	15.3	2.9	0.4	15.1	3.1
40～49歳	100.0	11.5	15.4	10.8	28.6	15.1	2.3	0.1	12.5	3.8
50～59歳	100.0	10.7	16.1	9.7	24.4	18.4	3.2	0.5	13.7	3.2
60～69歳	100.0	11.2	11.4	12.5	26.9	17.2	3.7	0.7	11.2	5.2
70歳以上	100.0	17.0	5.2	7.1	24.9	16.3	8.0	0.6	9.5	11.4
(再) 65歳以上	100.0	15.6	6.8	8.6	25.9	16.0	6.8	0.5	9.6	10.1

第14表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（人生の最後をむかえるとき）

(単位:%)

	総数	自宅(これまで 住み続けた 自宅、子どもの 家への転居を 含む)	新しい状況に 合わせて移り住 んだ、高齢者 のための住宅	グループホーム のような高齢者 などが共同生活 を営む住居	特別養護老人 ホームや老人保 健施設などの 施設	医療機能と生活 施設の機能を兼 ね備えた介護医 療院	病院などの 医療機関	その他	わからない	不詳
総数	100.0	27.9	1.7	1.3	3.9	12.5	25.2	0.7	20.0	6.8
29歳以下	100.0	39.7	1.8	2.6	2.6	7.5	18.2	0.6	24.0	3.1
30～39歳	100.0	35.5	2.7	1.5	3.5	11.2	17.6	0.5	23.5	4.0
40～49歳	100.0	29.8	2.3	2.2	3.1	11.9	23.6	0.3	22.6	4.2
50～59歳	100.0	24.9	2.2	1.2	3.5	16.0	25.1	0.6	21.9	4.6
60～69歳	100.0	23.2	1.4	0.8	4.7	17.5	26.7	1.0	18.6	6.0
70歳以上	100.0	26.2	1.0	0.9	4.3	9.1	29.5	0.7	16.2	12.0
(再) 65歳以上	100.0	25.3	1.1	0.9	4.4	11.4	28.7	0.8	17.0	10.4
男性	100.0	30.7	1.8	1.4	4.2	9.5	24.2	0.7	20.0	7.5
29歳以下	100.0	41.8	2.5	2.2	1.3	6.0	17.1	0.6	24.4	4.1
30～39歳	100.0	38.4	1.8	1.6	4.1	7.8	17.0	0.9	23.4	4.8
40～49歳	100.0	34.0	1.9	2.8	2.9	7.2	22.6	0.3	23.5	5.0
50～59歳	100.0	28.2	1.9	1.3	4.6	10.7	26.1	0.9	20.6	5.7
60～69歳	100.0	27.7	1.9	0.9	4.9	12.6	24.9	1.0	18.8	7.3
70歳以上	100.0	26.8	1.3	0.8	5.0	9.1	28.0	0.5	16.2	12.3
(再) 65歳以上	100.0	26.8	1.4	0.7	4.9	10.4	27.2	0.7	17.3	10.6
女性	100.0	25.5	1.7	1.3	3.6	15.2	26.1	0.7	19.9	6.2
29歳以下	100.0	37.8	1.2	2.9	3.8	8.8	19.2	0.6	23.6	2.1
30～39歳	100.0	33.3	3.3	1.5	2.9	14.0	18.0	0.2	23.5	3.3
40～49歳	100.0	26.0	2.6	1.6	3.4	16.3	24.6	0.3	21.8	3.5
50～59歳	100.0	21.8	2.4	1.1	2.4	20.8	24.2	0.4	23.1	3.7
60～69歳	100.0	19.2	1.0	0.8	4.6	21.8	28.2	1.0	18.5	4.8
70歳以上	100.0	25.8	0.7	1.0	3.8	9.1	30.7	0.9	16.3	11.7
(再) 65歳以上	100.0	24.1	0.8	1.0	3.9	12.3	29.9	0.9	16.7	10.2

第15表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた自宅で介護されるとした場合、どのような介護をされたいか

(単位:%)

	総数	家族だけに介護されたい	家族の介護を中心とし、ホームヘルパーなど外部の者も利用したい	ホームヘルパーなど外部の者の介護を中心とし、あわせて家族による介護を受けたい	ホームヘルパーなど外部の者だけに介護されたい	その他	わからない	不詳
総数	100.0	6.9	23.1	34.4	14.8	1.9	18.3	0.6
29歳以下	100.0	7.3	23.4	30.1	12.1	2.0	25.0	0.2
30～39歳	100.0	6.8	19.3	35.2	15.9	1.6	20.6	0.4
40～49歳	100.0	5.2	18.3	36.2	17.8	1.4	20.6	0.3
50～59歳	100.0	4.6	19.5	36.8	17.7	1.9	19.0	0.6
60～69歳	100.0	5.5	21.9	37.0	15.2	1.4	18.4	0.5
70歳以上	100.0	9.9	29.9	31.0	11.7	2.6	13.9	1.1
(再) 65歳以上	100.0	8.8	27.7	32.4	12.6	2.2	15.3	1.0
男性	100.0	8.4	25.2	30.9	13.3	1.9	19.7	0.6
29歳以下	100.0	9.8	23.1	26.6	11.1	1.6	27.5	0.3
30～39歳	100.0	8.5	22.1	30.1	13.6	2.1	23.4	0.2
40～49歳	100.0	6.6	20.9	31.4	15.1	1.4	24.3	0.3
50～59歳	100.0	5.7	20.3	33.8	16.4	1.7	21.5	0.6
60～69歳	100.0	7.0	24.3	33.3	14.3	1.6	18.8	0.6
70歳以上	100.0	11.8	33.0	28.6	10.2	2.5	12.9	1.0
(再) 65歳以上	100.0	10.6	30.2	29.6	11.6	2.2	14.9	0.9
女性	100.0	5.5	21.3	37.4	16.1	1.9	17.1	0.7
29歳以下	100.0	5.0	23.6	33.3	13.0	2.4	22.7	-
30～39歳	100.0	5.5	17.1	39.3	17.8	1.3	18.4	0.6
40～49歳	100.0	4.0	16.0	40.6	20.3	1.5	17.3	0.4
50～59歳	100.0	3.5	18.7	39.6	18.9	2.0	16.6	0.5
60～69歳	100.0	4.2	19.7	40.3	15.9	1.3	18.1	0.5
70歳以上	100.0	8.3	27.4	32.8	12.9	2.7	14.7	1.2
(再) 65歳以上	100.0	7.3	25.6	34.6	13.4	2.3	15.7	1.0

第16表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後10年間で家の周りに今以上に増えて欲しいと思う介護関係の事業所・施設(複数回答)

(単位:%)

	総数	訪問介護・看護サービスやリハビリテーションを提供する事業所	自宅から通い、デイサービスやリハビリテーションを提供する事業所	通い、泊まり、訪問が一体的に提供される(看護)小規模多機能型居宅介護事業所	グループホームなどの家庭的な雰囲気での共同生活を営める事業所	高齢者のためのサービス付きの住宅	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設	医療機能と生活施設の機能を兼ね備えた介護医療院	その他	わからない	不詳
総数	100.0	40.1	34.2	28.5	16.1	24.7	21.6	32.3	1.6	16.5	1.2
29歳以下	100.0	40.8	28.7	22.9	15.7	25.8	15.7	20.0	1.1	28.1	0.5
30～39歳	100.0	35.1	32.0	29.7	17.3	28.9	16.1	23.9	1.3	24.1	0.8
40～49歳	100.0	38.4	33.1	28.0	18.3	27.4	16.7	29.2	1.4	18.3	0.5
50～59歳	100.0	39.4	31.7	30.4	15.8	28.4	21.1	35.2	1.0	15.5	1.3
60～69歳	100.0	40.9	36.2	32.1	16.2	26.2	23.9	39.9	1.7	11.0	1.2
70歳以上	100.0	42.3	36.8	26.1	14.6	18.4	26.3	33.0	2.0	14.5	1.9
(再) 65歳以上	100.0	41.9	36.3	28.1	15.3	20.0	25.8	35.0	2.1	13.4	1.8
男性	100.0	42.3	34.5	26.6	15.1	23.9	21.9	29.2	1.4	18.1	1.2
29歳以下	100.0	40.5	29.4	21.8	13.6	23.7	16.5	15.5	1.6	30.4	0.6
30～39歳	100.0	34.3	32.9	24.6	15.6	26.9	15.9	20.2	0.9	27.6	0.5
40～49歳	100.0	42.6	32.6	25.4	17.7	25.2	16.0	26.7	1.8	20.8	0.3
50～59歳	100.0	39.6	31.6	27.7	14.5	28.3	21.9	28.6	0.7	18.9	1.6
60～69歳	100.0	44.3	36.9	30.5	14.5	23.3	24.3	35.9	1.4	12.3	1.2
70歳以上	100.0	45.3	37.3	25.5	14.5	20.0	27.4	32.7	1.8	13.7	1.9
(再) 65歳以上	100.0	44.8	36.1	27.6	14.7	20.1	26.6	33.8	1.8	13.5	1.7
女性	100.0	38.2	34.0	30.2	17.0	25.4	21.3	35.0	1.7	15.1	1.3
29歳以下	100.0	41.0	28.0	23.9	17.7	27.7	15.0	24.2	0.6	26.0	0.3
30～39歳	100.0	35.8	31.3	33.8	18.6	30.5	16.4	26.8	1.7	21.3	1.1
40～49歳	100.0	34.6	33.6	30.4	18.8	29.4	17.4	31.5	1.1	16.1	0.8
50～59歳	100.0	39.1	31.8	32.9	17.1	28.6	20.3	41.4	1.2	12.3	1.1
60～69歳	100.0	37.9	35.7	33.4	17.8	28.7	23.5	43.5	2.1	9.9	1.2
70歳以上	100.0	40.0	36.4	26.5	14.8	17.1	25.4	33.2	2.2	15.1	1.9
(再) 65歳以上	100.0	39.5	36.4	28.5	15.8	20.0	25.0	36.0	2.3	13.4	1.8

第17表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後生活と社会保障の関係について

(単位:%)

	総数	老後の生活は自分が考えるべきで、若いときからその準備をする。社会保障にはあまり期待しない	老後の生活の準備はまず自分でするが、全部は出来ないで、足りない部分は社会保障でみてもらいたい	将来のことは予測できない面があるので、自分で準備するといっても限界がある。社会保障のための負担が重くなってもよいから、老後の生活はなるべく社会保障でみてもらいたい	その他	わからない	不詳
総数	100.0	10.3	53.8	22.2	1.3	10.7	1.8
29歳以下	100.0	22.9	41.5	14.7	0.6	18.9	1.4
30～39歳	100.0	16.0	49.4	16.8	2.6	13.6	1.6
40～49歳	100.0	13.0	52.7	21.2	1.4	10.8	0.9
50～59歳	100.0	8.5	56.5	23.8	1.5	8.3	1.5
60～69歳	100.0	6.6	56.6	25.7	1.4	8.0	1.6
70歳以上	100.0	7.2	55.3	23.1	0.8	11.0	2.7
(再)65歳以上	100.0	6.9	55.4	24.2	1.0	10.2	2.4
男性	100.0	12.0	50.4	24.0	1.2	10.7	1.7
29歳以下	100.0	23.4	37.3	18.0	0.6	18.7	1.9
30～39歳	100.0	20.5	43.4	17.0	1.8	16.1	1.1
40～49歳	100.0	15.5	50.1	22.1	1.5	10.5	0.3
50～59歳	100.0	11.9	52.0	24.7	1.3	8.9	1.3
60～69歳	100.0	7.5	53.2	27.7	1.2	8.6	1.7
70歳以上	100.0	7.4	53.6	25.8	0.9	9.5	2.8
(再)65歳以上	100.0	6.9	53.9	26.2	1.0	9.4	2.5
女性	100.0	8.7	56.6	20.6	1.4	10.8	1.9
29歳以下	100.0	22.4	45.4	11.5	0.6	19.2	0.9
30～39歳	100.0	12.5	54.2	16.5	3.1	11.6	2.0
40～49歳	100.0	10.6	55.1	20.4	1.4	11.1	1.4
50～59歳	100.0	5.3	60.8	23.0	1.6	7.7	1.6
60～69歳	100.0	5.8	59.6	23.8	1.6	7.5	1.6
70歳以上	100.0	7.0	56.6	20.9	0.7	12.1	2.6
(再)65歳以上	100.0	6.8	56.7	22.4	0.9	10.8	2.3

第18表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた役立っていると考える社会保障の分野(複数回答)

(単位:%)

	総数	老後の所得保障(年金)	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	51.9	42.1	30.5	42.8	23.0	21.8	18.8	16.2	0.9	20.4
29歳以下	100.0	30.4	27.3	29.9	35.6	22.3	20.3	19.2	17.1	1.5	27.6
30～39歳	100.0	30.1	26.7	42.1	40.0	19.8	19.5	15.5	16.6	1.2	23.1
40～49歳	100.0	37.5	33.9	39.4	41.2	20.0	21.7	19.0	18.3	0.7	23.1
50～59歳	100.0	45.8	37.6	32.1	41.9	19.9	24.0	20.2	18.7	0.8	22.6
60～69歳	100.0	63.3	47.4	29.2	45.5	24.8	25.4	21.4	17.9	0.8	17.6
70歳以上	100.0	68.0	54.6	21.6	44.8	26.3	19.3	17.0	12.0	1.0	17.0
(再)65歳以上	100.0	67.2	52.4	23.3	45.1	25.7	20.8	18.1	13.6	1.0	17.1
男性	100.0	53.0	43.1	29.2	44.5	24.1	22.4	19.6	17.6	0.9	20.3
29歳以下	100.0	29.1	28.2	27.8	33.5	21.8	19.3	17.4	16.1	0.9	31.6
30～39歳	100.0	34.0	30.3	40.7	42.5	21.6	19.3	16.3	18.4	1.8	22.5
40～49歳	100.0	39.3	35.6	36.7	42.6	21.2	21.7	20.1	19.3	0.6	23.1
50～59歳	100.0	47.9	38.3	28.9	43.1	20.3	23.2	19.9	19.3	0.7	22.6
60～69歳	100.0	63.7	46.3	26.4	45.1	24.0	26.4	21.7	19.1	0.7	18.1
70歳以上	100.0	69.1	56.8	23.0	49.5	29.7	21.2	19.2	14.5	1.1	15.3
(再)65歳以上	100.0	68.2	53.6	23.4	48.4	27.8	22.4	19.7	15.4	1.0	15.9
女性	100.0	51.0	41.3	31.7	41.3	22.0	21.3	18.1	15.0	0.9	20.4
29歳以下	100.0	31.6	26.5	31.9	37.5	22.7	21.2	20.9	18.0	2.1	23.9
30～39歳	100.0	27.0	23.7	43.2	38.1	18.4	19.7	14.9	15.3	0.7	23.5
40～49歳	100.0	35.8	32.3	41.8	39.9	18.9	21.6	18.0	17.5	0.9	23.1
50～59歳	100.0	43.8	36.9	35.0	40.7	19.5	24.8	20.4	18.1	0.9	22.6
60～69歳	100.0	63.0	48.4	31.7	46.0	25.5	24.5	21.2	16.9	0.8	17.1
70歳以上	100.0	67.2	52.9	20.5	41.2	23.7	17.9	15.3	10.1	0.9	18.4
(再)65歳以上	100.0	66.4	51.4	23.3	42.3	24.0	19.5	16.8	12.1	0.9	18.0

第19表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後充実させべきと考える社会保障の分野（複数回答）

（単位：％）

	総数	老後の所得保障(年金)	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	52.0	44.6	35.1	29.4	17.0	12.0	6.8	19.4	0.7	14.1
29歳以下	100.0	47.3	28.9	53.6	23.1	15.1	12.8	8.7	24.6	1.4	11.9
30～39歳	100.0	48.6	36.6	49.3	23.9	15.9	12.6	5.2	21.7	1.2	13.9
40～49歳	100.0	54.7	42.6	39.4	27.3	14.5	13.4	6.7	22.9	0.7	12.3
50～59歳	100.0	55.9	47.1	33.3	27.5	16.6	12.0	6.0	22.7	0.7	12.2
60～69歳	100.0	55.0	49.4	35.1	33.4	19.3	12.3	7.3	20.3	0.5	10.9
70歳以上	100.0	48.3	47.6	23.8	32.2	17.9	10.6	7.0	12.9	0.6	19.3
(再) 65歳以上	100.0	50.4	47.7	26.4	33.1	18.8	11.1	6.9	15.0	0.7	16.9
男性	100.0	50.8	43.0	35.4	29.7	17.5	12.5	7.9	19.9	0.6	13.9
29歳以下	100.0	46.2	25.3	51.6	24.1	18.0	11.1	8.5	25.3	0.6	14.2
30～39歳	100.0	44.8	33.1	50.6	20.7	16.3	12.4	5.3	23.9	1.4	15.2
40～49歳	100.0	53.8	39.1	41.7	27.0	15.8	12.9	8.1	23.2	0.7	12.5
50～59歳	100.0	52.0	46.6	32.5	27.9	15.4	14.5	7.0	22.2	0.4	12.6
60～69歳	100.0	53.2	47.5	34.6	35.0	19.3	12.6	9.4	18.9	0.4	10.8
70歳以上	100.0	49.7	48.1	23.8	33.2	18.6	11.3	8.1	14.3	0.6	17.4
(再) 65歳以上	100.0	51.2	47.5	26.4	34.1	19.2	11.7	8.1	15.9	0.6	15.5
女性	100.0	53.0	45.9	34.8	29.1	16.6	11.6	5.8	19.0	0.8	14.3
29歳以下	100.0	48.4	32.2	55.5	22.1	12.4	14.5	8.8	23.9	2.1	9.7
30～39歳	100.0	51.7	39.3	48.3	26.5	15.6	12.7	5.1	19.9	1.1	12.9
40～49歳	100.0	55.6	45.8	37.4	27.6	13.3	13.9	5.5	22.5	0.8	12.1
50～59歳	100.0	59.5	47.5	34.0	27.1	17.7	9.6	5.0	23.1	0.9	11.8
60～69歳	100.0	56.6	51.1	35.5	32.0	19.3	12.1	5.5	21.6	0.7	10.9
70歳以上	100.0	47.2	47.1	23.8	31.4	17.3	10.1	6.1	11.7	0.6	20.8
(再) 65歳以上	100.0	49.7	47.9	26.3	32.2	18.5	10.5	5.9	14.1	0.7	18.0

第20表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた効率化すべきだと考える社会保障の分野（複数回答）

（単位：％）

	総数	老後の所得保障(年金)	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	27.3	32.5	19.8	26.9	14.4	10.8	25.5	17.8	1.2	22.6
29歳以下	100.0	31.6	25.8	30.1	19.4	9.8	9.3	28.5	22.0	1.7	19.8
30～39歳	100.0	31.3	29.6	23.3	21.6	12.7	9.8	31.9	18.4	1.2	20.2
40～49歳	100.0	28.5	30.2	20.2	23.4	13.1	11.9	30.5	20.6	0.5	21.3
50～59歳	100.0	25.8	30.9	16.8	26.3	12.3	9.9	28.6	21.0	1.2	20.6
60～69歳	100.0	24.9	36.5	19.4	31.9	17.1	11.6	25.7	18.2	1.4	19.9
70歳以上	100.0	26.6	34.2	17.7	29.4	15.9	10.8	17.9	12.9	1.3	28.0
(再) 65歳以上	100.0	26.6	35.6	18.5	30.6	16.6	11.3	19.9	13.9	1.3	25.2
男性	100.0	27.5	31.9	19.2	27.7	15.2	11.5	28.5	18.2	1.3	21.7
29歳以下	100.0	31.0	22.5	29.4	19.6	12.0	11.7	30.7	22.2	1.3	20.3
30～39歳	100.0	33.3	29.9	24.1	22.8	14.9	9.4	35.9	20.0	1.8	18.4
40～49歳	100.0	27.8	31.4	19.4	24.8	13.5	12.5	34.0	20.8	0.6	20.6
50～59歳	100.0	25.3	27.3	16.5	27.1	12.0	10.3	31.5	21.9	1.2	20.9
60～69歳	100.0	25.5	35.7	16.9	32.1	17.2	12.2	27.8	16.8	1.5	20.0
70歳以上	100.0	27.2	35.2	17.9	30.4	17.3	11.8	20.6	13.8	1.5	25.6
(再) 65歳以上	100.0	27.0	36.1	18.2	31.5	17.8	12.4	22.3	14.2	1.4	23.6
女性	100.0	27.0	32.9	20.3	26.3	13.7	10.2	22.9	17.4	1.1	23.4
29歳以下	100.0	32.2	28.9	30.7	19.2	7.7	7.1	26.5	21.8	2.1	19.5
30～39歳	100.0	29.6	29.4	22.6	20.6	10.8	10.1	28.7	17.1	0.7	21.7
40～49歳	100.0	29.1	29.1	21.0	22.3	12.8	11.3	27.3	20.5	0.4	21.9
50～59歳	100.0	26.4	34.2	17.1	25.6	12.6	9.6	25.8	20.2	1.2	20.3
60～69歳	100.0	24.3	37.3	21.6	31.7	17.0	11.0	23.8	19.5	1.4	19.9
70歳以上	100.0	26.1	33.4	17.6	28.6	14.9	10.0	15.7	12.1	1.2	29.8
(再) 65歳以上	100.0	26.3	35.2	18.8	29.9	15.6	10.4	17.9	13.6	1.3	26.5

第21表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた現在の税や社会保険料の負担について思うもの

(単位:%)

	総数	生活が苦しくなるほど重い	生活にはあまり影響しないが負担感がある	特に負担感はない	その他	不詳
総数	100.0	35.5	52.7	7.3	2.3	2.3
29歳以下	100.0	30.5	52.8	9.3	4.9	2.4
30～39歳	100.0	36.3	54.4	6.4	1.5	1.3
40～49歳	100.0	34.7	55.7	6.5	2.2	0.9
50～59歳	100.0	35.5	54.9	5.5	1.8	2.3
60～69歳	100.0	39.7	51.7	4.6	1.8	2.1
70歳以上	100.0	33.6	50.0	10.5	2.5	3.4
(再) 65歳以上	100.0	35.7	50.1	8.7	2.4	3.1
男性	100.0	36.2	52.5	7.2	2.1	1.9
29歳以下	100.0	29.4	54.4	9.2	4.1	2.8
30～39歳	100.0	36.1	52.4	8.7	1.4	1.4
40～49歳	100.0	35.4	54.1	8.0	2.3	0.3
50～59歳	100.0	35.8	54.0	6.1	1.7	2.3
60～69歳	100.0	39.5	51.1	5.3	1.8	2.2
70歳以上	100.0	36.0	51.4	7.8	2.3	2.5
(再) 65歳以上	100.0	37.3	50.9	6.8	2.4	2.5
女性	100.0	34.8	52.9	7.4	2.4	2.5
29歳以下	100.0	31.6	51.3	9.4	5.6	2.1
30～39歳	100.0	36.4	56.1	4.6	1.7	1.3
40～49歳	100.0	34.1	57.1	5.3	2.1	1.4
50～59歳	100.0	35.2	55.8	5.0	1.8	2.3
60～69歳	100.0	39.9	52.2	4.0	1.9	2.1
70歳以上	100.0	31.6	48.9	12.6	2.7	4.2
(再) 65歳以上	100.0	34.3	49.4	10.2	2.5	3.6

第22表 世帯員数の構成割合、性・世帯の所得階級別にみた現在の税や社会保険料の負担について思うもの

(単位:%)

	総数	生活が苦しくなるほど重い	生活にはあまり影響しないが負担感がある	特に負担感はない	その他	不詳
総数	100.0	35.5	52.7	7.3	2.3	2.3
100万円未満	100.0	43.3	37.7	9.9	6.7	2.5
100万円～200万円未満	100.0	43.7	40.6	9.3	2.7	3.7
200万円～300万円未満	100.0	40.5	48.1	7.0	2.1	2.4
300万円～400万円未満	100.0	40.7	50.0	5.0	2.6	1.8
400万円～500万円未満	100.0	36.6	52.8	6.8	2.3	1.6
500万円～600万円未満	100.0	36.9	52.6	6.8	1.1	2.5
600万円～700万円未満	100.0	35.7	54.0	5.6	1.6	3.1
700万円～800万円未満	100.0	31.4	57.3	8.6	1.5	1.3
800万円～900万円未満	100.0	32.7	57.8	6.1	1.9	1.5
900万円～1,000万円未満	100.0	23.0	66.5	7.4	1.7	1.3
1,000万円以上	100.0	26.1	62.0	8.7	2.0	1.3
不詳	100.0	37.3	46.7	7.8	3.6	4.7
男性	100.0	36.2	52.5	7.2	2.1	1.9
100万円未満	100.0	48.8	32.1	7.1	9.5	2.4
100万円～200万円未満	100.0	49.8	35.3	7.4	3.3	4.1
200万円～300万円未満	100.0	39.2	50.1	6.4	2.1	2.1
300万円～400万円未満	100.0	42.0	49.4	5.0	2.1	1.5
400万円～500万円未満	100.0	38.3	53.2	5.3	1.9	1.2
500万円～600万円未満	100.0	36.1	55.5	5.3	1.5	1.5
600万円～700万円未満	100.0	36.8	53.8	6.0	1.1	2.2
700万円～800万円未満	100.0	32.5	53.8	10.5	1.3	1.9
800万円～900万円未満	100.0	32.8	55.2	7.9	2.5	1.7
900万円～1,000万円未満	100.0	22.7	67.7	7.4	1.7	0.4
1,000万円以上	100.0	25.9	60.7	10.2	1.7	1.5
不詳	100.0	41.7	43.8	7.4	3.3	3.8
女性	100.0	34.8	52.9	7.4	2.4	2.5
100万円未満	100.0	41.0	40.0	11.0	5.5	2.5
100万円～200万円未満	100.0	40.4	43.4	10.3	2.4	3.6
200万円～300万円未満	100.0	41.4	46.5	7.4	2.0	2.6
300万円～400万円未満	100.0	39.5	50.5	4.9	3.1	2.0
400万円～500万円未満	100.0	35.1	52.4	8.0	2.5	1.9
500万円～600万円未満	100.0	37.7	49.9	8.2	0.7	3.5
600万円～700万円未満	100.0	34.7	54.1	5.2	2.0	4.0
700万円～800万円未満	100.0	30.3	60.9	6.6	1.6	0.7
800万円～900万円未満	100.0	32.6	60.5	4.3	1.3	1.3
900万円～1,000万円未満	100.0	23.4	65.4	7.4	1.7	2.2
1,000万円以上	100.0	26.2	63.2	7.3	2.2	1.1
不詳	100.0	33.7	49.0	8.0	3.9	5.4

第23表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障の給付と負担の関係について

(単位:%)

	総数	給付水準を引き上げ、そのための負担増もやむを得ない	給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない	ある程度の給付水準の引き下げ、及び負担増もやむを得ない	給付水準を引き下げ、従来どおりの負担とするべき	給付水準を大幅に引き下げ、負担を減らすべき	その他	わからない	不詳
総数	100.0	10.7	26.8	16.8	8.3	8.2	5.1	22.3	1.8
29歳以下	100.0	10.7	18.5	16.6	10.8	11.0	3.7	28.1	0.6
30～39歳	100.0	8.3	22.6	18.4	9.6	7.8	5.8	26.5	1.1
40～49歳	100.0	11.2	25.9	16.3	10.3	8.2	6.2	21.1	0.8
50～59歳	100.0	11.7	27.7	17.3	7.6	7.8	6.6	19.5	1.8
60～69歳	100.0	11.7	28.7	17.0	6.8	8.8	5.9	19.2	1.9
70歳以上	100.0	10.0	28.8	16.3	7.6	7.6	3.1	23.8	2.8
(再) 65歳以上	100.0	10.3	28.6	16.3	7.6	8.3	4.1	22.2	2.6
男性	100.0	12.9	26.9	16.5	8.7	9.0	5.9	18.6	1.5
29歳以下	100.0	11.4	18.7	14.6	12.7	13.0	3.5	25.3	0.9
30～39歳	100.0	9.2	23.4	14.9	9.4	9.9	7.4	24.8	0.9
40～49歳	100.0	13.2	23.2	17.2	11.8	8.7	7.3	18.3	0.3
50～59歳	100.0	15.7	27.3	15.5	7.5	9.3	7.3	16.3	1.2
60～69歳	100.0	14.0	29.3	16.6	6.4	8.2	6.2	17.5	1.8
70歳以上	100.0	11.9	30.3	17.6	8.1	8.4	4.1	16.8	2.7
(再) 65歳以上	100.0	12.7	30.2	16.8	7.8	8.5	4.8	16.9	2.4
女性	100.0	8.8	26.7	17.1	7.9	7.6	4.4	25.5	2.0
29歳以下	100.0	10.0	18.3	18.6	9.1	9.1	3.8	30.7	0.3
30～39歳	100.0	7.5	21.9	21.1	9.7	6.1	4.6	27.8	1.3
40～49歳	100.0	9.4	28.4	15.5	8.9	7.8	5.3	23.6	1.3
50～59歳	100.0	8.0	28.1	18.9	7.6	6.4	6.0	22.6	2.4
60～69歳	100.0	9.7	28.2	17.3	7.2	9.3	5.7	20.6	2.0
70歳以上	100.0	8.5	27.6	15.2	7.2	7.0	2.2	29.3	2.9
(再) 65歳以上	100.0	8.3	27.2	15.8	7.5	8.2	3.5	26.6	2.8

第24表 世帯員数の構成割合、性・世帯の家計支出額(月額)別にみた社会保障の給付と負担の関係について

(単位:%)

	総数	給付水準を引き上げ、そのための負担増もやむを得ない	給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない	ある程度の給付水準の引き下げ、及び負担増もやむを得ない	給付水準を引き下げ、従来どおりの負担とするべき	給付水準を大幅に引き下げ、負担を減らすべき	その他	わからない	不詳
総数	100.0	10.7	26.8	16.8	8.3	8.2	5.1	22.3	1.8
10万円未満	100.0	10.1	21.1	13.0	5.9	11.2	5.7	31.9	1.1
10万円～20万円未満	100.0	10.4	25.9	13.6	8.5	8.8	4.4	26.4	2.1
20万円～30万円未満	100.0	10.9	27.6	17.4	8.3	7.9	5.0	20.6	2.2
30万円～40万円未満	100.0	11.1	28.2	18.6	8.4	6.7	5.6	19.8	1.5
40万円～50万円未満	100.0	12.6	26.0	19.0	8.5	8.9	5.4	18.6	0.9
50万円～60万円未満	100.0	6.9	25.4	21.0	8.3	12.0	4.0	21.4	1.1
60万円以上	100.0	8.4	26.2	23.4	9.8	7.3	7.7	15.4	1.7
不詳	100.0	9.1	27.3	11.8	6.4	9.1	3.6	30.0	2.7
男性	100.0	12.9	26.9	16.5	8.7	9.0	5.9	18.6	1.5
10万円未満	100.0	9.4	21.5	14.4	6.6	10.5	7.7	28.7	1.1
10万円～20万円未満	100.0	13.1	26.1	13.0	8.7	10.0	4.8	22.3	2.0
20万円～30万円未満	100.0	13.2	27.6	16.8	9.0	8.1	6.0	17.4	1.8
30万円～40万円未満	100.0	13.1	27.9	18.0	8.9	7.2	6.8	17.1	1.0
40万円～50万円未満	100.0	15.6	26.5	16.7	9.5	10.9	5.8	14.2	0.8
50万円～60万円未満	100.0	9.4	23.9	21.7	7.2	15.2	3.6	17.4	1.4
60万円以上	100.0	7.0	28.1	26.6	9.4	9.4	7.8	10.2	1.6
不詳	100.0	11.1	26.7	15.6	4.4	13.3	4.4	22.2	2.2
女性	100.0	8.8	26.7	17.1	7.9	7.6	4.4	25.5	2.0
10万円未満	100.0	10.6	20.8	12.0	5.5	11.7	4.4	33.9	1.1
10万円～20万円未満	100.0	8.2	25.8	14.0	8.4	7.8	4.1	29.6	2.1
20万円～30万円未満	100.0	8.9	27.6	18.0	7.6	7.7	4.1	23.6	2.6
30万円～40万円未満	100.0	9.3	28.6	19.2	8.0	6.3	4.5	22.3	1.9
40万円～50万円未満	100.0	9.8	25.6	21.1	7.7	7.1	5.0	22.7	1.1
50万円～60万円未満	100.0	4.3	26.8	20.3	9.4	8.7	4.3	25.4	0.7
60万円以上	100.0	9.5	24.7	20.9	10.1	5.7	7.6	19.6	1.9
不詳	100.0	7.7	27.7	9.2	7.7	6.2	3.1	35.4	3.1

第25表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級にみた少子高齢化が進行する状況における
高齢者と現役世代の負担水準の考え方について

	総数	現役世代の負担の上昇を緩和するために、高齢者の負担が今より重くなることはやむを得ない	高齢者の負担は現状程度で留めるべきであり、少子高齢化による負担増は、現役世代が負担するべき	高齢者の負担は現状でも重いので負担を引き下げ、現役世代の負担を大幅に増やすべき	その他	わからない	不詳
総数	100.0	28.4	27.1	6.2	7.1	29.4	1.9
29歳以下	100.0	36.9	21.1	3.1	3.8	34.5	0.6
30～39歳	100.0	32.9	24.5	2.7	6.5	32.2	1.2
40～49歳	100.0	31.0	26.3	5.1	8.1	28.7	0.8
50～59歳	100.0	29.4	28.4	5.4	8.1	26.8	1.8
60～69歳	100.0	26.7	26.4	7.4	8.9	28.4	2.1
70歳以上	100.0	23.8	29.7	8.5	5.5	29.8	2.8
(再)65歳以上	100.0	24.5	28.4	8.4	6.7	29.4	2.7
男性	100.0	30.6	28.6	6.4	7.8	25.3	1.4
29歳以下	100.0	40.2	20.9	3.5	2.8	32.0	0.6
30～39歳	100.0	35.6	26.0	1.8	7.6	28.3	0.7
40～49歳	100.0	34.3	26.4	5.5	9.4	24.5	0.0
50～59歳	100.0	31.3	29.3	5.2	8.9	24.1	1.2
60～69歳	100.0	28.8	27.7	7.7	9.1	25.1	1.6
70歳以上	100.0	24.9	33.1	9.1	6.5	23.7	2.8
(再)65歳以上	100.0	25.8	31.0	8.9	7.5	24.3	2.5
女性	100.0	26.5	25.8	6.1	6.4	33.0	2.2
29歳以下	100.0	33.9	21.2	2.7	4.7	36.9	0.6
30～39歳	100.0	30.7	23.3	3.3	5.7	35.3	1.7
40～49歳	100.0	28.1	26.1	4.8	7.0	32.5	1.5
50～59歳	100.0	27.6	27.6	5.5	7.4	29.4	2.4
60～69歳	100.0	24.9	25.2	7.3	8.8	31.3	2.6
70歳以上	100.0	22.9	27.0	8.0	4.7	34.6	2.8
(再)65歳以上	100.0	23.4	26.2	8.0	6.0	33.7	2.8

第26表 世帯員数の構成割合、性・世帯の所得階級別にみた少子高齢化が進行する状況における
高齢者と現役世代の負担水準の考え方について

(単位:%)

	総数	現役世代の負担の上昇を緩和するために、高齢者の負担が今より重くなることはやむを得ない	高齢者の負担は現状程度で留めるべきであり、少子高齢化による負担増は、現役世代が負担するべき	高齢者の負担は現状でも重いので負担を引き下げ、現役世代の負担を大幅に増やすべき	その他	わからない	不詳
総数	100.0	28.4	27.1	6.2	7.1	29.4	1.9
100万円未満	100.0	16.9	22.5	12.0	5.3	41.9	1.4
100万円～200万円未満	100.0	21.5	26.5	7.7	5.2	36.2	2.8
200万円～300万円未満	100.0	23.3	27.3	7.2	7.4	33.1	1.8
300万円～400万円未満	100.0	24.4	27.2	8.6	9.0	29.0	1.8
400万円～500万円未満	100.0	27.0	30.5	6.2	7.7	27.1	1.5
500万円～600万円未満	100.0	27.8	25.7	5.8	7.8	31.9	1.0
600万円～700万円未満	100.0	29.7	30.5	4.8	6.1	26.6	2.2
700万円～800万円未満	100.0	34.1	26.4	4.5	7.8	26.5	0.6
800万円～900万円未満	100.0	31.0	26.4	5.7	10.5	24.7	1.7
900万円～1,000万円未満	100.0	39.1	28.5	3.9	2.6	24.3	1.5
1,000万円以上	100.0	37.3	26.3	3.7	7.2	24.0	1.4
不詳	100.0	22.7	24.3	7.6	5.5	35.4	4.4
男性	100.0	30.6	28.6	6.4	7.8	25.3	1.4
100万円未満	100.0	16.7	25.0	16.7	6.0	34.5	1.2
100万円～200万円未満	100.0	20.4	28.3	8.6	5.2	34.6	3.0
200万円～300万円未満	100.0	23.4	27.9	7.6	8.3	31.2	1.7
300万円～400万円未満	100.0	25.6	29.3	8.2	9.7	25.7	1.5
400万円～500万円未満	100.0	29.4	31.8	7.8	7.8	22.6	0.7
500万円～600万円未満	100.0	30.0	27.0	5.1	10.2	27.0	0.8
600万円～700万円未満	100.0	32.1	33.0	5.5	7.4	20.6	1.4
700万円～800万円未満	100.0	35.4	29.3	3.8	10.5	20.4	0.6
800万円～900万円未満	100.0	33.6	26.1	4.6	12.4	21.6	1.7
900万円～1,000万円未満	100.0	40.6	31.0	3.9	2.2	21.8	0.4
1,000万円以上	100.0	41.3	26.8	4.2	6.4	20.1	1.2
不詳	100.0	24.3	25.4	8.3	5.0	33.7	3.3
女性	100.0	26.5	25.8	6.1	6.4	33.0	2.2
100万円未満	100.0	17.0	21.5	10.0	5.0	45.0	1.5
100万円～200万円未満	100.0	22.1	25.6	7.3	5.1	37.1	2.8
200万円～300万円未満	100.0	23.2	26.8	6.9	6.7	34.6	1.9
300万円～400万円未満	100.0	23.3	25.1	8.9	8.4	32.2	2.0
400万円～500万円未満	100.0	24.9	29.4	4.9	7.6	31.1	2.1
500万円～600万円未満	100.0	25.7	24.4	6.5	5.5	36.7	1.2
600万円～700万円未満	100.0	27.5	28.3	4.2	5.0	32.0	3.0
700万円～800万円未満	100.0	32.9	23.4	5.3	4.9	32.9	0.7
800万円～900万円未満	100.0	28.3	26.6	6.9	8.6	27.9	1.7
900万円～1,000万円未満	100.0	37.7	26.0	3.9	3.0	26.8	2.6
1,000万円以上	100.0	33.6	25.8	3.3	8.0	27.7	1.6
不詳	100.0	21.5	23.4	7.1	5.9	36.8	5.4

調 查 票

平成30年 高齢期における社会保障に関する意識調査

【お願い】

急速な少子高齢化の進行、経済情勢や家族形態、地域基盤の変化など、社会保障制度を取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況の変化に対応し、社会保障の充実と重点化・効率化を同時に図ることで、誰もが安心できる持続可能な社会保障制度を確立することが必要とされています。

この調査は、こうした状況を背景として、老後の生活感や社会保障に係る負担のあり方などについての意識を調査することで、今後の厚生労働行政施策の企画・立案のための基礎資料を得ることを目的とした大切な調査です。

お答えになった内容については必ず秘密を守りますので、ありのままをお答えくださるようお願いいたします。

【記入上の注意】

1. 調査票は、20歳以上の方ひとりひとりにお配りいたしますので、それぞれの方がお答えください。
2. お答えは該当する番号を○で囲むか、数字を記入してください。
3. 質問の内容や、その他わからないことがありましたら、調査員がお伺いしたときにおたずねください。

【この欄は、あらかじめ調査員の方が記入してください】

地 区 番 号					単 位 区 番 号			世 帯 番 号		
------------	--	--	--	--	--------------	--	--	------------	--	--

都道府県
指定都市 名 _____
中核市

福祉事務所名 _____

調査員氏名 _____

I あなた自身のことについてお聞かせください。

問 1

あなたの出生年月と性別をお答えください。

該当するものの番号を○で囲み、出生年月を記入してください。

1. 明治

3. 昭和

2. 大正

4. 平成

--	--

年

--	--

月

1. 男

2. 女

II あなたの老後感等についてお聞かせください。

問 2

あなたは、何歳ぐらいからを老後と考えますか。

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 55歳から

4. 70歳から

7. その他 ()

2. 60歳から

5. 75歳から

8. わからない

3. 65歳から

6. 80歳以上

問 3

あなたは、「老後の生活」といった場合にどういう生活を思い浮かべますか。
(すでに老後生活を送られている方は、ご自身の経験に基づいてお答えください。)

あてはまるものを次の中から2つまで選んで、該当する番号に○を付けてください。
(複数回答可)

1. 仕事から引退したり、仕事を人に任せるようになった生活

6. 年金を受給するようになった生活

2. 家事を人に任せるようになった生活

7. 老化に伴い体の自由がきかなくなった生活

3. 配偶者と死別した生活

8. 生涯現役と考えているので、現役と特に変わるところはない

4. 子どもが結婚したり、独立した後の生活

9. その他 ()

5. 同一世帯で子どもが世帯主となった後の生活

10. わからない

問15

あなたは、現在の税や社会保険料の負担についてどう思いますか。

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 生活が苦しくなるほど重い
2. 生活にはあまり影響しないが負担感がある
3. 特に負担感はない
4. その他 ()

問16

少子高齢化により、高齢者を支える現役世代が減少していくことが見込まれますが、あなたは、今後の社会保障の給付と負担の関係について、どのようにあるべきだと思いますか。

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 社会保障の給付水準を引き上げ、そのための負担増もやむを得ない
2. 社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない
3. 社会保障の給付水準をある程度引き下げつつ、ある程度の負担増もやむを得ない
4. 社会保障の給付水準を引き下げ、従来どおりの負担とするべき
5. 社会保障の給付水準を大幅に引き下げ、負担を減らすべき
6. その他 ()
7. わからない

問17

少子高齢化が進むなかで、安定した社会保障を維持するためには一定の負担増が避けられないと見込まれますが、あなたは、高齢者と現役世代の負担水準について、どのようにあるべきだと思いますか。

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 現役世代の負担の上昇を緩和するために、高齢者の負担が今より重くなることはやむを得ない
2. 高齢者の負担は現状程度で留めるべきであり、少子高齢化による負担増は、現役世代が負担すべき
3. 高齢者の負担は現状でも重いので、負担を引き下げ、現役世代の負担を大幅に増やすべき
4. その他 ()
5. わからない

ご協力ありがとうございました。